

平成 23 年度
沖縄県がん登録事業報告
(平成 20 年の罹患集計)

平成 24 年 8 月

沖縄県福祉保健部健康増進課
沖縄県環境生活部衛生環境研究所

ま え が き

本県の悪性新生物による死亡は、逐年増加の一途をたどり、昭和52年から死亡順位の第一位を占め、平成22年の死亡数は2,745人で、総死亡数に占める割合は27.0%となっています。

このような現状を考慮して、沖縄県では「沖縄県悪性新生物登録事業」を昭和63年から実施しております。この事業は、県内における悪性新生物の罹患状況、受療状況、生存状況等の集計及び解析を行い、その実態を把握して予防対策を講じることを目的としています。

平成19年4月に「がん対策基本法」が施行され、国は、同年6月「がん対策推進基本計画」を制定しました。同計画において重点的に取り組むべき課題の一つとして、「がん登録の推進」を掲げています。平成24年6月には、新たな基本計画が策定され、重点的に取り組むべき課題としてがん登録の推進を掲げ、法的位置付けの検討も含めて、がん登録を円滑に推進するための体制整備を図るとしています。

本県におきましては、平成20年3月に「沖縄県がん対策推進計画」策定し、医療提供の状況に応じた、がん予防対策、がん医療対策、がん登録等に係る施策を実施するとともに、平成21年12月には、計画の具体的な推進のためアクションプランを策定し、がん対策を総合的・計画的に推進しているところです。また、がん登録につきましては、登録データの精度向上を図るため、国の推奨する地域がん登録標準データベースシステムを導入しています。

このような中、本県では、同法の趣旨を踏まえ、がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的に、平成24年7月に、「沖縄県がん対策推進条例」を制定し、第14条に「がん登録の推進」を掲げています。今後さらに、がん診療連携拠点病院におけるがん登録の着実な推進と院内がん登録を行う医療機関数の増加及び質の向上を図り、もって地域がん登録の精度の向上、がん予防や医療の推進に有益なデータの確保、提供を行っていきます。

本報告書は、昭和63年から平成22年までの悪性新生物登録票及び死亡情報の収集状況についてまとめ、平成19年罹患のデータ集計からは、新規導入の地域がん登録標準データベースシステムを用いております。今回は、平成20年1月から12月までの間にごんと診断され登録されたデータについて、罹患集計を解析したものです。

本書が、関係各方面の皆様方に幅広く活用され、がん対策の一助となれば幸いに存じます。

おわりに、本事業にご協力いただきました沖縄県医師会、各地区医師会、各医療機関の関係各位に対し厚くお礼申し上げますとともに、今後とも本事業の意義をご理解いただき、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月

沖縄県福祉保健部長 崎山 八郎

目次

1	登録と方法.....	
	沖縄県地域がん登録	- 1 -
	沖縄県がん登録事業の経緯と現状	- 3 -
	用語の定義	- 4 -
	人口統計と死亡統計	- 7 -
	悪性新生物の分類と病期分類	- 8 -
	罹患数の集計方法と登録精度指標	- 11 -
2-1	統計編 最新がん統計.....	
	罹患の概要	- 15 -
	年齢別に見たがんの罹患	- 17 -
	沖縄県のがんの罹患の特徴.....	- 26 -
	発見経緯.....	- 27 -
	病期	- 28 -
	初回治療の方法	- 29 -
	死亡の概要	- 30 -
	年齢別に見たがんの死亡	- 31 -
	沖縄県のがんの死亡の特徴.....	- 36 -
2-2	統計編 年次推移.....	
	罹患の年次推移	- 37 -
	がん罹患（年齢調整罹患率）の年次推移.....	- 40 -
	登録精度の年次推移	- 41 -
3	事業報告	
	登録票の収集状況.....	- 42 -
	沖縄県の二次保健医療圏と拠点病院.....	- 43 -
	沖縄県悪性新生物登録資料の利用状況	- 45 -
4	集計表.....	
5	参考資料	
	沖縄県悪性新生物登録事業要綱.....	- 75 -
	沖縄県悪性新生物登録事業実施要領.....	- 76 -
	沖縄県悪性新生物登録資料の利用に関する規程	- 82 -
	全国標準の地域がん登録標準データベースシステムの導入について	- 88 -

1 登録と方法

沖縄県地域がん登録は、沖縄県全域をカバーする地域がん登録であり、沖縄県悪性新生物登録事業として昭和 63 年に開始された。

沖縄県地域がん登録の目的は、沖縄県におけるがん患者の発症、死亡及び医療状況の実態を調査することにより、がん罹患率、がん患者の受療状況、生存率を把握し、本県におけるがん対策の推進と医療水準の向上に資することである。上記目的を達成するために、地域がん登録中央登録室（以下「中央登録室という」）は、沖縄県衛生環境研究所企画管理班の中に置かれ、1) がんの登録と追跡、2) 統計資料作成、3) 統計資料の活用と提供を行っている。

平成 21 年 9 月より全国標準の地域がん登録標準データベースシステムの導入を行い、平成 19 年罹患分より同システムへ入力し、集計を行っている。なお、平成 18 年以前のデータの移行は行っていない。

がん情報の収集

沖縄県内の医療機関の医師は、新たに悪性新生物患者を診療した場合、指定のがん届出票及び専用封筒によって中央登録室に届け出る。

中央登録室は、県内の保健所より、目的外使用申請の承認に基づき人口動態調査死亡小票を転写し、①届出票の内容をデータ化、整理し、登録する。②死亡小票の内容をデータ化、整理し、既登録データと照合する。

③がんによる死亡で、一定期間届出のない症例について、死亡診断書を作成した医療機関に提示し、届出を促す調査（遡り調査）を実施し、結果を登録する（※1）。④必要に応じて県内の大規模病院に出向き、病理台帳等を閲覧し、一定期間届出のない症例の届出を促すための症例調査（出張採録）を実施する（※2）。⑤罹患から 5 年、10 年経過し、中央登録室で死亡日を把握していない症例について診断時住所の市町村の協力を得て、住民票閲覧による生存確認調査（生存確認調査）を実施し、結果を登録する（※3）。

届出票の主な収集項目は、個人識別項目（漢字姓名、生年月日、性別、住所）、腫瘍情報（診断日、部位、病理組織型、病期）、治療情報（治療方法、転帰、死亡日）である。

※1 ※3 については、地域がん登録標準データベースシステム導入後より業務とした。

※2 既存のがん登録システム運用時、がん治療に係る主要病院（県立病院、琉大病院等）へ、担当者による出張採録通常業務として実施していた。地域がん登録標準データベースシステム導入後は必要に応じて実施（不定期）の予定。

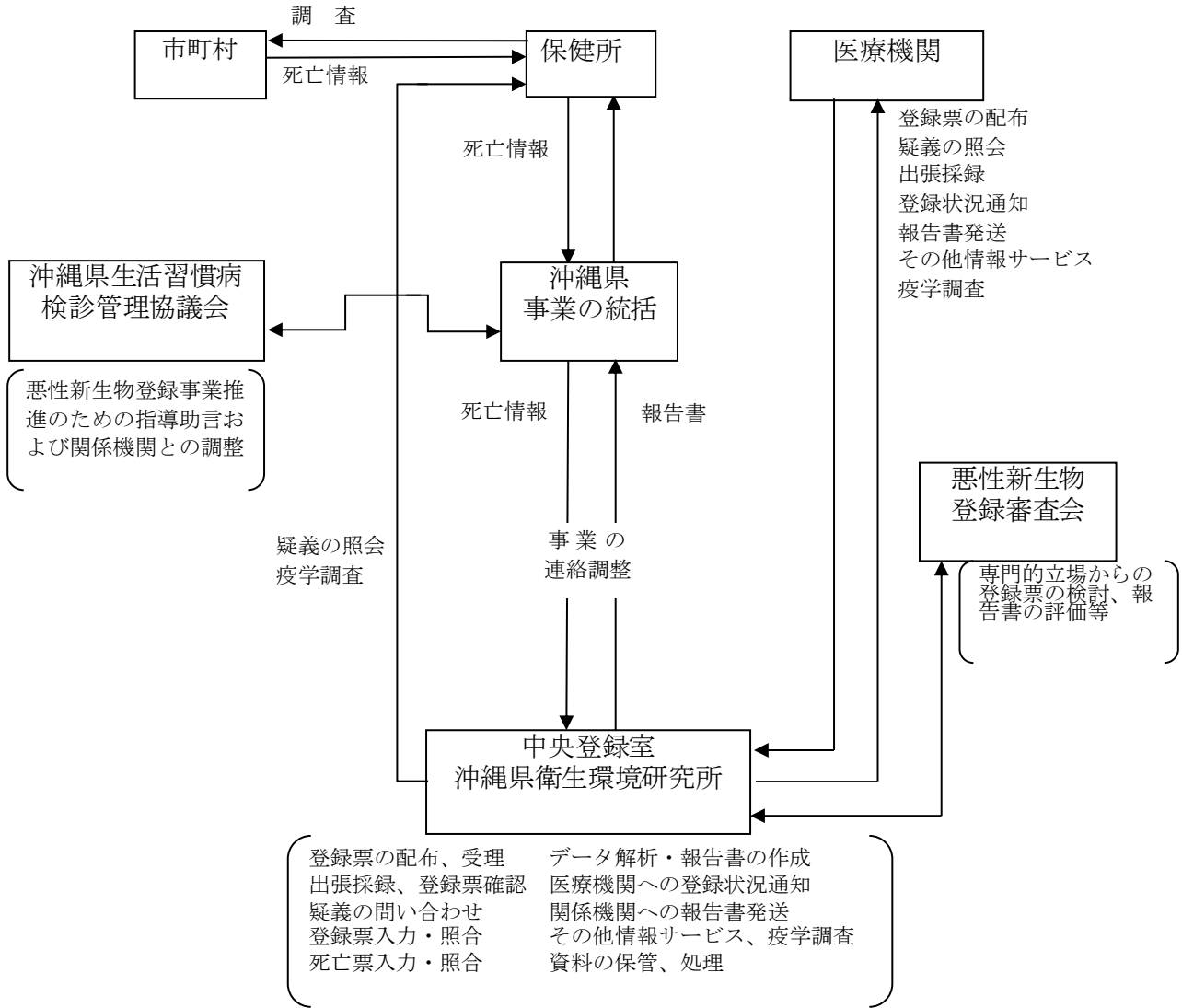


図 A 沖縄県悪性新生物登録事業システム図

沖縄県がん登録事業の経緯と現状

沖縄県は、国の対がん10か年総合戦略（昭和58年6月7日がん対策関係閣僚会議決定）の推進に対応して、昭和60年にがん特別事業を実施し、その後次のような経緯をたどっている。

- 昭和63年1月 沖縄県悪性新生物登録事業（がん登録事業）スタート。
- 平成元年 沖縄県独自の悪性新生物登録管理システムが開発され、入力・照合作業が省力化された。
- 平成7年 悪性新生物登録票の様式変更があり、進行度と受診動機、ICD10の入力項目が追加された。
- 平成8年 「沖縄県悪性新生物登録資料の利用に関する規程」が定められた。
- 平成11年 老人保健強化推進特別事業により、ウィンドウズ版対応、病理組織及びGIS入力項目の追加等、プログラムが大幅修正された。
- 平成12年 平成5年がん罹患者5年生存率調査実施（厚生省がん助成金による「地域がん登録」研究班への協同研究者として参加：主任研究者大阪府立成人病センター 大島 明）。
- 平成15年 健康増進法施行（平成15年5月1日）により、同法第16条において国及び地方公共団体は、がん等を含む生活習慣病の発生状況の把握に努めなければならないとし、地域がん登録の重要性はさらに増した。
- 平成16年 厚生労働省第3次対がん10か年総合戦略研究事業が開始され、「がん罹患・死亡動向の実態把握の研究」班（主任研究者 国立がんセンター祖父江友孝）の第一期支援地域（全国15地域）の指定を受けた。
- 平成18年 がん対策基本法が公布（平成18年6月23日）され、同法第17条第2項において「国及び地方公共団体は、がん患者のがんの罹患、転帰その他の状況を把握し、分析するための取組を支援するために必要な施策を講ずるものとする。」と規定された。
- 平成21年9月 全国標準の地域がん登録標準データベースシステムが導入された。

罹患 (incidence)

がん罹患数とは、ある集団で一定期間に新たに診断されたがんの数のことである(再発を含まない)。

罹患率 (incidence rate)

がん罹患率とは、罹患数を登録対象地域の人口(観察人数)で割ったものであり、通常は1年間の10万人あたりの罹患数で表現される。つまり、 x 年のある地域の10万人あたりのがん罹患率は、 x 年に新たに診断されたがんの数 $\div x$ 年の観察人数(人口) $\times 100000$ である。罹患率は、当該人口集団の x 年におけるがん罹患のリスクを表す。

観察人数 (population at risk)

地域がん登録で罹患率を計算する際の分母となる観察人数とは、罹患数を実測した登録対象地域の人口であり、その地域の年中央人口を分母とする。登録対象に外国人を含まない場合は、日本人人口を用い、含む場合は総人口とする。通常は分子となる罹患数に在日外国人を含むので、総人口を用いる。

年齢階級別罹患率(age-specific incidence rates)と粗罹患率(crude incidence rate)

年齢階級別の罹患数を対応する年齢階級の人口で除すと、年齢階級別罹患率となる。年齢の区分は、0-4、5-9、10-14、…、80-84、85+歳の5歳区分18階級とすることが多いが、集計の目的に応じて区分を変えることもある(0歳と1-4歳を別々に計算する場合や、15歳区分とする場合など)。がんの多くの部位では、高齢者ほど罹患率が高くなる。全年齢階級の罹患数を全年齢階級のその年の人口で除した罹患率を粗罹患率という。

年齢調整罹患率 (age-standardized rates)

地域がん登録で罹患率を計算する目的のひとつは、得られた罹患率を他地域や国全体、あるいは、他国の罹患率と比較すること、年次推移の観察を行うことである。

比較対象間の人口構成が異なっている場合、粗罹患率による比較では解釈が困難である。例えば、異なる二つの地域の年齢階級別罹患率が全く同じ場合でも、がん罹患率が高い高齢層に人口構成が偏っているほど、粗罹患率は大きくなる。そこで、他の地域のがん罹患率と比較する時や、同じ地域でがん罹患率の動向を観察する時には、異なる人口構成を調整した(人口構成の違いを取り除いた)罹患率、つまり年齢調整罹患率を用いて比較を行う。ただし、年齢調整罹患率は、比較対象地域が多い場合には簡便で解釈しやすいが、あくまでも要約値である。詳細な比較を行う場合には、年齢階級別罹患率を観察すべきである。

年齢調整罹患率には、計算したい地域の人口の構成が基準(標準)人口(standard population)と同じであると仮定して算出する直接法(direct method)と、基準(標準)人口集団での年齢階級別罹患率を用いて計算する間接法(indirect method)がある。

1) 直接法

比較する対象間で年齢構成に偏りがある場合、標準とする集団の人口構成と同一であると仮定した場合の仮の率を計算して比較する。標準とする集団を基準(標準)人口という。

直接法で年齢調整罹患率を計算する際の基準(標準)人口は、比較する目的によって選ぶ。国内の他地域との比較や年次推移の観察には「昭和 60 年モデル人口」を、世界各国との比較には「世界人口」を用いる。図 B に、基準(標準)人口の人口ピラミッドを示した。年齢調整罹患率は人口 10 万対で表される。

2) 間接法

間接法により得られる値は、年齢調整罹患率ではなく、期待値と観測値の比である。

対象とする地域(例えば市町村)の年齢階級別罹患率が、比較しようとする集団(例えば県全体の年齢階級別罹患率と同じと仮定した場合の罹患数(期待罹患数)を計算し、実際に観察された罹患数(観察罹患数)との比[標準化罹患比(SIR): standardized incidence rate] を求めて比較する方法である。対象とする地域の年齢階級別罹患率がわからないが、人口構成が判明しており、観察罹患数が得られている場合にも SIR を計算することができる。

この方法は、人口規模の小さい集団(市町村や医療圏など)の罹患を、全県など基準とする集団と比較したい場合に用いることが多い。人口規模の小さい集団で年齢階級別罹患率を求めると偶然変動により値が安定せず、偏った値になる可能性が高いからである。

SIR が 1 の場合は、期待罹患数と同じ、つまり比較集団と同じ、1 より大きい場合は比較集団よりもがん罹患が多く、1 より小さい場合は、がん罹患が少ないことを表す。

間接法による標準化のための期待値の計算は、対象集団の人口構成に依存しており、重み付けが対象集団間で異なる。従って、対象集団の SIR は、基準とする集団と比較はできるが、対象集団同士の比較は厳密にはできない。対象集団間での比較は、対象集団と比較集団の年齢階級別罹患率の比が全年齢階級で同じとの仮定のもとで可能である。

累積罹患率(cumulative incidence rates)と累積罹患リスク(cumulative incidence risk)

累積リスクとは、他の疾患で死亡しないと仮定した場合の、ある年齢区間(通常 0-74 歳)において個人ががんに罹患するリスクである。

累積罹患率は、年齢階級別罹患率の合計値であり、年齢階級別人口が同じ場合の直接的な年齢調整罹患率であると解釈できる。また、累積罹患率はその値が十分小さいとき(例えばがんの罹患率)は、累積罹患リスクとほぼ同様の値となる。

累積罹患率は、個人が一定の年齢内にがんを患う危険度を表す「割合」であり罹患する確率である。通常パーセンテージで表す。

累積罹患率は、(1)計算に基準(標準)人口を選択する必要がない、つまり基準(標準)人口による重み付けの影響を受けない、(2)異なる年齢階級の累積罹患率を求める場合は率同士を足すことができる(0-74 歳の累積罹患率 = 0-39 歳の累積罹患率 + 40-74 歳の累積罹患率)、(3) $1 - \exp(-\text{累積罹患率})$ の式により、簡単に累積罹患リスクが求められる、という利点がある。

死亡率・年齢調整死亡率

がん罹患は、がんという事象の発生率である。死亡も同様でがんによる死亡という事象の発生率である。したがって、がん死亡率(mortality rates)・年齢調整死亡率(age-standardized mortality rates)・標準化死亡比 SMR (standardized mortality ratio) ・累積死亡率(cumulative mortality rates)・累積死亡リスク(cumulative mortality risk)の計算の方法はがん罹患率・年齢調整罹患率と同様である。

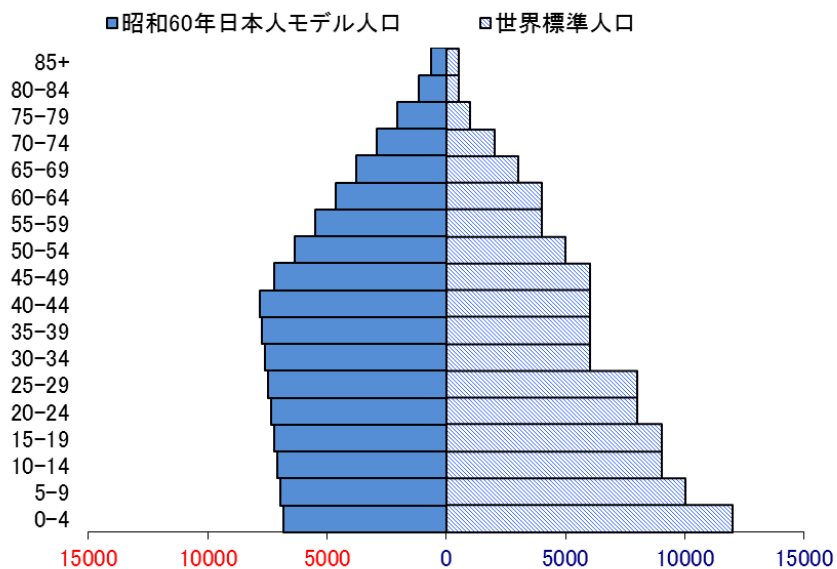


図 B 基準 (標準) 人口 (重み)

人口

率の算出には国立がん研究センターがん対策情報センターが平成 21 年度に作成した都道府県別人口データを用いた。この人口データは、5 年毎の国勢調査人口および毎年的人口動態統計出生数を用いて、都道府県別、性別に同一出生コホートを内挿および外挿して求めたものである。なお、罹患率の計算には総人口を、死亡率の計算には日本人人口を用いた。本人口に関する詳細は、国立がん研究センターがん対策・情報センター地域がん登録の技術支援のページ（※）『地域がん登録集計用人口ファイル』を参照されたい。

※<http://ncrp.ncc.go.jp/>

死亡

死亡統計については、人口動態調査（厚生労働省大臣官房統計情報部）のデータを用いた。

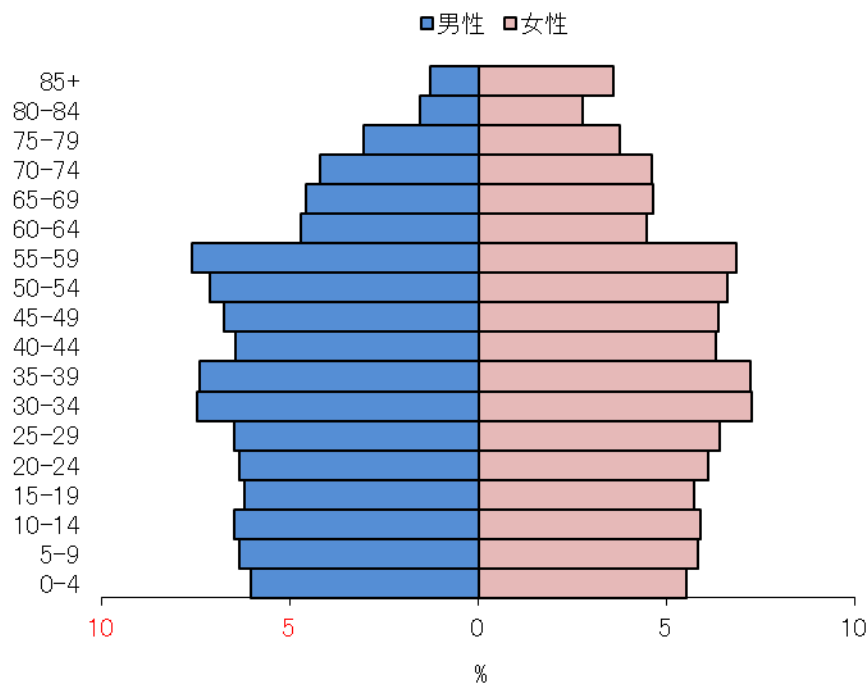


図 C 2008 年沖縄県人口と人口構造（総人口）

情報収集と集計対象

情報収集対象は悪性新生物（頭蓋内の新生物は良性および性状不詳を含む）とした。また、死亡票のみで集計される腫瘍は、死因に関わらず悪性新生物の記載のあったもの、並びに性状不詳の新生物を死因とするもののうち部位が脳、肝、膵、腎、膀胱、肺のいずれかに該当するものとした。

部位区分と組織区分

罹患登録対象は、ICD-O（International Classification of disease for Oncology）に従っている。形態分類については、ICD-O-3 を適用している。

多重がんの判定基準

多重がんとは、一人の患者に発生した複数の原発性悪性腫瘍のことをいう。地域がん登録では、原発性悪性腫瘍を別々に登録し、各々を罹患数として計上する。罹患数は、患者数ではなく、原発性悪性腫瘍の数である。重複がんともいう。そのために、共通の多重がんの判定基準が必要となる。

2004年、IARC/IACR から多重がんの判定規則の改訂版が出され、我が国でもこのルールを、地域がん登録の標準方式に採用することが決まった。IARC/WHO の判定規則は、同一患者に複数件存在する届出票・死亡票を原発性悪性腫瘍単位にまとめる集約時における多重がんの判定規則と、異なる集団（他地域の登録データ）における発がんリスクや予後を比較するための罹患・生存率集計時に適用される規則からなる。

集約時における多重がんの判定規則（Recording rule）

1. 多重がんを判定する際、時間の関係は問わない。すなわち、同時性・異時性を考慮する必要はない。但し、我が国の固有ルールとして、ルール7に示す例外を設ける。
2. 一方が他方の進展・再発・転移によるものではない。
3. 一つの臓器、あるいは組織に発生した腫瘍は、一腫瘍とみなす。多重がん判定の目的上、いくつかの部位群に関しては、単一部位とみなす。表Aにそれを示す。多発がん（同一部位に発生し、明らかに連続性を欠く複数の腫瘍：膀胱がんなど）は、一つの腫瘍としてカウントする。
4. 以下の場合、ルール3を適用しない。
 - 4.1 多くの異なる臓器を侵す可能性のある全身性（多中心性）がんでは、1個のみカウントする。カポジ肉腫や造血臓器の腫瘍がこれに該当する。
 - 4.2 組織型の異なる腫瘍は（たとえそれらが同一部位に同時に診断された場合でも）多重がんともみなされるべきである。同一部位に発生した複数の腫瘍の組織型が表Bの一つの組織型群に属す場合は、高い数字のICD-O-Mを用いて単一腫瘍として登録する。複数の組織型群に属す場合は、たとえ同一部位であっても異なる組織型と考え、複数の腫瘍としてカウントする。非特異的な組織型（組織型群5,12,17）に関しては、特異的な組織型の腫瘍が存在すれば、非特異的な組織型は無視し、特異的な組織型を登録すべきである。

5. 乳房など両側臓器の左右に別々に診断された同じ組織型の複数の腫瘍は、一方が他方の転移であるという断りがない限り、それぞれ独立して登録すべきである。但し、下記腫瘍が左右に診断された場合は、両側性の単一腫瘍として登録する。

卵巣腫瘍（同一組織型）

腎臓のウィルムス腫瘍(腎芽腫)

網膜芽細胞腫

6. 大腸（C18）と皮膚（C44）の異なる4桁部位に発生したがんは、それぞれ独立して登録すべきである。

多重がん登録に関する我が国の独自ルール

7. 同一部位、同一組織の上皮内がん（CIS ; Carcinoma in Situ）から、一定期間経過した後浸潤がんとなった場合、1年未満であれば単一がんとして浸潤がんのみを登録するが、1年以上の間隔がある場合は、上皮内がんと浸潤がんの重複がんとして別々に登録する。子宮がん、膀胱がんなどでよくみられる。注意すべきは、後発の浸潤がんが再発がんとして診断された場合にも適用される点である。

罹患・生存率集計時に適用される IARC/WHO の判定規則（Reporting rule）

基本的に、集約ルールと同じであるが、以下の点で集約ルールと異なる。

1. 左右臓器に発生した同一組織型の腫瘍は、一腫瘍とみなす。
2. 大腸（C18）と皮膚（C44）の異なる4桁部位に発生したがんも、同一組織型であれば一腫瘍とみなす。
3. 上記集約ルール7. の関係より、同一部位、同一組織の上皮内がんと浸潤がんの重複症例については、後発の浸潤がんのみとする。

病期分類

進行度の記載には種々の規約があるが、地域がん登録では、米国カリフォルニア州腫瘍登録室と米国国立がん研究所、遠隔成績課 End Result Section が作成した分類を参考に、「地域がん登録」研究班が、限局、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移の4病期に改変したもの（「進展度」）を用いる。ただし临床上は、UICCによるTNM分類や各学会・研究会による「がん取り扱い規約」の進行度分類が用いられるので、「進展度」とTNM分類、「がん取り扱い規約」による分類との関係を中央登録室にてチェックしている。なおいずれの病期でも、治療前に得られた情報（臨床的検索、画像診断、内視鏡検査、生検、外科的検索、等）に基づき実施するもの（治療前臨床分類）と、手術後の病理組織学的検索で得られた知見により補足修正するもの（術後病理組織学的分類）の2つがあるが、地域がん登録では、術後の病理組織学的分類を優先して登録する。

表 A 多重がんの判定において、1つの部位と考える部位群

*診断時期が異なれば、最初に診断された部位をコードするが、診断時期が同じ時は、ここに書かれたコードを用いる。

ICD-O部位コード	部位	*
C01	舌基部	
C02	舌のその他及び部位不明	C02.9
C00	口唇	
C03	歯肉	
C04	口腔底	
C05	口蓋	
C06	口腔、その他及び部位不明	C06.9
C09	扁桃	
C10	中咽頭	
C12	梨状陥凹(洞)	
C13	下咽頭	
C14	その他及び部位不明の口唇、口腔及び咽頭	C14.0
C19	直腸S状結腸移行部	
C20	直腸	C20.9
C23	胆嚢	
C24	その他及び部位不明の胆道	C24.9
C33	気管	
C34	気管支及び肺	C34.9
C40	四肢の骨、関節及び関節軟骨	
C41	その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	C41.9
C65	腎盂	
C66	尿管	
C67	膀胱	
C68	その他及び部位不明の泌尿器	C68.9

表 B Berg の組織型群 (多重がんの判定において、異なる組織型と考える組織型群)

1	扁平上皮癌	8051-8084,8120-8131
2	基底細胞癌	8090-8110
3	腺癌	8140-8149,8160-8162,8190-8221,8260-8337,8350-8551,8570-8576,8940-8941
4	その他の明示された癌腫	8030-8046,8150-8157,8170-8180,8230-8255,8340-8347,8560-8562,8580-8671
5	詳細不明の癌腫	8010-8015,8020-8022,8050
6	肉腫及びその他の軟部組織の腫瘍	8680-8713,8800-8921,8990-8991,9040-9044,9120-9125,9130-9136,9141-9252,9370-9373,9540-9582
7	中皮腫	9050-9055
8	骨髄性悪性腫瘍	9840,9861-9931,9945-9946,9950,9961-9964,9980-9987
9	B細胞性悪性腫瘍	9670-9699,9728,9731-9734,9761-9767,9769,9823-9826,9833,9836,9940
10	T細胞、NK細胞性悪性腫瘍	9700-9719,9729,9768,9827-9831,9834,98,379,948
11	ホジキンリンパ腫	9650-9667
12	肥満細胞性悪性腫瘍	9740-9742
13	組織球及び副リンパ球様悪性腫瘍	9750-9758
14	詳細不明の血液腫瘍	9590-9591,9596,9727,9760,9800-9801,9805,9820,9832,9835,9860,9960,9970,99,759,989
15	カポジ肉腫	9140
16	その他の明示された腫瘍	8720-8790,8930-8936,8950-8983,9000-9030,9060-9110,9260-9365,9380-9539
17	詳細不明の悪性腫瘍	8000-8005

罹患数の集計方法

地域がん登録では、医療機関からの報告・登録情報に、人口動態統計（死亡診断書）で把握されたがん死亡情報を照らし合わせて、医療機関からの報告・登録漏れ（DCN）を把握する。DCNについては、死亡診断医療機関に報告を依頼する（遡り調査）。回答を得られなかったがん死亡の数（DCO）と、報告により把握されたがんの数とをあわせて、罹患数とする。

国際ルールでは、罹患年として、報告・登録分では診断年、DCOでは死亡年を用いる。DCNが多い場合、遡り調査により診断年が死亡年と異なることが確認された報告・登録分を診断年で集計すると、集計可能な罹患年と暦年の差が大きくなる。我が国では適時性に配慮し、慣習的に、DCNでは死亡年を罹患年として罹患集計する。罹患集計の実施時期より3年以上過ぎると、DCNについて死亡年を用いた罹患数と診断年を用いた罹患数との差がほぼなくなる。



図D 罹患数の計測方法

罹患数と精度指標

地域がん登録が医療機関からがんの診断情報の報告を得る仕組みは千差万別であり、報告・登録された情報の質や患者の網羅性には大きな開きがある。報告漏れや報告間違いが多いと、集計された罹患数は、真の罹患数を少なく見積もるのみならず、真実からかけ離れた部位分布や年次推移を示す危険が高い。そのため、罹患数には、ここに示す精度指標を必ず一緒に示すことになっている。精度が低い場合、罹患数の解釈に注意を払う必要がある。

域がん登録の登録精度の評価は、①完全性 (completeness: 届出精度の指標)、②妥当性 (validity: 診断精度の指標) などを用いて行われる。

届出 (量的) 精度の指標

対象地域の実際の罹患数のうちのどれだけが登録されているか、すなわち登録の完全性を計測する指標として、①死亡診断書の情報により初めて把握されたがん (DCN、death certificate notification) の割合、②死亡診断書の情報のみで登録されているがん (DCO、death certificate only) の割合、③罹患数と死亡数との比 (I/M、incidence/mortality 比) が採用されている。

死亡転写票からがん罹患を把握した者で登録票がないものについて、遡り調査により診断・治療情報を医療機関に求めるが、その返答のなかった者は死亡情報のみ（DCO）となる。ただし、死亡診断書には、病理組織の情報が記載されていることがある。このような場合は、死亡診断書に記載された死亡時の臨床診断のみで「がん」として登録される場合と比べて情報量が多いので区別されるべきである。実際、国際がん研究機関（International Agency for Research on Cancer, IARC）による「診断の根拠」の定義では、死亡診断書に病理組織所見がある場合は DCO に含まれない。そこで今後の標準集計では、従来の DCO（国内 DCO）とは別に、死亡診断書に病理組織所見がある登録例を除外し、死亡時の臨床診断のみの場合を「国際 DCO」として区別することとした（国内 DCO \geq 国際 DCO）。

がんに罹患し、生存中である報告漏れ患者は、罹患数の計上より欠落する。DCN が多い場合、報告・登録漏れの多いことが類推され、特に生存率の高い（よい治療法のある）部位では罹患数の過小評価が示唆される。生存率の低い部位では、報告・登録漏れがあっても、死亡により人口動態統計で把握されるため、計測された罹患数と真の罹患数の差は小さいと推測できる。

DCO が多いと、DCN はそれ以上に多く、完全性は低い。逆に、DCO が少ない場合は、それで完全性が高いと評価できない。DCN に対して熱心に遡り調査を実施すると、DCO は少なくなっても、報告漏れのがん生存者の把握には直結しない。

I/M 比について、がん患者の生存率の逆数（例えば、生存率 50%では、2）と比較して、I/M 比が低ければ、罹患の把握漏れが示唆される。逆に、I/M 比が高すぎる場合、照合の漏れ（同一人物が別人として登録されている）、あるいは、多重がんの判定違い（同一腫瘍が多重がんとして登録されている）可能性を検討しなければならない。

国際水準として、全部位の DCO は 10%未満が望ましいとされている。全部位の I/M 比は、我が国の全がん生存率を考慮すると、全部位で 1.8~2.0 程度が適切と推測される。

診断（質的）精度の指標

がんの診断は、最終的には病理組織診断による。そこで、組織診の裏付けのある患者の割合（histologically verified cases, HV）をもって、がん登録の診断（質的）精度の一指標とする。顕微鏡的に確かめられたもの（microscopically verified cases, MV）の割合という場合には、組織診の他に、細胞診で裏付けられた例も含まれる。組織診実施の有無は、がんの原発部位のみならず、転移部位について実施された場合も含めて算出する。また、造血組織のがんの場合には、骨髓像の検査を組織診とし、末梢血液の検査を細胞診として扱う。

届出票のない患者は、組織診が行われているかどうか明確でない。したがって、届出の精度が不十分な時は、届出票のあるものを分母として観察する。罹患者を分母とする場合には、死亡診断書の情報のみのがんについても、死亡診断書の記載内容から組織診の行われたことが明らかな場合には、これを計上する。

本報告書の精度指標

図 E に部位別の DCN の割合（%）と DCO の割合（%）、図 F に I/M 比を、図 G 部位別の MV の割合（%）を示した

部位	DCN(%)	DCO(%)
全部位	35.2	35.2
口腔・咽頭	23.8	23.8
食道	37.2	37.2
胃	41.0	41.0
大腸(結腸・直腸)	32.5	32.5
(結腸)	33.7	33.7
(直腸)	30.0	30.0
肝および肝内胆管	48.2	48.2
胆のう・胆管	59.1	59.1
膵臓	56.3	56.3
喉頭	6.8	6.8
肺	51.9	51.9
皮膚	5.3	5.3
乳房	16.4	16.4
子宮	16.5	16.5
(子宮頸部)	16.2	16.2
(子宮体部)	13.6	13.6
卵巣	35.7	35.7
前立腺	28.4	28.4
膀胱	25.8	25.8
腎・尿路	27.4	27.4
脳・中枢神経系	29.6	29.6
甲状腺	12.8	12.8
悪性リンパ腫	29.6	29.6
多発性骨髄腫	51.9	51.9
白血病	41.5	41.5

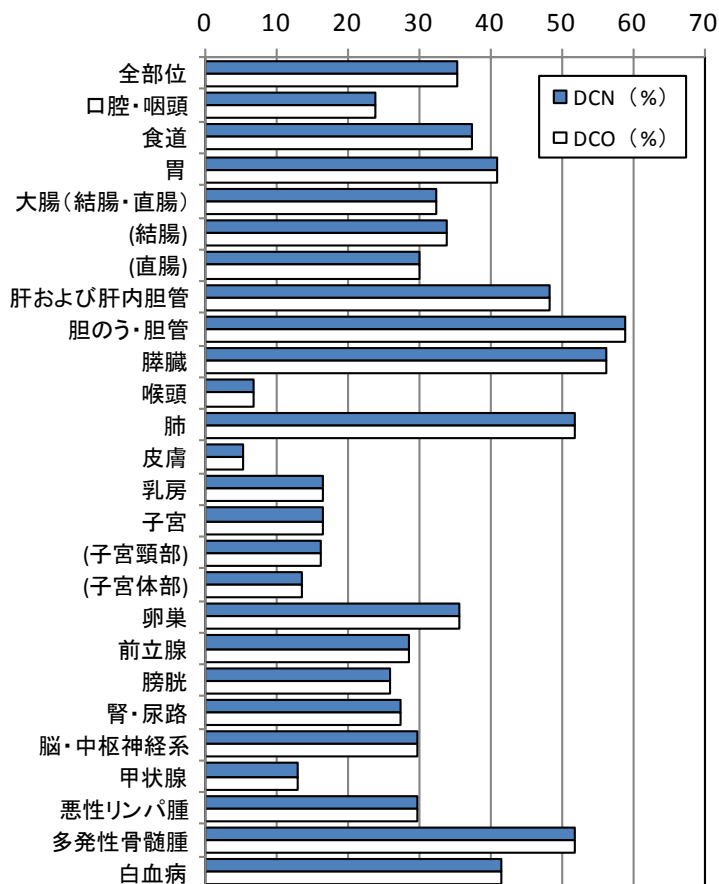


図 E 2008年部位別登録精度 DCN、DCO の割合 (表 8-A から作成)

部位	IM比
全部位	2.12
口腔・咽頭	2.43
食道	1.45
胃	2.05
大腸(結腸・直腸)	2.61
(結腸)	2.52
(直腸)	2.81
肝および肝内胆管	1.58
胆のう・胆管	1.33
膵臓	1.14
喉頭	6.29
肺	1.38
皮膚	21.43
乳房	5.52
子宮	4.03
(子宮頸部)	3.46
(子宮体部)	10.73
卵巣	2.41
前立腺	3.70
膀胱	3.22
腎・尿路	2.88
脳・中枢神経系	2.35
甲状腺	7.23
悪性リンパ腫	2.03
多発性骨髄腫	1.27
白血病	1.30

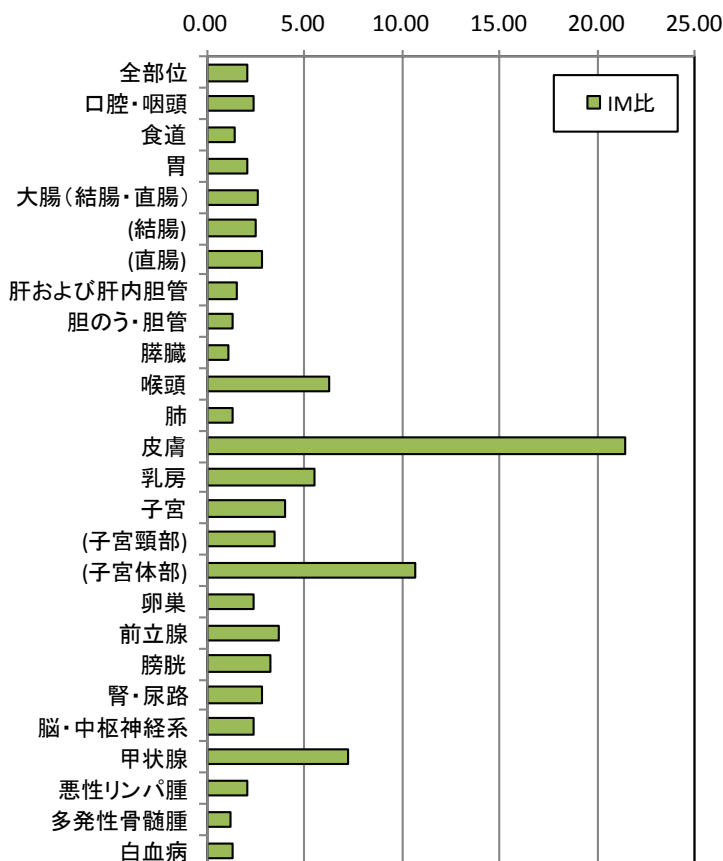


図 F 2008年部位別登録精度 IM 比 (表 8-A から作成)

部位	MV(%)
全部位	64.5
口腔・咽頭	75.7
食道	62.8
胃	60.2
大腸(結腸・直腸)	67.4
(結腸)	65.6
(直腸)	71.0
肝および肝内胆管	22.1
胆のう・胆管	29.5
膵臓	28.1
喉頭	93.2
肺	53.7
皮膚	96.7
乳房	83.2
子宮	84.2
(子宮頸部)	84.5
(子宮体部)	87.3
卵巣	67.1
前立腺	69.2
膀胱	72.0
腎・尿路	67.1
脳・中枢神経系	59.3
甲状腺	88.3
悪性リンパ腫	74.9
多発性骨髄腫	42.3
白血病	97.5

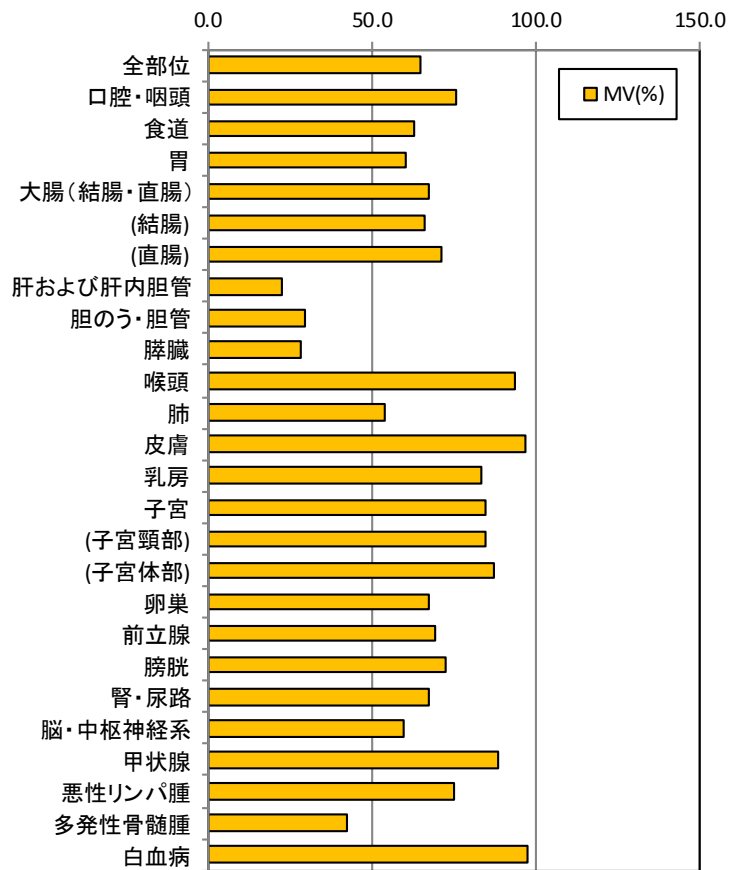


図 G 2008 年部位別 MV の割合 (表 8-A から作成)

2-1 統計編 最新がん統計

罹患の概要

■最新集計について

集計の期間

罹患年月日が平成 20（2008）年 1 月 1 日から 12 月 31 日の間の 1 年間。過去の罹患年についても再集計。

集計の時期

平成 24（2012）年 3 月 6 日現在

罹患年月日の決め方

- ① 届出による登録例は初めて当該がんと診断された年月日を罹患年月日とする
- ② 届出がなく、死亡小票の写しによってがん罹患が判明した例は、死亡年月日をもって罹患年月日とする

集計の対象

- ① ICD-O-3 分類の性状 2（上皮内）、3（悪性、浸潤性）で示される新生物（頭蓋内の新生物は良性および性状不詳を含む）
- ② DCO 例については、①に加えて、ICD-O-3 分類の性状 1（良性・悪性の別不詳：例悪性の明示のない〇〇腫瘍）で示される新生物による死亡で、部位が脳、肝、膵、腎、膀胱、肺

精度指標

DCN：35.2%

DCO：35.2%

I/M：2.12

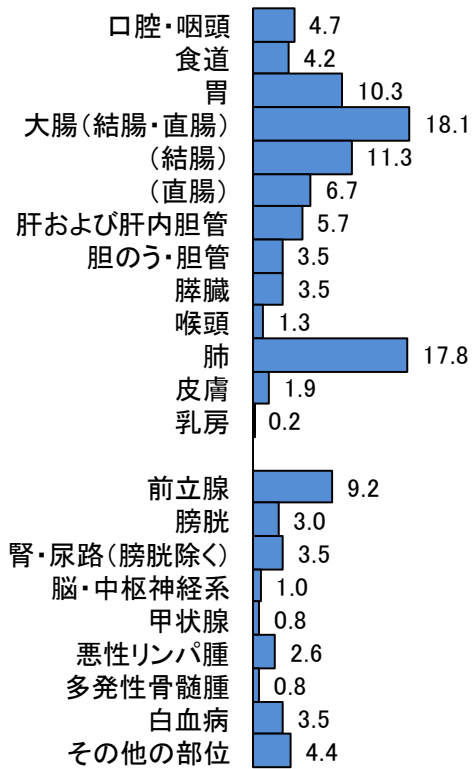
※遡り調査を行っていないので、DCN=DCO となる。

■罹患の概要

2008 年に本県において、男性 3,172 件、女性 2,575 件、合計 5,747 件が新たにがんと診断された。

男性で最も多い部位は大腸（結腸、直腸）であり、肺、胃、前立腺、肝および肝内胆管と続く。女性で最も多い部位は乳房であり、大腸（結腸、直腸）、子宮、肺、胃と続く（図 1）。

男性 全年齢 3,172 件



女性 全年齢 2,575 件

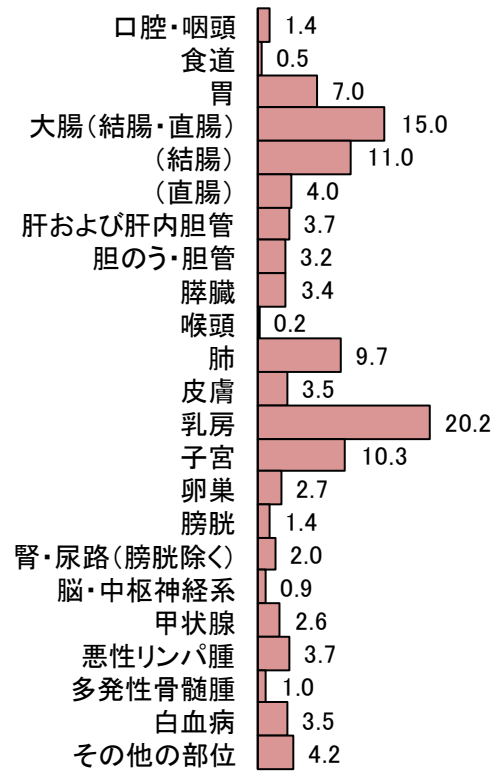


図 1 部位内訳 (%) (表 1-A、表 1-B から作成)

年齢別に見たがんの罹患

年齢別にみると、男女ともに、2008年に新たに診断されたがんの6割以上が65歳以上であった。また、働き盛りの40-64歳の年齢層が全体の約3割を占めている（図2）。女性の40-64歳のがんが多いのは、この年齢層の乳がんが多いためであり、また、女性の15-39歳のがんが男性の同年齢層と比べて多いのは、乳がんと子宮頸がんが多いためである。（図3）

年齢階級別罹患率をみると、乳房と子宮以外のほとんどの部位で、年齢が高くなるほど増加傾向がみられた。男性は、女性に比べてほとんどの部位で罹患率が高く、加齢に伴う増加も急激であった。乳房については、25-29歳から増加し始め、45-69歳に多く分布がみられた。子宮については、上皮内がんは15-19歳から罹患がみられ、25-29歳で急激に増加して40-44歳でピークに達している。（図4）

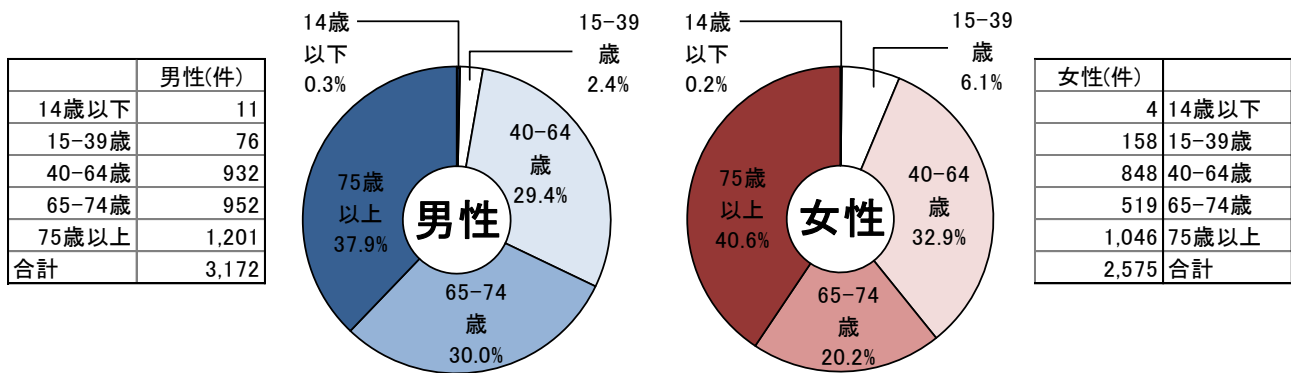


図2 年齢別内訳 (%) (表2-Aから作成)

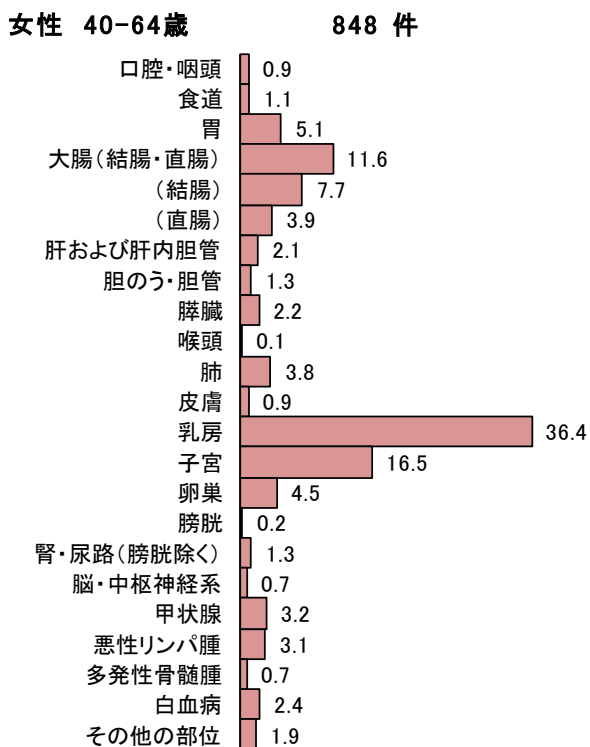
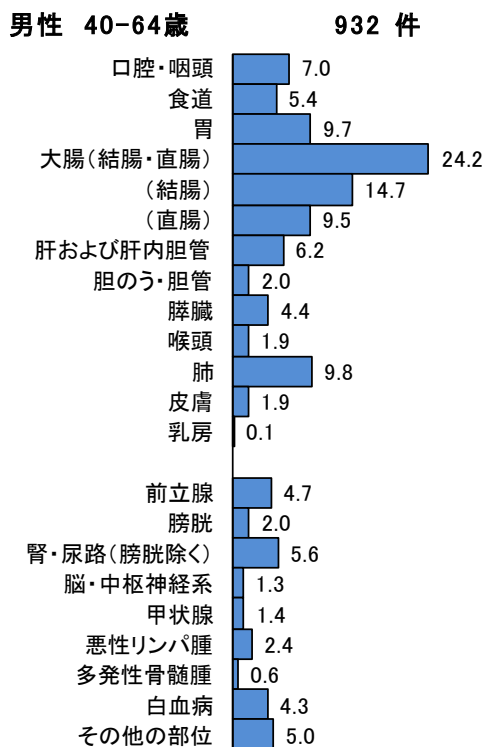
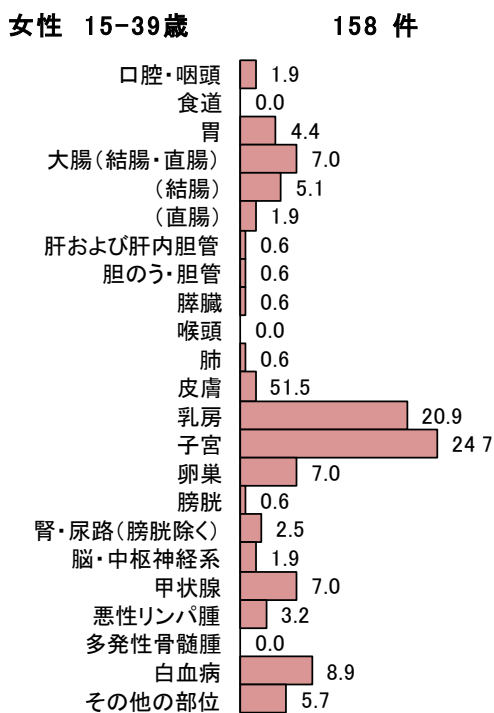
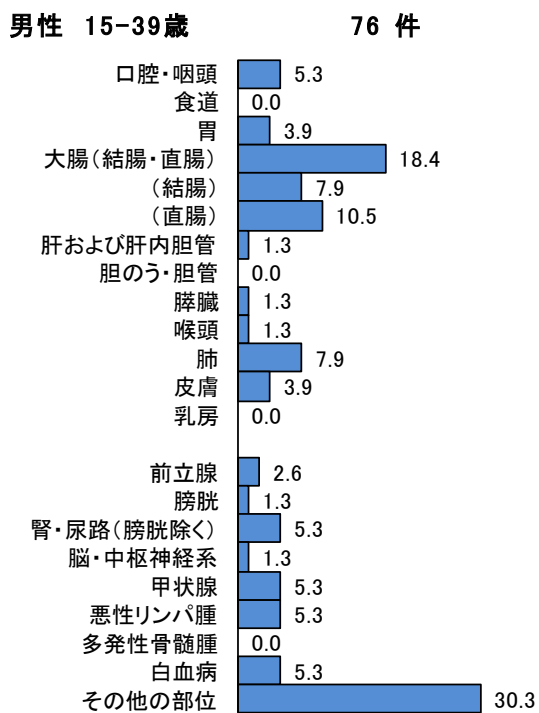


図 3-1 年齢別部位内訳 (%) (表 2-A から作成)

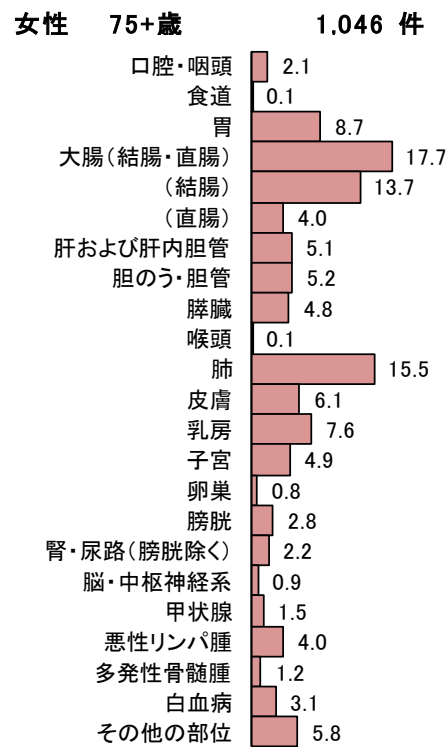
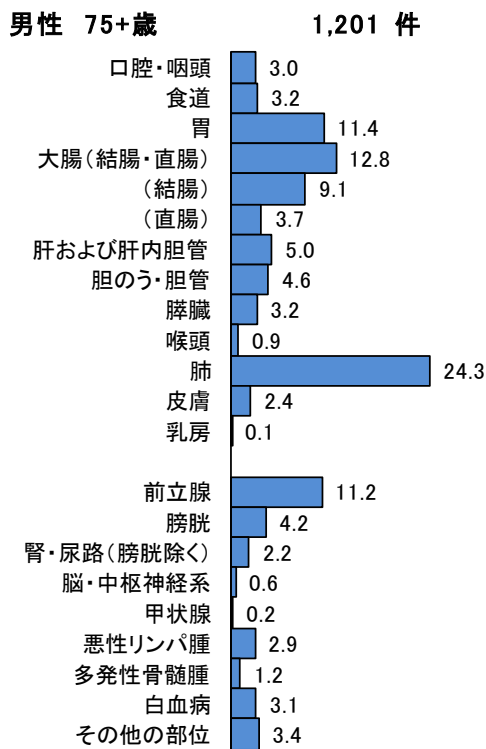
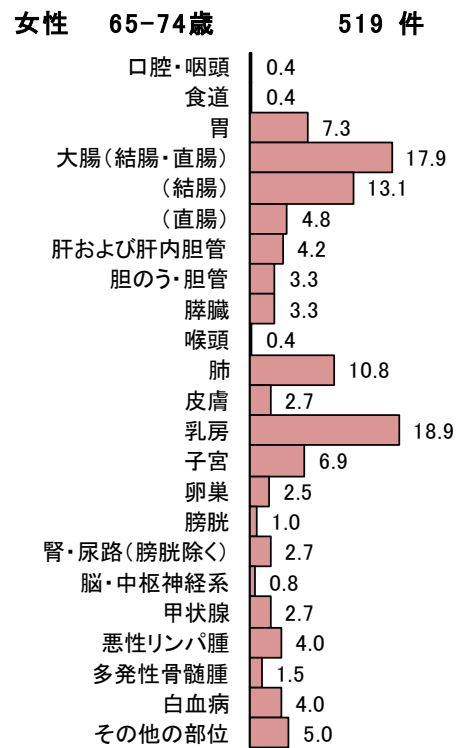
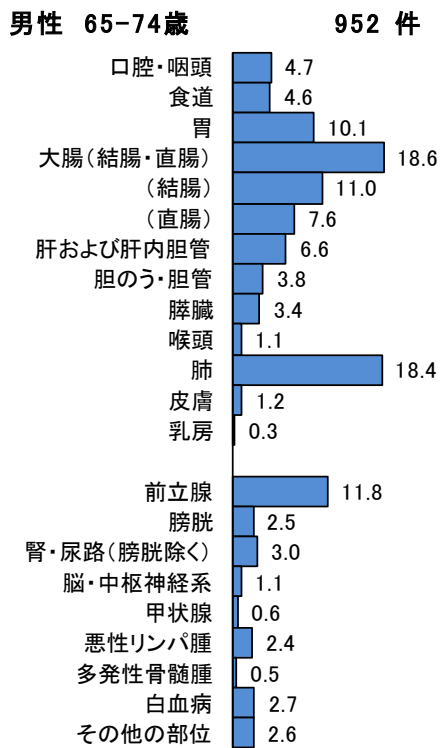
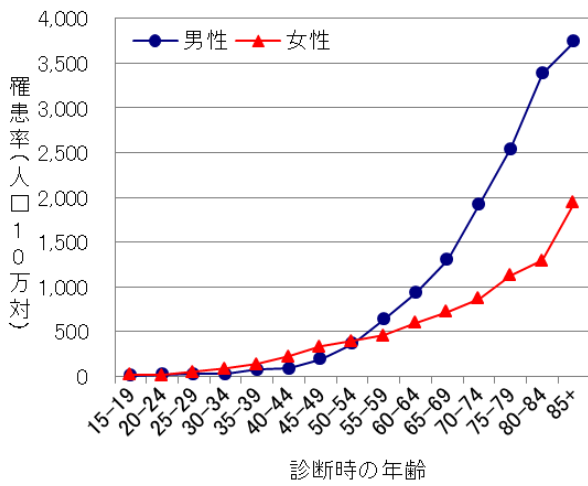
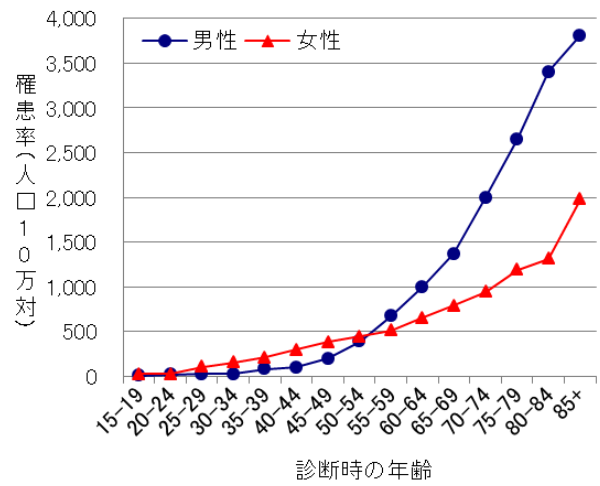


図 3-2 年齢別部位内訳 (%) (表 2-A から作成)

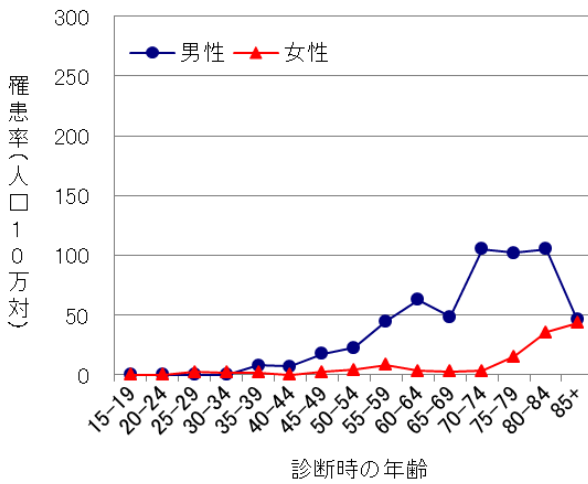
全部位(上皮内がんを除く)



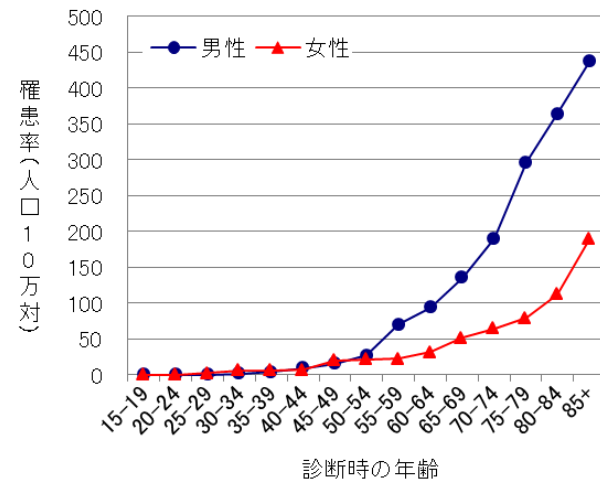
全部位(上皮内がんを含む)



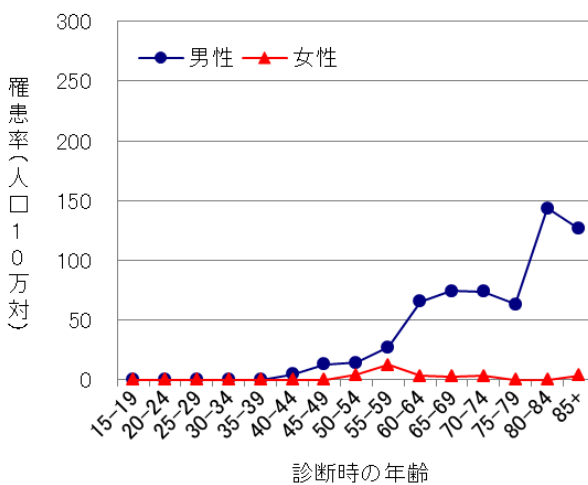
口腔・咽頭



胃



食道(上皮内がんを除く)



食道(上皮内がんを含む)

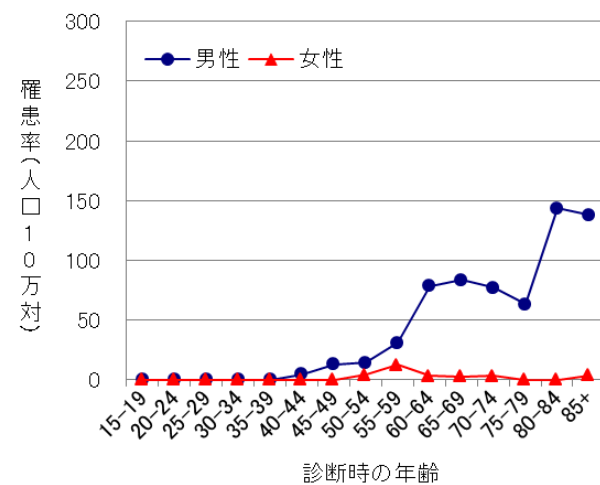


図 4-1 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対 (表 3-A、表 3-B から作成)

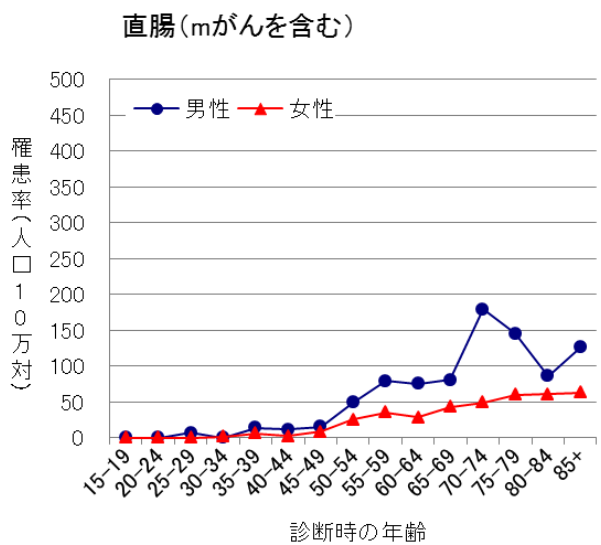
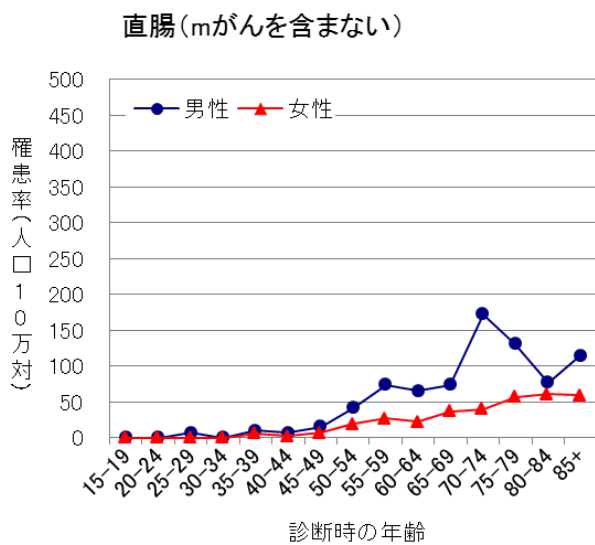
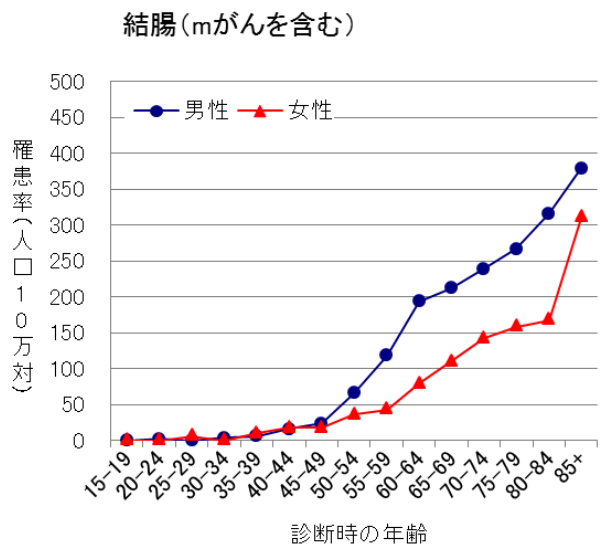
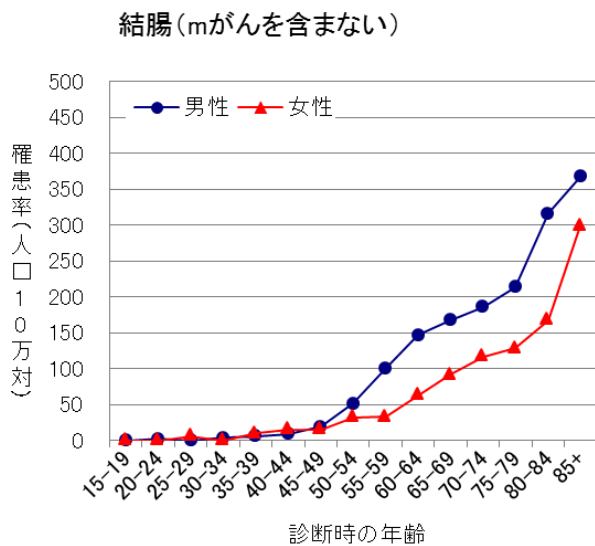
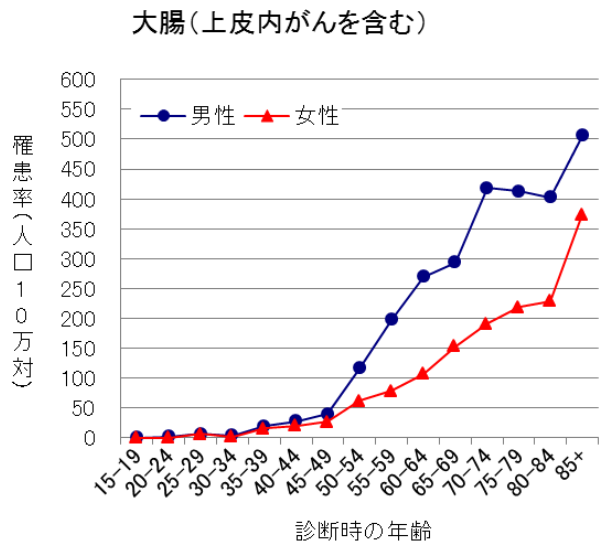
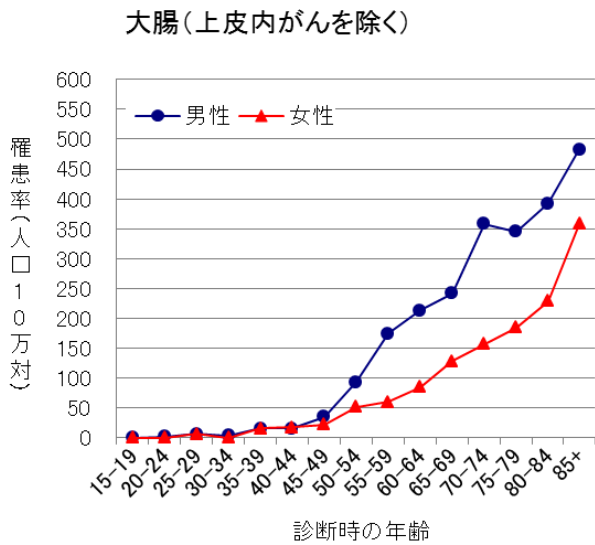


図 4-2 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対 (表 3-A、表 3-B から作成)

m がんについて：我が国の地域がん登録では、大腸（結腸及び直腸）の粘膜内がん（m がん）は上皮内がんとして扱う。

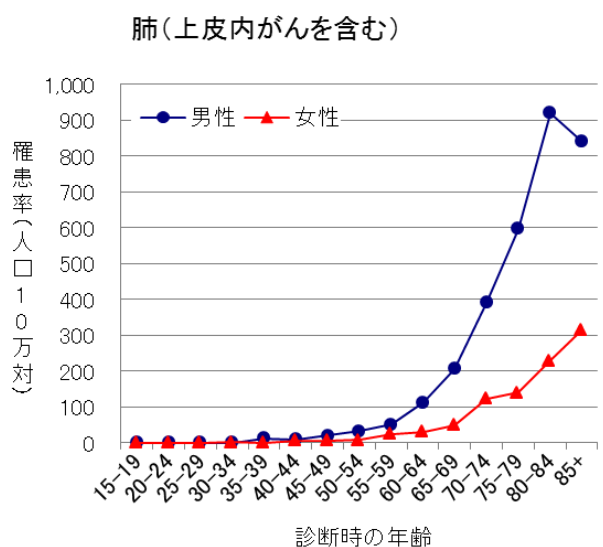
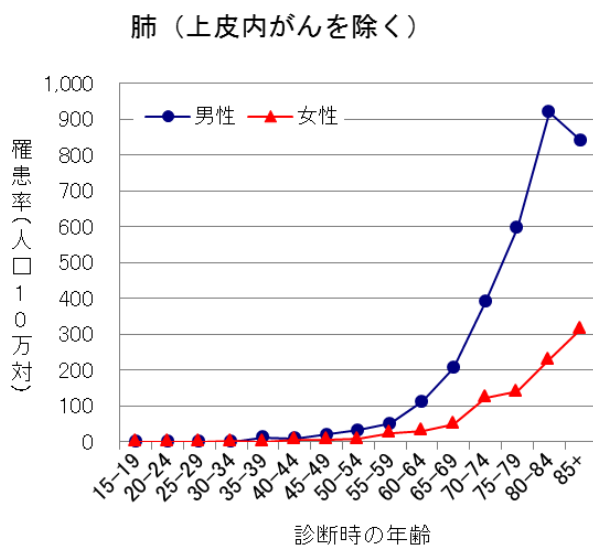
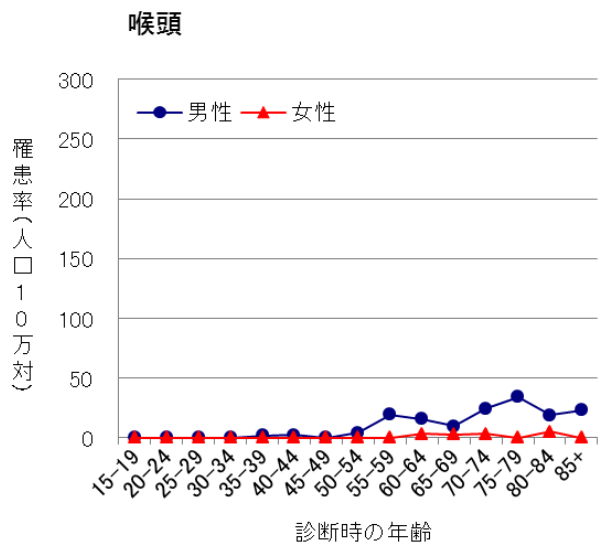
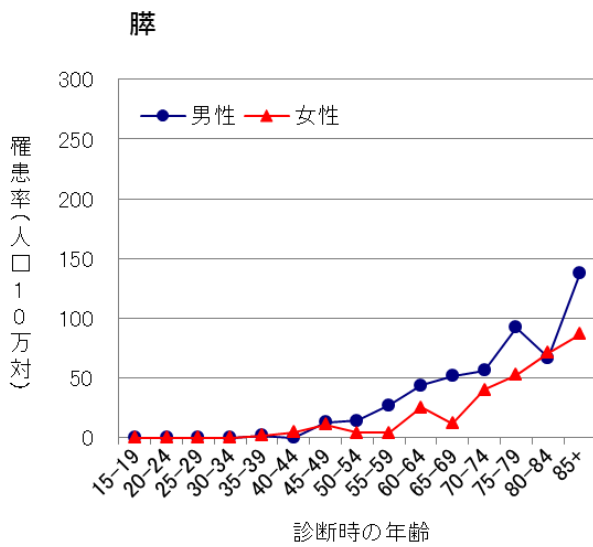
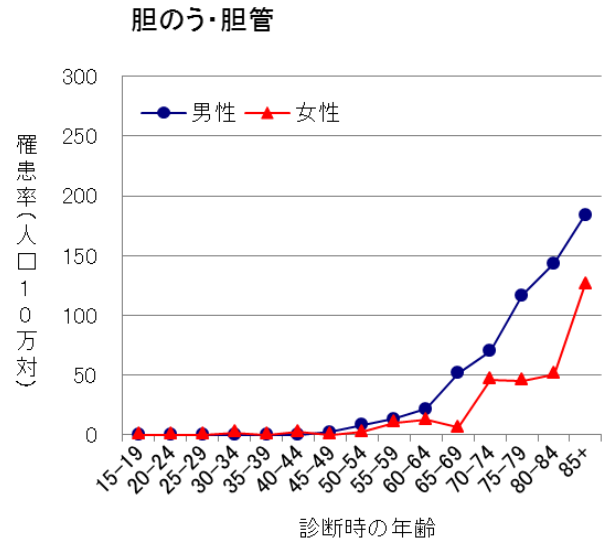
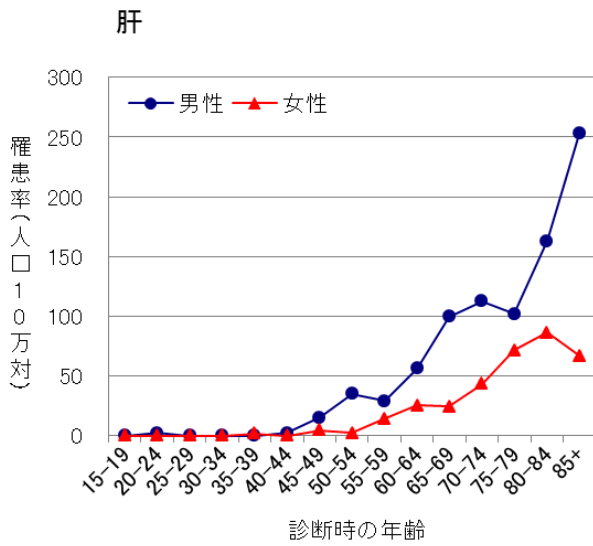


図 4-3 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対 (表 3-A、表 3-B から作成)

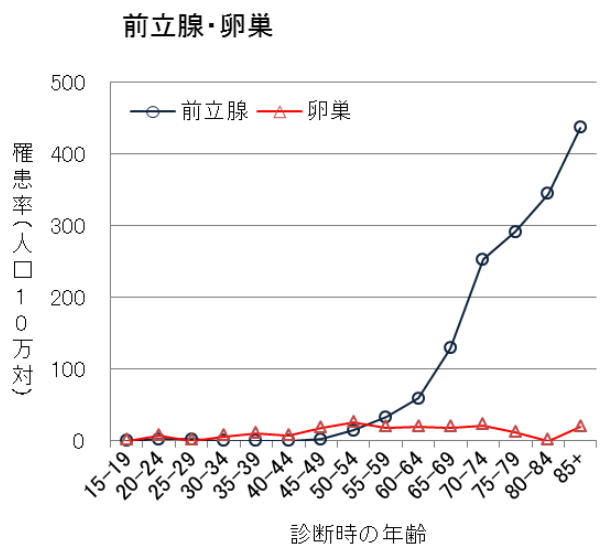
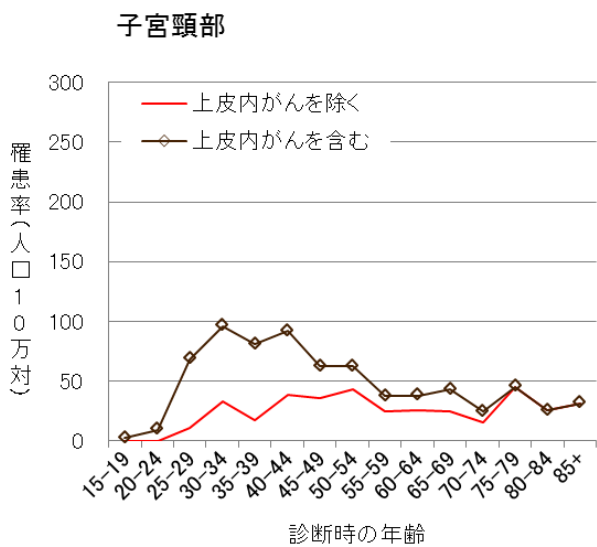
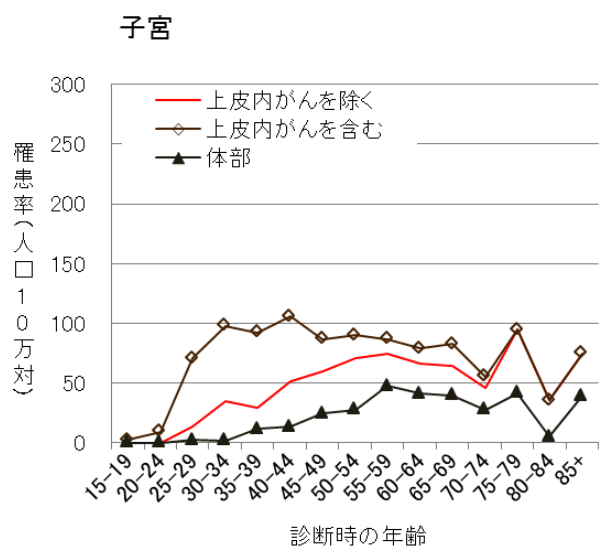
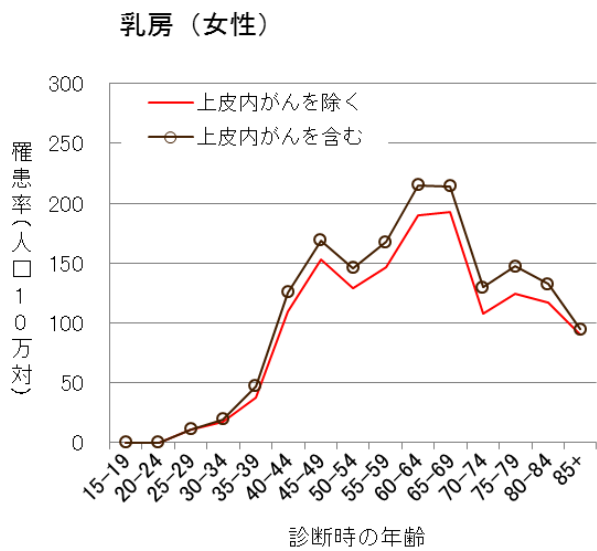
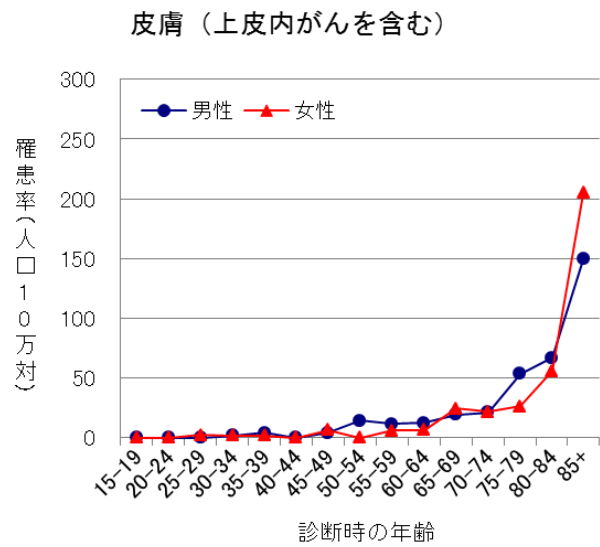
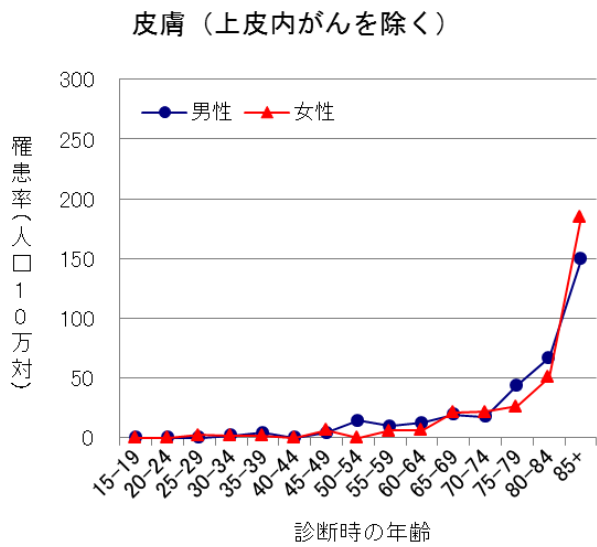


図 4-4 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対（表 3-A、表 3-B から作成）

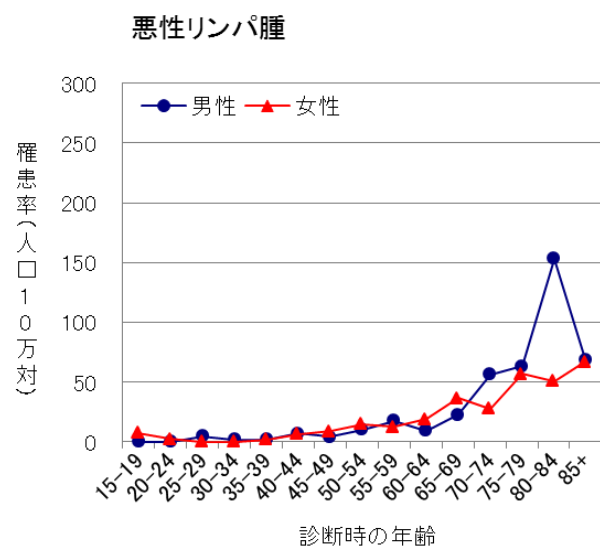
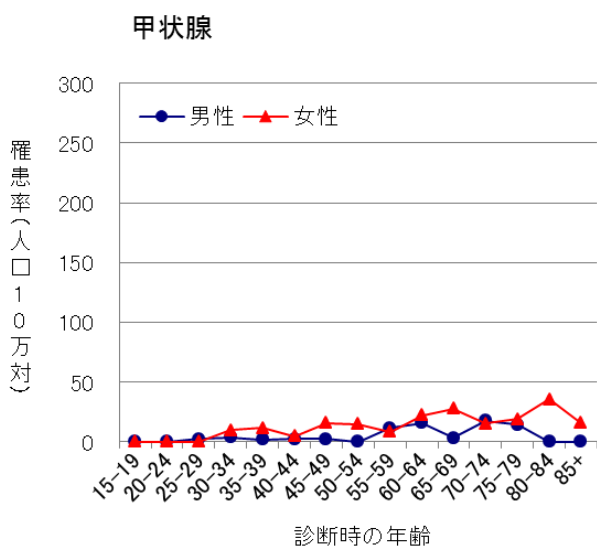
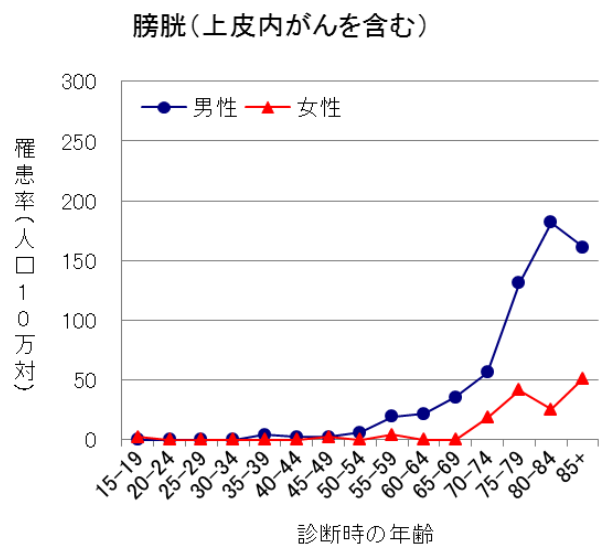
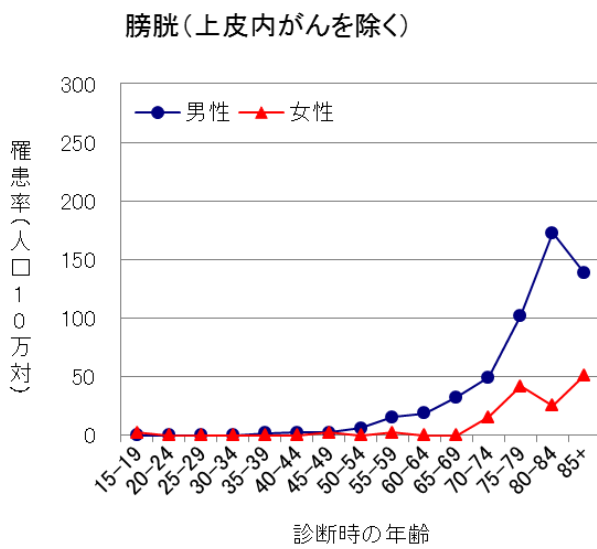
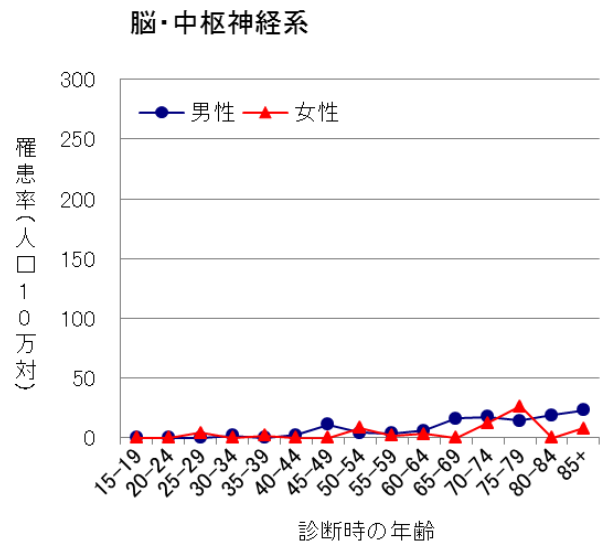
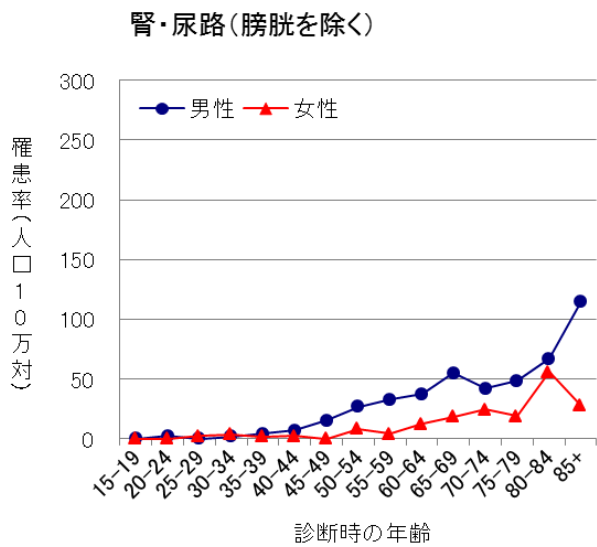


図 4-5 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対 (表 3-A、表 3-B から作成)

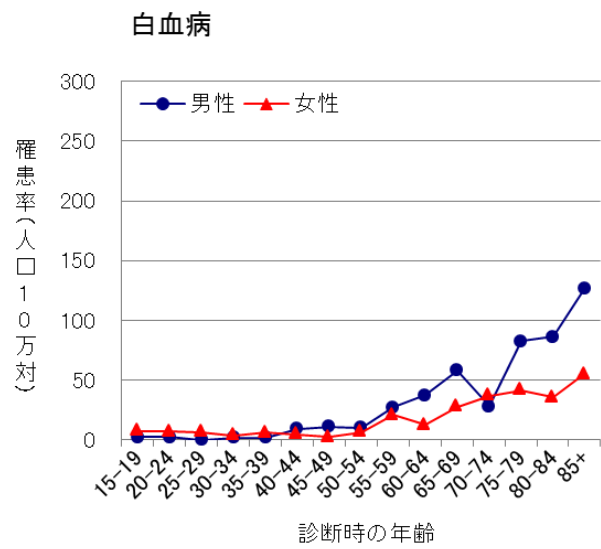
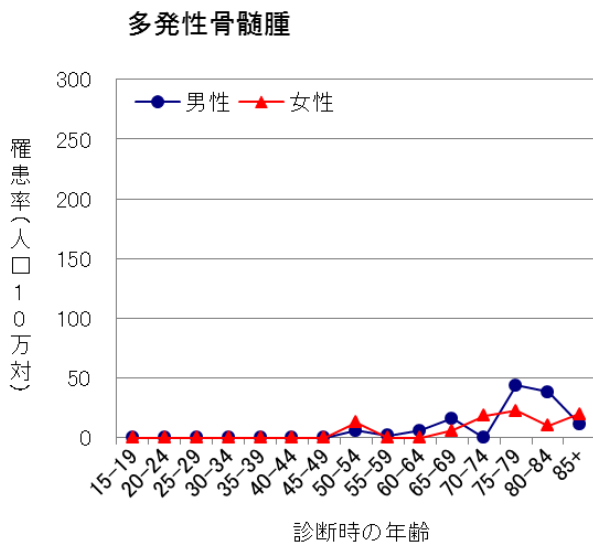


図 4-6 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対 (表 3-A、表 3-B から作成)

沖縄県のがんの罹患の特徴

日本全体の推計値と比較して、沖縄県のがん罹患率は概ね低く推移しているが、男女の白血病、男性の口腔・咽頭、胆のう・胆管、皮膚、脳・中枢神経系、甲状腺、女性の喉頭、皮膚、子宮、悪性リンパ腫については沖縄県が高い値となった（図5）。

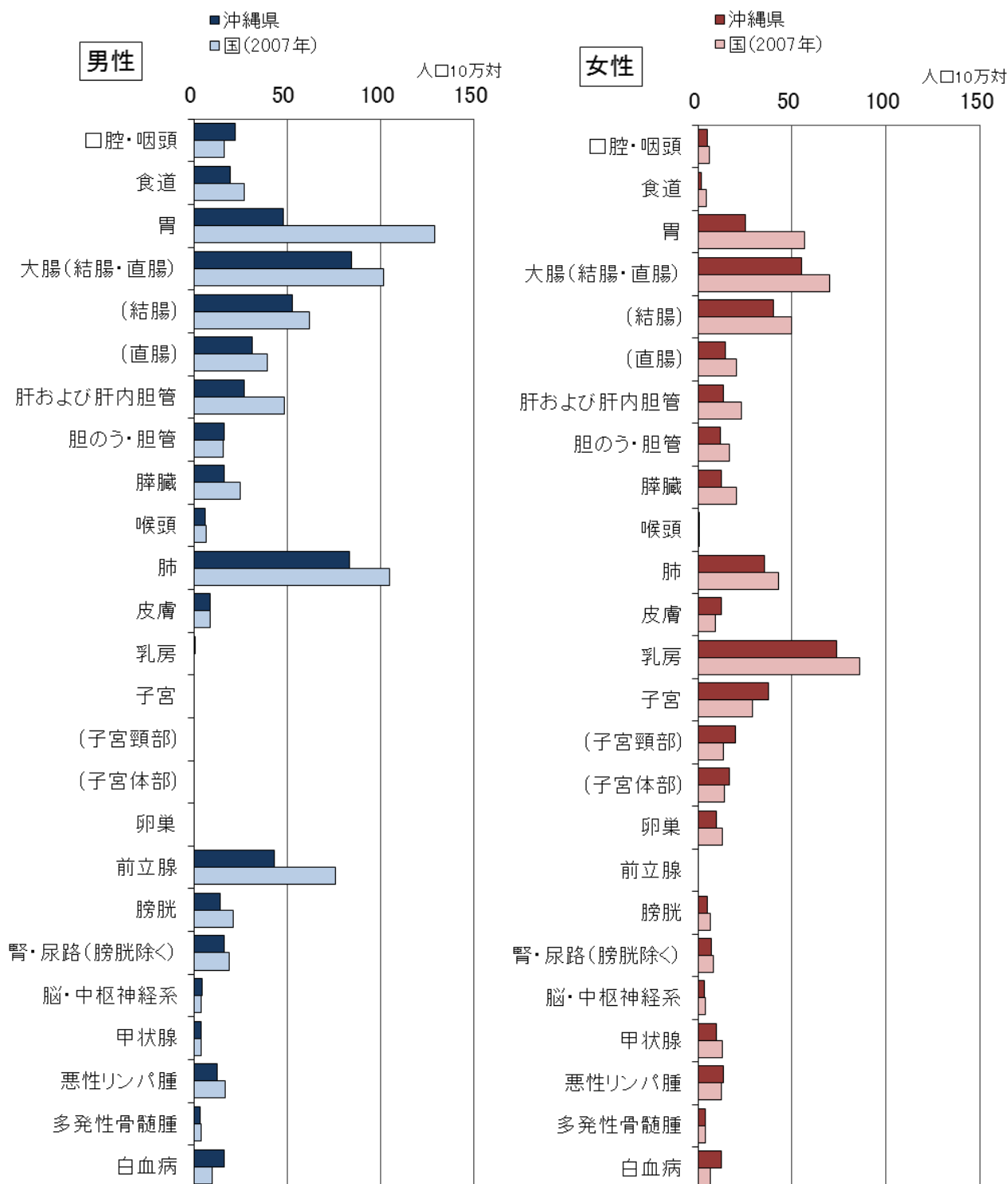


図5 部位別がん粗罹患率：人口10万対（表1-Aから作成）

国の値は、国立がん研究センターがん対策情報センターより、地域がん登録全国推計値を引用。

発見経緯

一般に検診が実施されている部位において、がん検診もしくは健康診断、人間ドックが発見の契機となった症例の割合は、胃 20.5%、大腸 18.5%、肺 11.2%、乳房 25.4%、子宮頸部 41.3%であった。前立腺では、がん検診・健康診断・人間ドックが発見の契機であった症例の割合は 21.5%であった。肝・肝内胆管において、他疾患の経過観察中の発見が多いのは、肝炎や肝硬変の治療中の発見によると考えられる（図 6）。

その他・不明が顕著に多い理由として、患者による有訴受診（疼痛、出血などにより医療機関へ受診）の他、がん検診等の際に診断した医療機関からではなく、治療する医療機関からの届出が多いことが推測される。

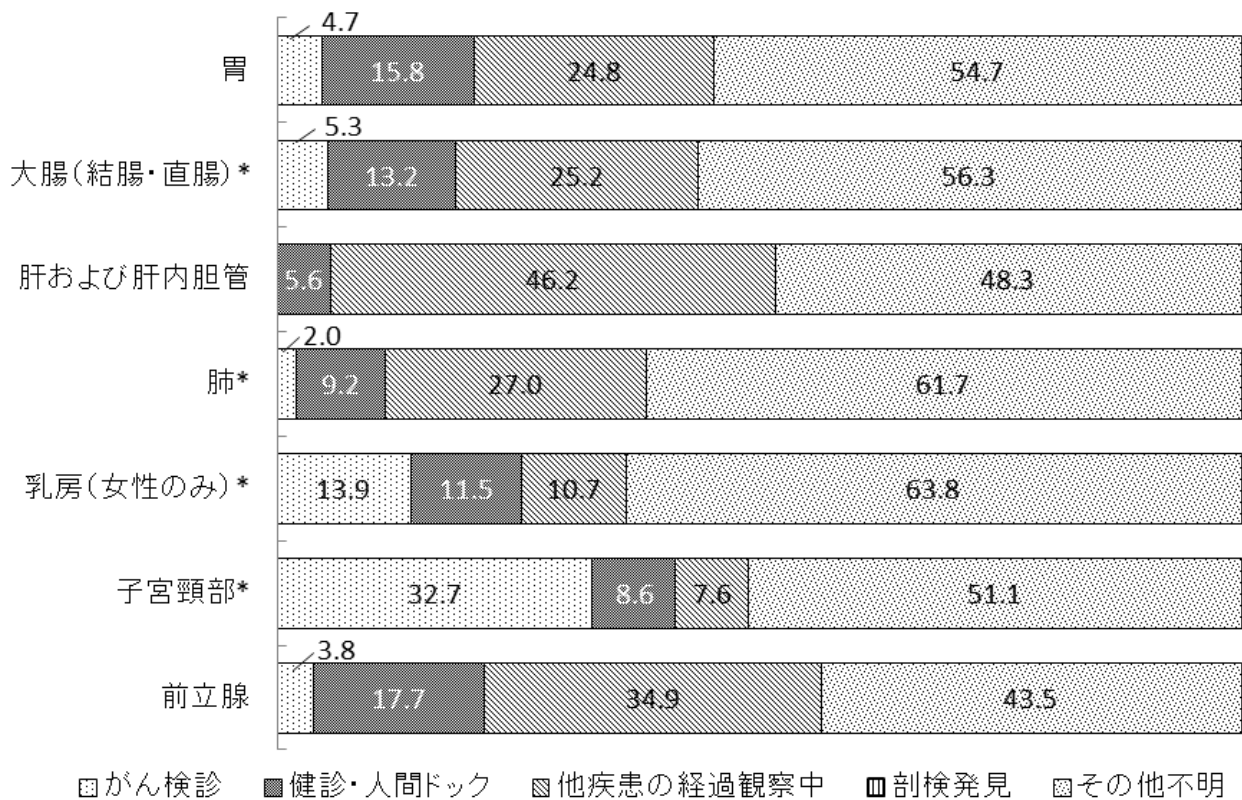


図 6 部位別発見経緯 (%) : 対象は DCO を除く届出患者 (表 4-A、表 4-B から作成)

*上皮内がんを含む

病期

胃、結腸、直腸、乳房、子宮、前立腺など、一般的にがん検診が実施されている部位においては、発見時の病期が上皮内がん、限局がんの割合が高い。一方、肺は、がん検診が実施されている部位ではあるが、発見時に遠隔転移があった割合が限局がんより高い結果となった。胆のう・胆管、膵臓といった腫瘍が比較的大きくなるまで自覚症状の出にくい部位では、発見時に進行している割合が高い（図7）。

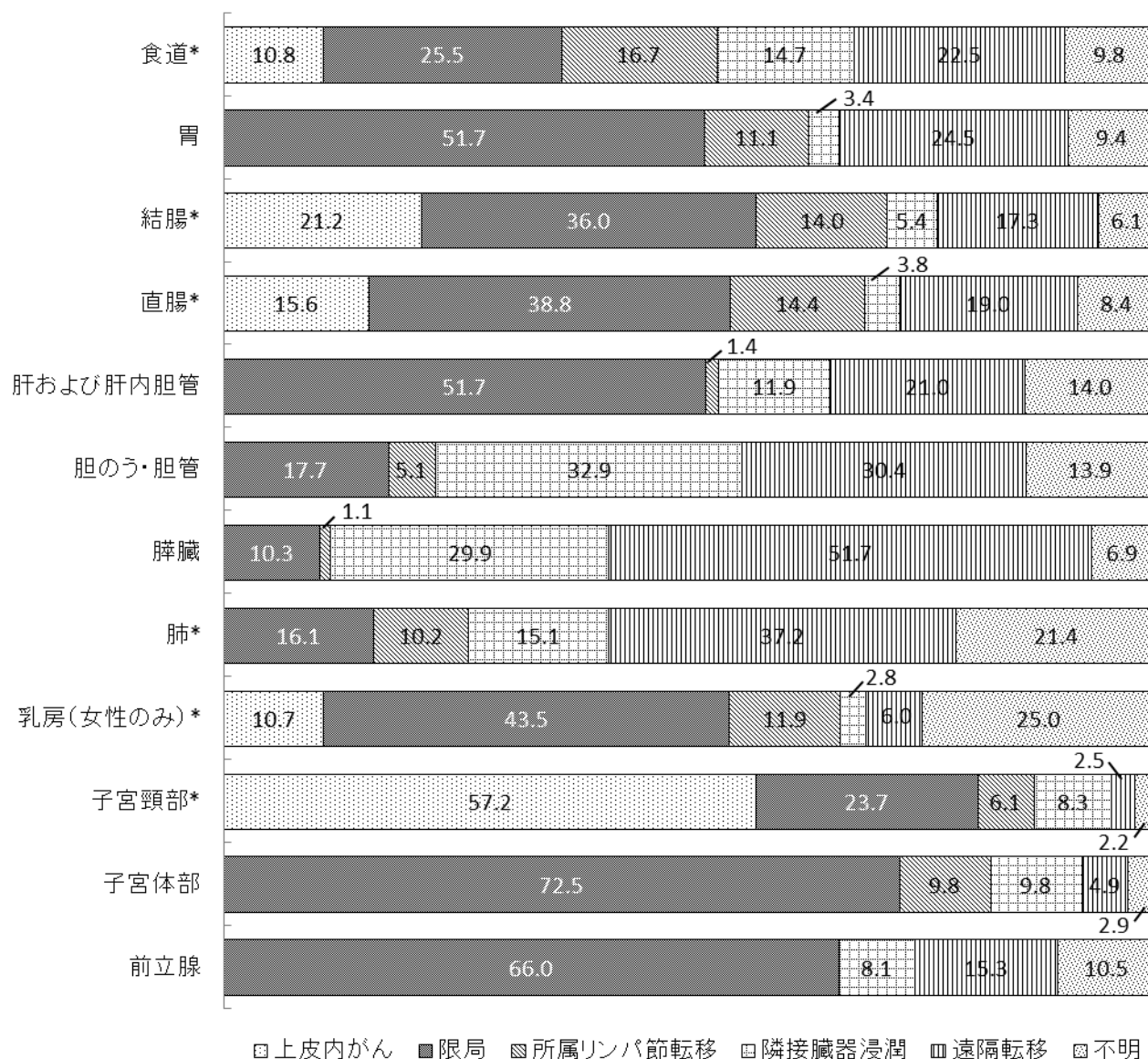


図7 部位別発見時の病期(%)：対象はDCOを除く届出患者（表5-A、表5-Bから作成）

*上皮内がんを含む

胃の限局には、mがんを含む。

結腸・直腸の上皮内は、mがんまでを指す。

子宮頸部の上皮内は、CIN3を含む。

初回治療の方法

胃、大腸などの消化管、乳房、子宮では、手術などの外科的治療の割合が高い。口腔・咽頭、食道では、放射線や薬剤による治療も比較的多く行われている。肺と前立腺では、薬剤による治療の割合が高くなっている（図8）。

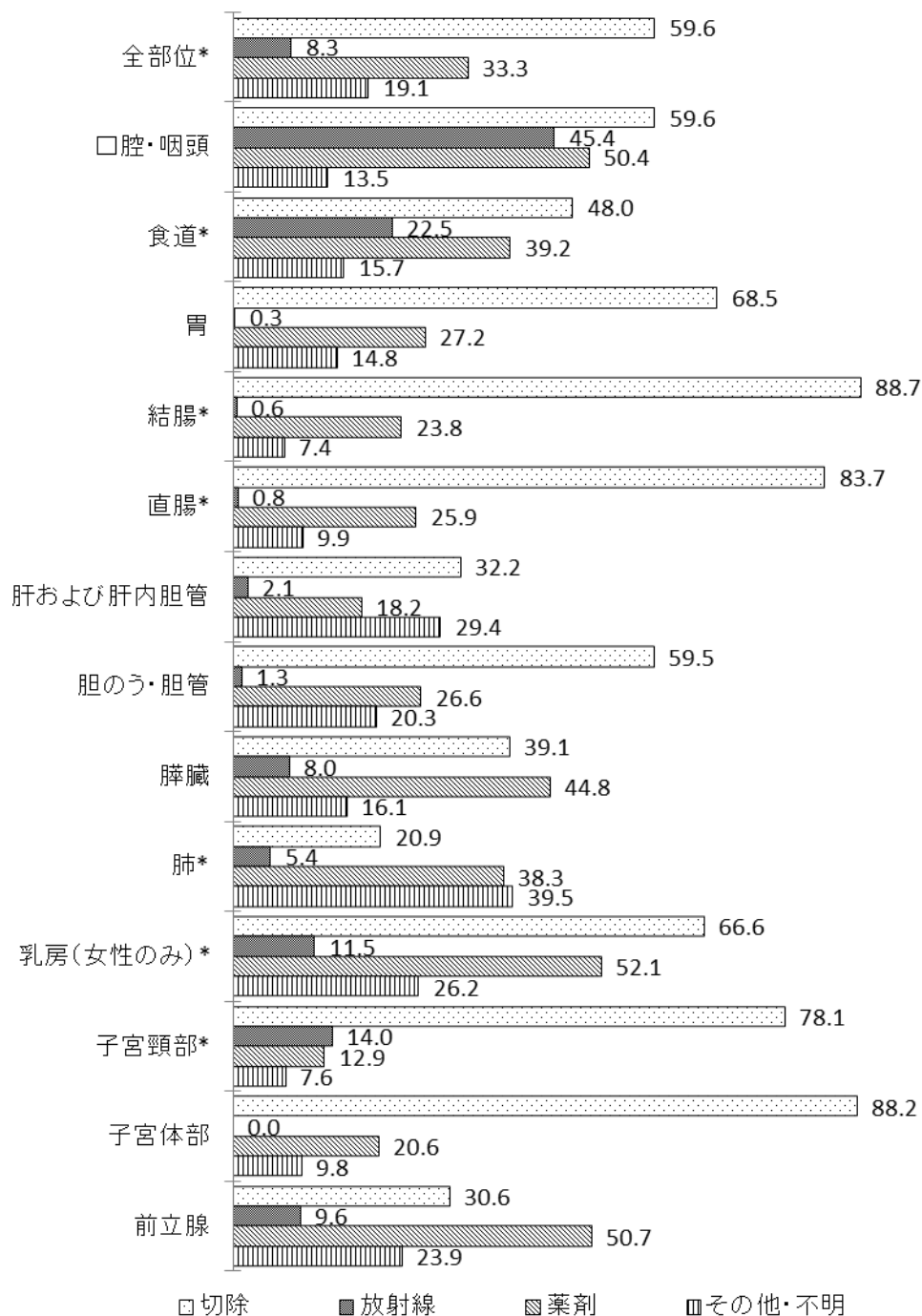


図8 初回治療の方法 (%) : 対象は DCO を除く届出患者 (表 6-A、表 6-B から作成)

*上皮内がんを含む

切除には、外科的、体腔鏡的、内視鏡的手術を含む。

薬剤には、化学療法、免疫療法、内分泌療法を含む。

死亡の概要

2008年に沖縄県におけるがん死亡は、男性1631件、女性1086件、合計2717件であった。死亡率が高い部位は、男性では、肺、大腸（結腸・直腸）、胃、肝および肝内胆管、膵臓の順であった。女性では、肺、大腸（結腸・直腸）、胃、乳房、膵臓であった（図9）。

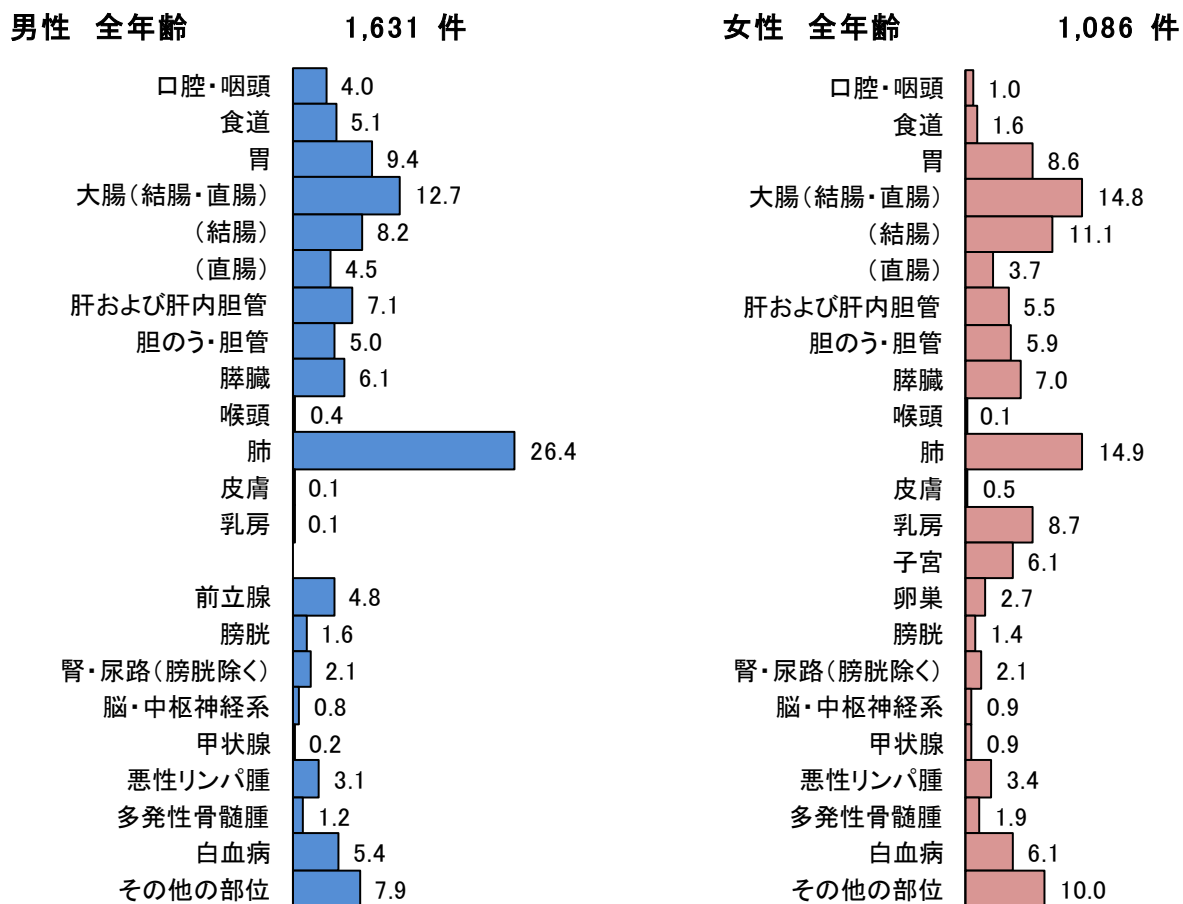


図9 部位内訳 (%) (表9から作成)

年齢別に見たがんの死亡

2008年に沖縄県においてがんで死亡された方は、男性では2/3以上、女性では3/4以上が65歳以上であった（図10）。ほとんどあらゆる部位のがんは、年齢が高くなるほどかかりやすくなるため、がんによる死亡者も高齢者が多い。乳房と子宮については、他の部位と比べ、低い年齢層から死亡率が上昇し始めている（図11）。

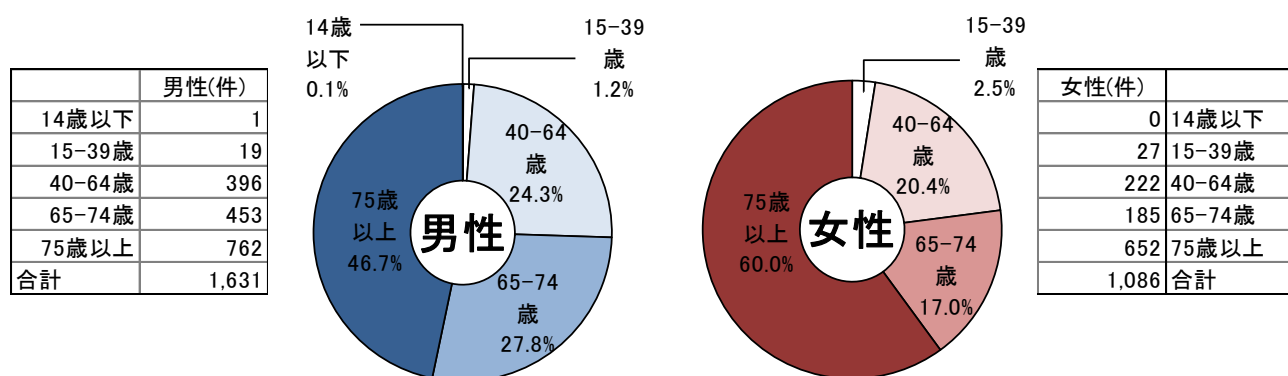


図10 年齢内訳 (%) (表9から作成)

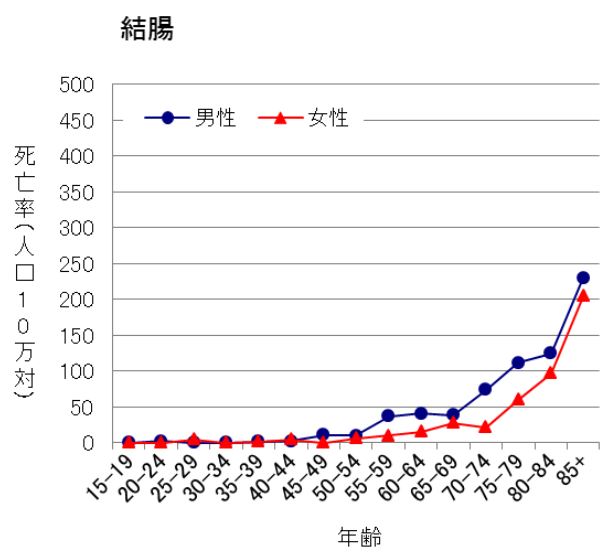
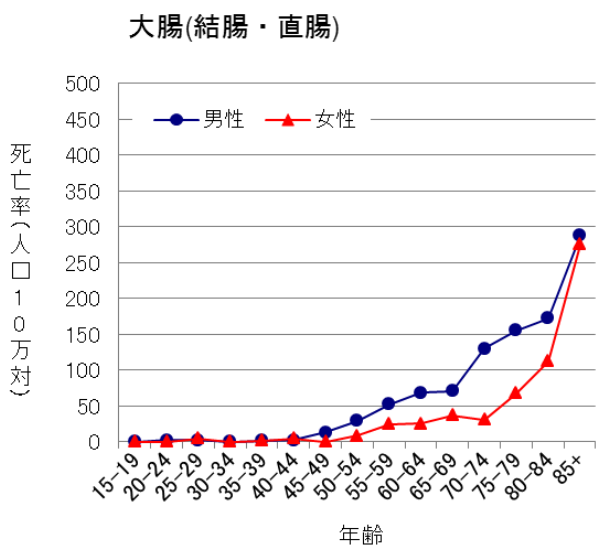
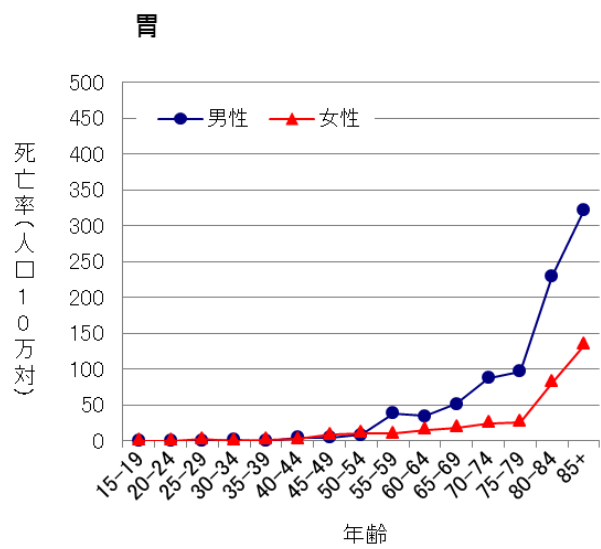
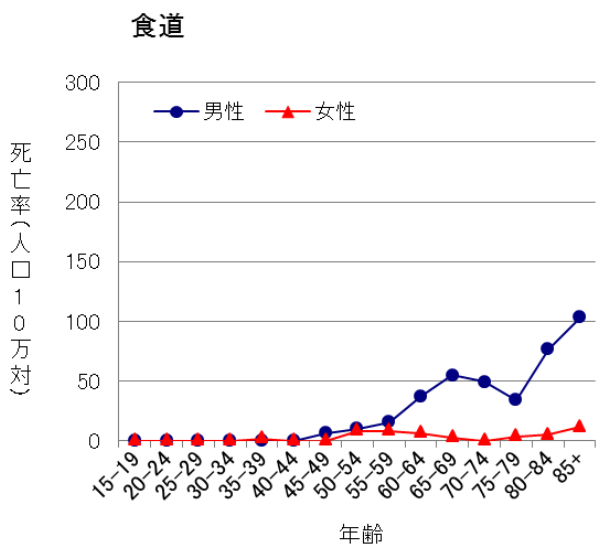
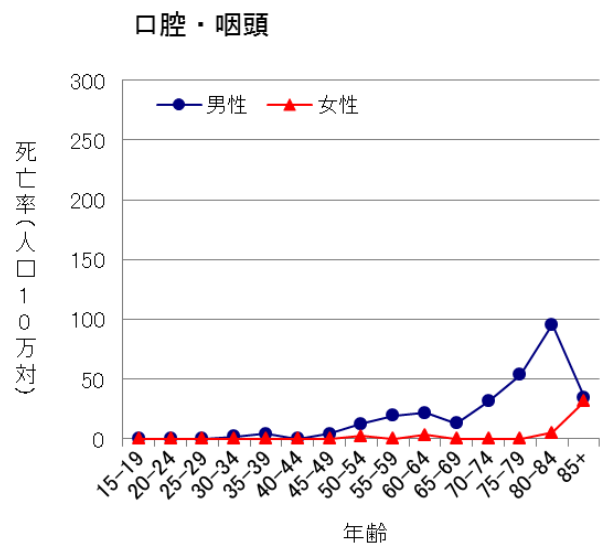
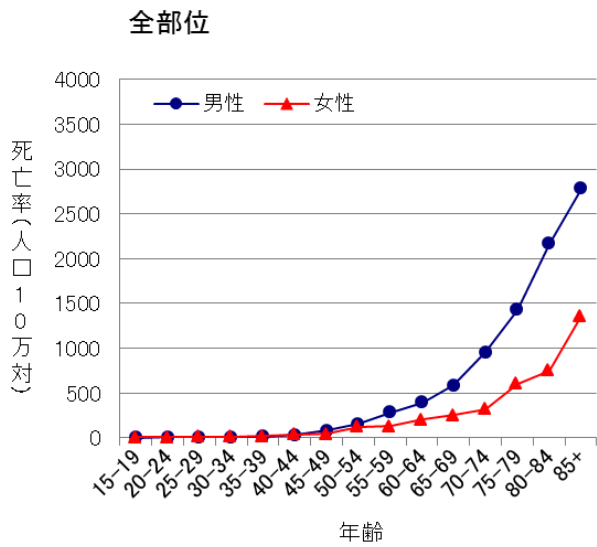


図 11-1 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (表 11 から作成)

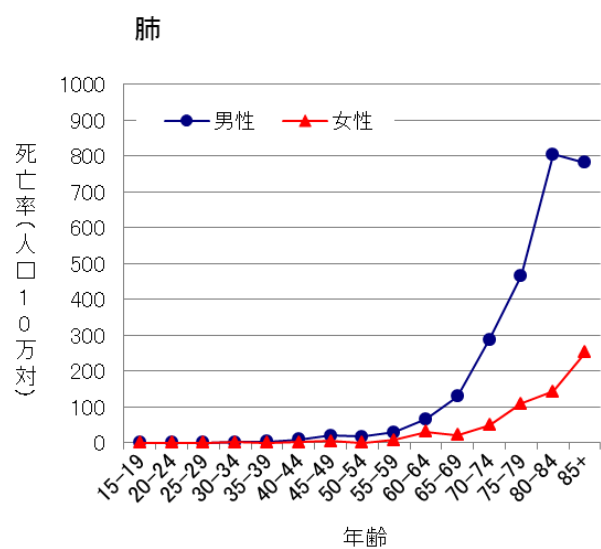
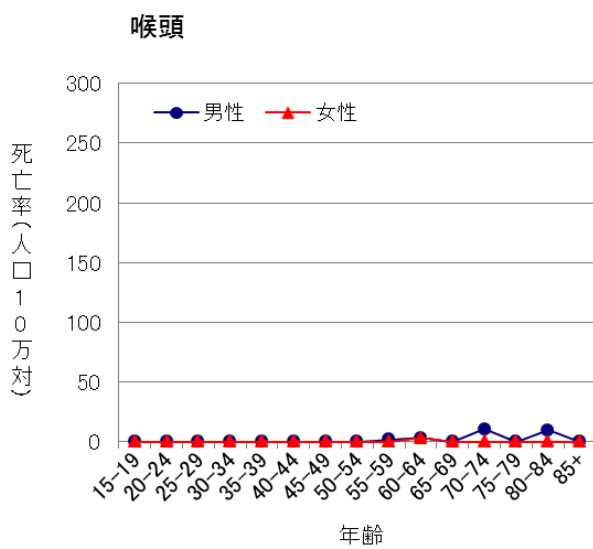
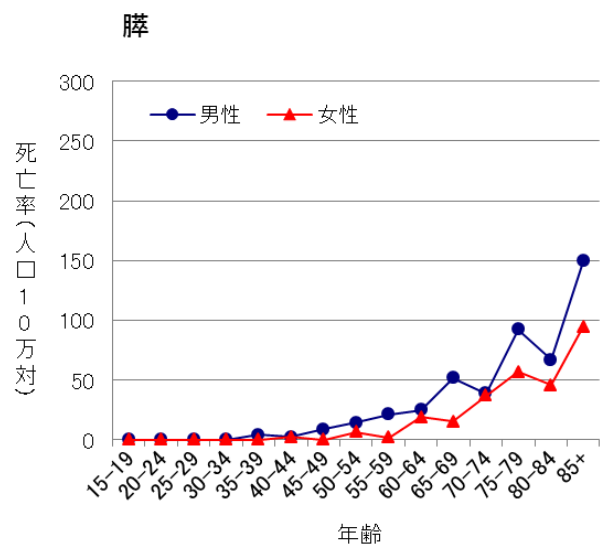
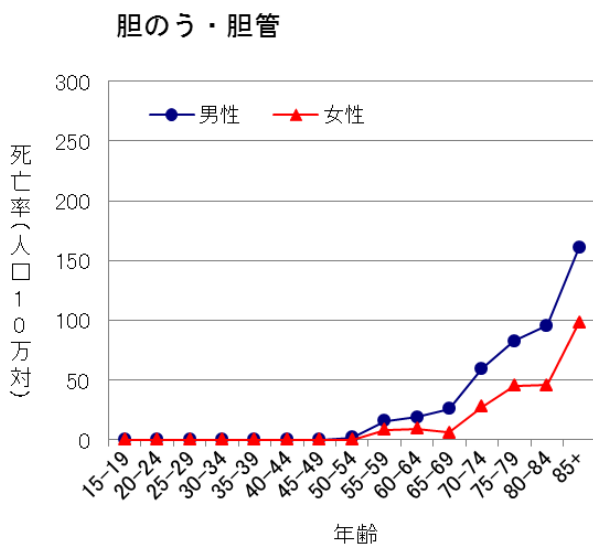
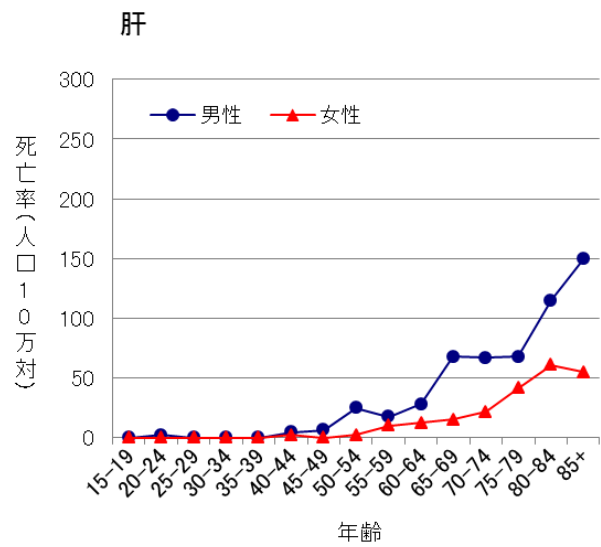
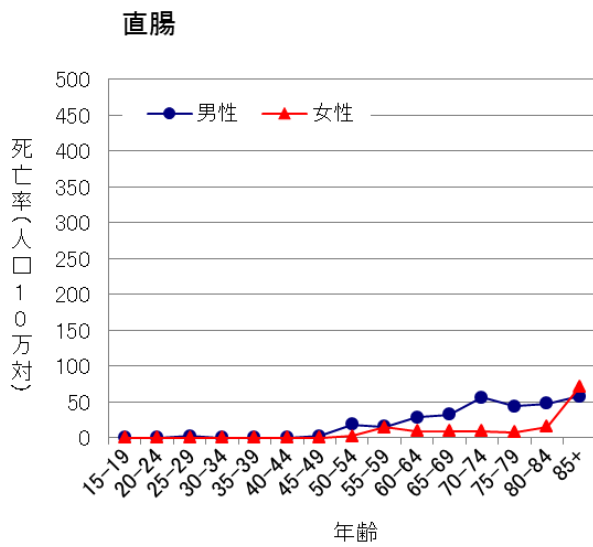


図 11-2 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (表 11 から作成)

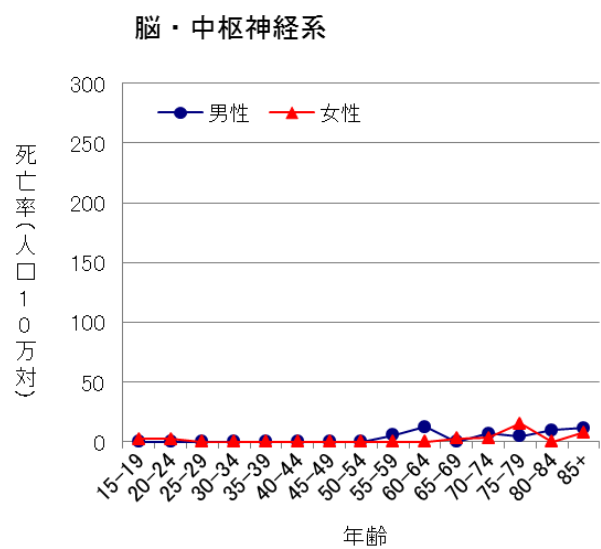
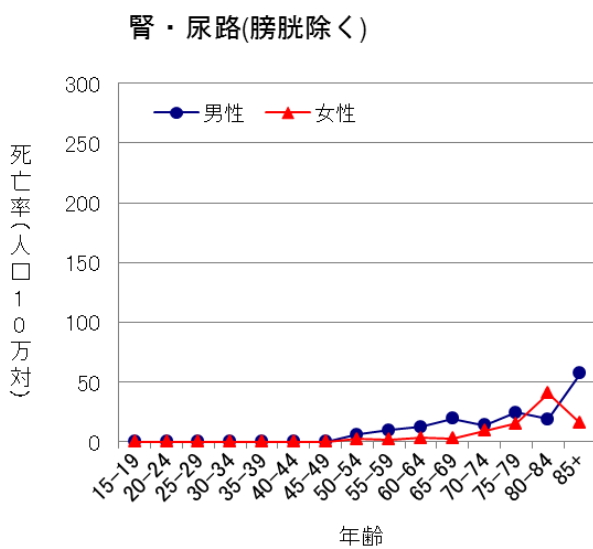
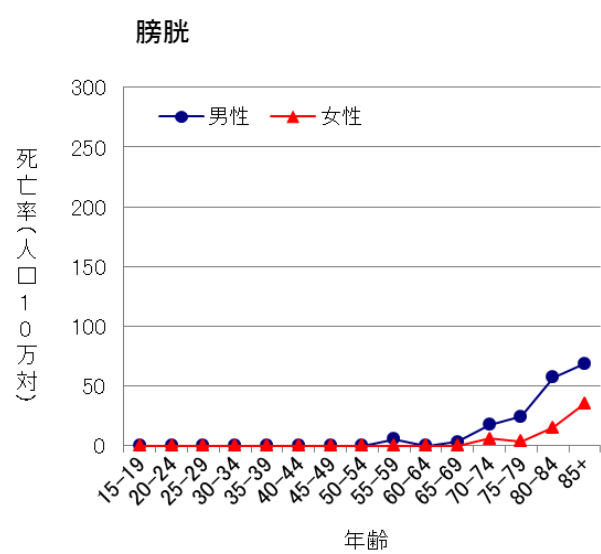
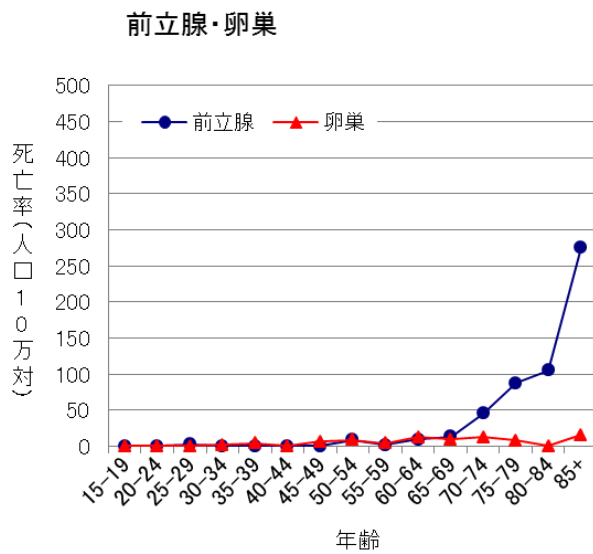
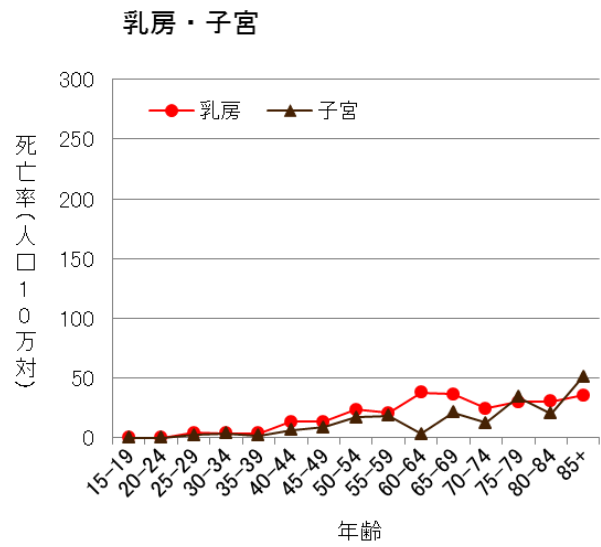
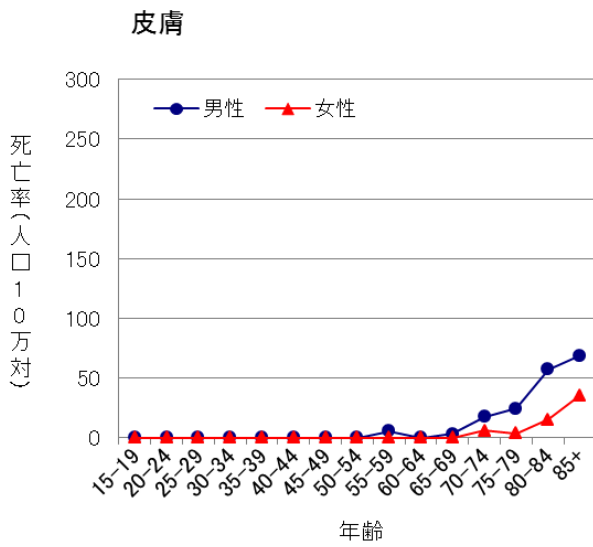


図 11-3 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (表 11 から作成)

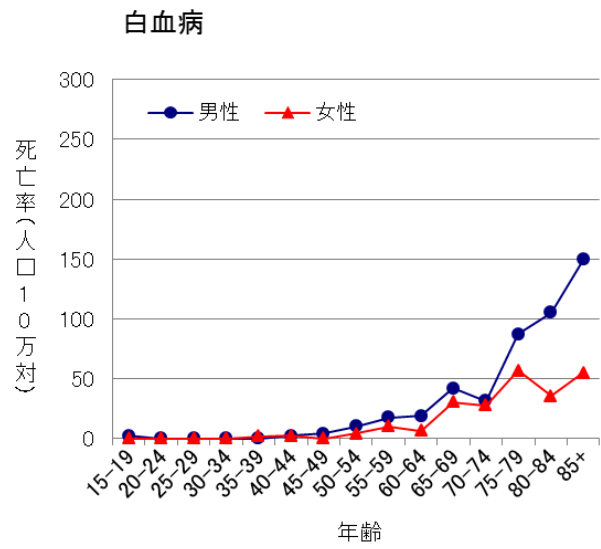
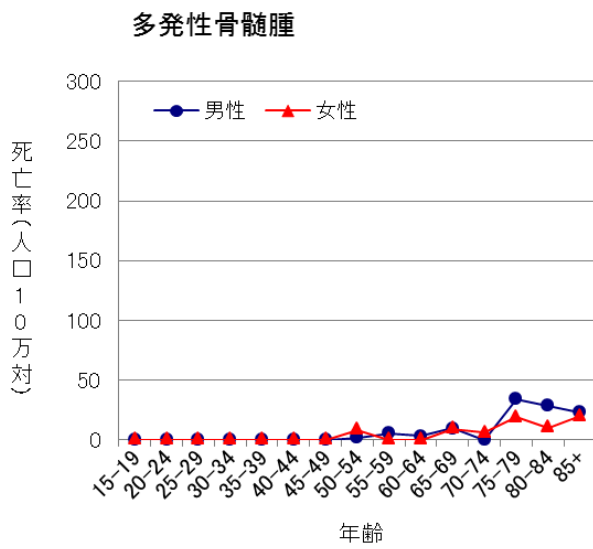
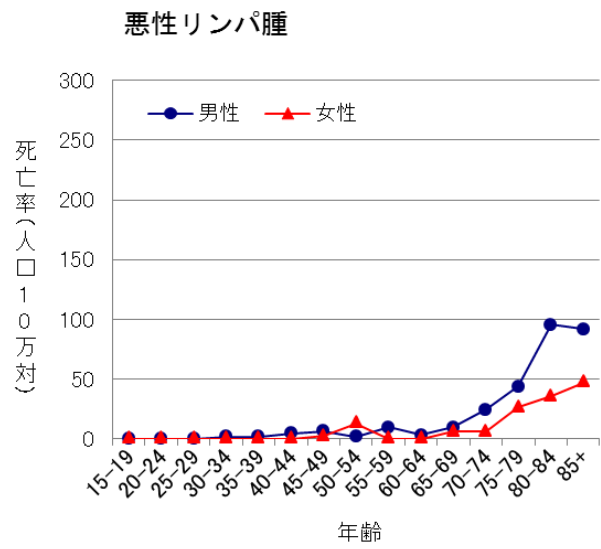
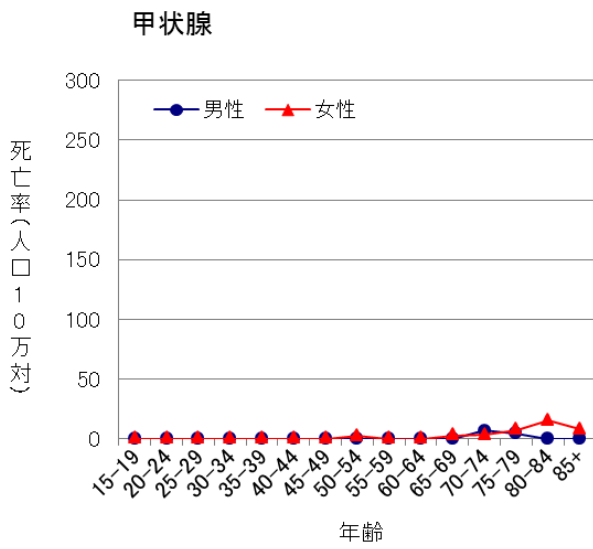


図 11-4 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (表 11 から作成)

沖縄県のがんの死亡の特徴

全国値と比較して、男女の脳・中枢神経系、白血病、男性の口腔・咽頭、女性の子宮を除く部位において、本県のがん死亡率が低い結果となった。特に、男女の胃、肝および肝内胆管において、全国と比較して顕著に低い値であった（図 12）。

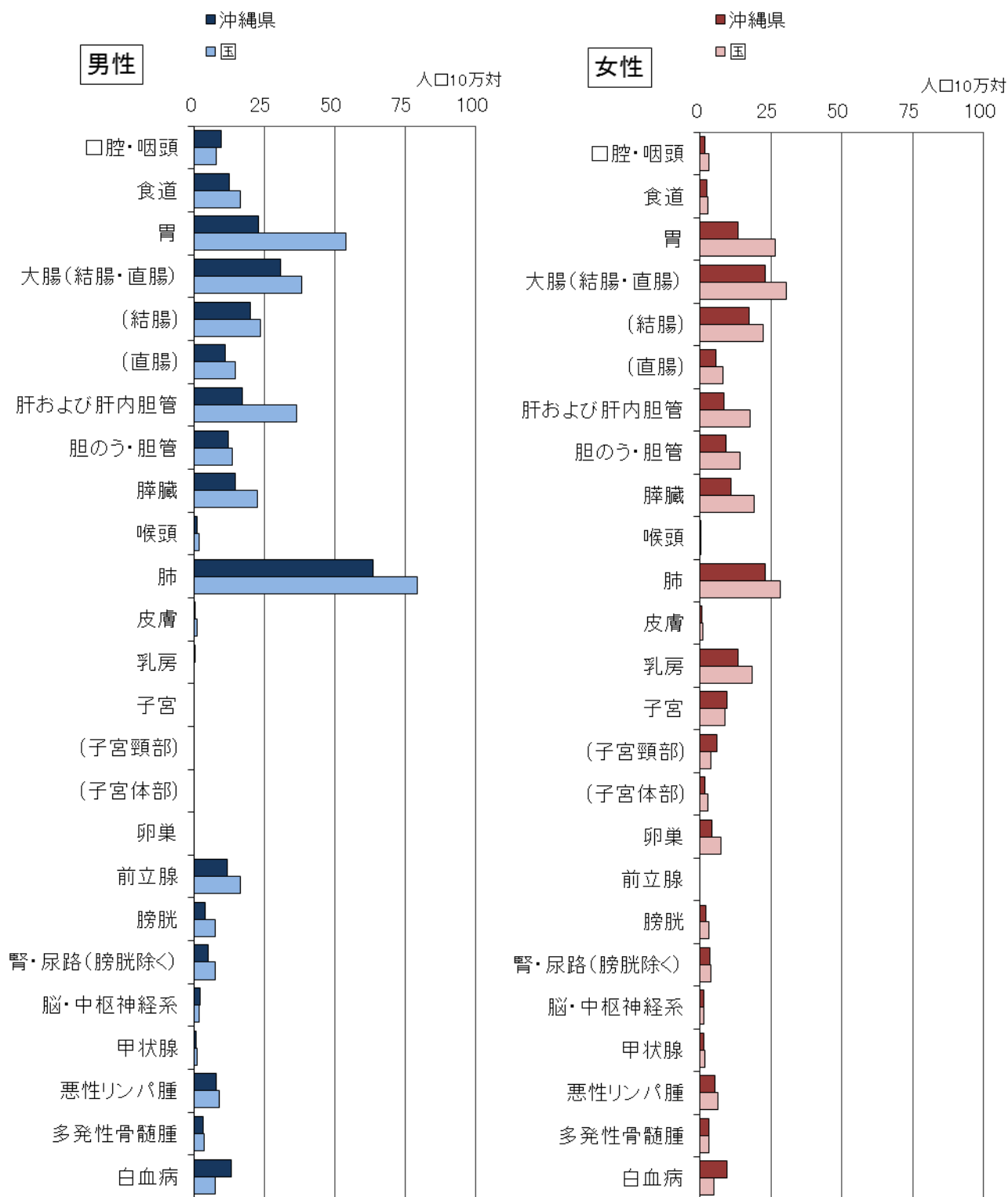


図 12 部位別がん粗死亡率：人口 10 万対（表 9 から作成）

国の値は、国立がん研究センターがん対策情報センターより、人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）を引用。

2-2 統計編 年次推移

罹患の年次推移

※2006年までは沖縄県独自のがん登録システムにより登録、2007年からは全国標準の地域がん登録標準データベースにより登録している。登録方法が異なり、データの質が違うので、留意のこと。

推移表 1-1 罹患数 ; 部位別、男性

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位*	1,734	1,909	1,790	2,193	2,137	2,078	2,079	2,072	3,124	3,307
口腔・咽頭	70	99	86	113	112	73	94	66	152	150
食道	88	105	75	79	99	103	82	75	124	133
胃	230	207	210	220	246	254	233	259	305	326
大腸(結腸・直腸)	213	249	279	357	307	297	362	364	548	573
(結腸)	149	140	183	214	192	180	241	235	355	359
(直腸)	65	111	96	147	115	118	123	132	193	214
肝及び肝内胆管	102	114	83	128	119	95	106	130	175	182
胆のう・胆管	47	64	49	75	62	63	64	82	90	110
膵臓	53	59	44	61	75	56	61	66	95	112
喉頭	20	29	20	26	26	17	18	9	29	40
肺	415	458	450	471	469	468	480	499	702	564
皮膚	31	35	29	33	20	30	29	10	43	61
乳房*	3	1	1	2	0	1	1	0	0	6
子宮*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(子宮頸部)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(子宮体部)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	122	121	132	171	192	178	176	127	242	292
膀胱	47	49	42	65	34	61	43	50	66	95
腎・尿路	33	55	50	52	54	49	35	41	93	112
脳・中枢神経系	21	17	26	19	30	26	29	26	25	31
甲状腺	5	9	4	6	7	10	14	10	23	26
悪性リンパ腫	46	66	48	60	68	59	51	45	85	84
多発性骨髄腫	6	13	13	12	11	12	14	12	27	25
白血病	88	67	66	83	90	89	74	68	123	111

*上皮内がんを含む

推移表 1-2 罹患数 ; 部位別、女性

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位*	1,321	1,549	1,564	1,803	1,898	1,799	1,949	1,580	2,752	2,872
口腔・咽頭	23	21	36	41	26	27	28	14	36	35
食道	14	9	13	10	18	17	13	8	23	12
胃	106	117	92	115	120	120	100	132	125	179
大腸(結腸・直腸)	180	182	196	231	226	228	287	258	342	387
(結腸)	135	125	144	177	179	186	230	204	265	284
(直腸)	48	57	56	54	48	43	58	58	77	103
肝及び肝内胆管	51	53	60	51	71	60	60	50	56	94
胆のう・胆管	63	73	63	77	77	70	65	73	114	83
膵臓	54	53	49	58	77	54	57	54	92	87
喉頭	3	1	3	0	2	1	1	0	1	4
肺	196	186	183	219	213	214	220	228	299	251
皮膚	38	42	43	48	58	51	40	26	46	89
乳房*	132	284	291	306	373	411	503	300	691	589
子宮*	134	195	216	228	211	151	212	72	347	425
子宮	104	154	159	163	162	124	190	70	262	266
(子宮頸部)	64	89	106	91	110	73	116	30	135	142
(子宮体部)	28	54	46	63	46	41	64	25	98	118
卵巣	27	38	46	58	49	30	30	32	68	70
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膀胱	13	31	25	21	17	23	30	30	28	37
腎・尿路	23	15	25	26	36	27	26	27	50	52
脳・中枢神経系	16	20	23	26	31	23	28	28	12	23
甲状腺	37	30	17	33	39	30	37	24	82	68
悪性リンパ腫	42	51	30	56	55	45	48	41	73	95
多発性骨髄腫	13	11	10	16	15	16	15	8	28	27
白血病	72	55	58	80	75	75	58	60	83	89

*上皮内がんを含む

推移表 2-1 粗罹患率（人口 10 万人対）； 部位別、男性

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位*	269.6	294.7	274.5	334.2	323.7	312.8	311.0	308.0	462.7	487.5
口腔・咽頭	10.9	15.3	13.2	17.2	17.0	11.0	14.1	9.8	22.5	22.1
食道	13.7	16.2	11.5	12.0	15.0	15.5	12.3	11.2	18.4	19.6
胃	35.8	32.0	32.2	33.5	37.3	38.2	34.9	38.5	45.2	48.1
大腸(結腸・直腸)	33.1	38.4	42.8	54.4	46.5	44.7	54.2	54.1	81.2	84.5
(結腸)	23.2	21.6	28.1	32.6	29.1	27.1	36.1	34.9	52.6	52.9
(直腸)	10.1	17.1	14.7	22.4	17.4	17.8	18.4	19.6	28.6	31.5
肝及び肝内胆管	15.9	17.6	12.7	19.5	18.0	14.3	15.9	19.3	25.9	26.8
胆のう・胆管	7.3	9.9	7.5	11.4	9.4	9.5	9.6	12.2	13.3	16.2
膵臓	8.2	9.1	6.7	9.3	11.4	8.4	9.1	9.8	14.1	16.5
喉頭	3.1	4.5	3.1	4.0	3.9	2.6	2.7	1.3	4.3	5.9
肺	64.5	70.7	69.0	71.8	71.0	70.4	71.8	74.2	104.0	83.1
皮膚	4.8	5.4	4.4	5.0	3.0	4.5	4.3	1.5	6.4	9.0
乳房*	0.5	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.9
子宮*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(子宮頸部)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(子宮体部)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	19.0	18.7	20.2	26.1	29.1	26.8	26.3	18.9	35.8	43.0
膀胱	7.3	7.6	6.4	9.9	5.1	9.2	6.4	7.4	9.8	14.0
腎・尿路	5.1	8.5	7.7	7.9	8.2	7.4	5.2	6.1	13.8	16.5
脳・中枢神経系	3.3	2.6	4.0	2.9	4.5	3.9	4.3	3.9	3.7	4.6
甲状腺	0.8	1.4	0.6	0.9	1.1	1.5	2.1	1.5	3.4	3.8
悪性リンパ腫	7.2	10.2	7.4	9.1	10.3	8.9	7.6	6.7	12.6	12.4
多発性骨髄腫	0.9	2.0	2.0	1.8	1.7	1.8	2.1	1.8	4.0	3.7
白血病	13.7	10.3	10.1	12.7	13.6	13.4	11.1	10.1	18.2	16.4

*上皮内がんを含む

推移表 2-2 粗罹患率（人口 10 万人対）； 部位別、女性

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位*	198.3	231.1	231.7	265.4	277.5	261.3	281.2	226.5	392.6	407.6
口腔・咽頭	3.5	3.1	5.3	6.0	3.8	3.9	4.0	2.0	5.1	5.0
食道	2.1	1.3	1.9	1.5	2.6	2.5	1.9	1.1	3.3	1.7
胃	15.9	17.5	13.6	16.9	17.5	17.4	14.4	18.9	17.8	25.4
大腸(結腸・直腸)	27.0	27.2	29.0	34.0	33.0	33.1	41.4	37.0	48.8	54.9
(結腸)	20.3	18.6	21.3	26.1	26.2	27.0	33.2	29.2	37.8	40.3
(直腸)	7.2	8.5	8.3	7.9	7.0	6.2	8.4	8.3	11.0	14.6
肝及び肝内胆管	7.7	7.9	8.9	7.5	10.4	8.7	8.7	7.2	8.0	13.3
胆のう・胆管	9.5	10.9	9.3	11.3	11.3	10.2	9.4	10.5	16.3	11.8
膵臓	8.1	7.9	7.3	8.5	11.3	7.8	8.2	7.7	13.1	12.3
喉頭	0.5	0.1	0.4	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.6
肺	29.4	27.7	27.1	32.2	31.1	31.1	31.7	32.7	42.7	35.6
皮膚	5.7	6.3	6.4	7.1	8.5	7.4	5.8	3.7	6.6	12.6
乳房*	19.8	42.4	43.1	45.0	54.5	59.7	72.6	43.0	98.6	83.6
子宮*	20.1	29.1	32.0	33.6	30.8	21.9	30.6	10.3	49.5	60.3
子宮	15.6	23.0	23.6	24.0	23.7	18.0	27.4	10.0	37.4	37.8
(子宮頸部)	9.6	13.3	15.7	13.4	16.1	10.6	16.7	4.3	19.3	20.2
(子宮体部)	4.2	8.1	6.8	9.3	6.7	6.0	9.2	3.6	14.0	16.7
卵巣	4.1	5.7	6.8	8.5	7.2	4.4	4.3	4.6	9.7	9.9
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膀胱	2.0	4.6	3.7	3.1	2.5	3.3	4.3	4.3	4.0	5.3
腎・尿路	3.5	2.2	3.7	3.8	5.3	3.9	3.8	3.9	7.1	7.4
脳・中枢神経系	2.4	3.0	3.4	3.8	4.5	3.3	4.0	4.0	1.7	3.3
甲状腺	5.6	4.5	2.5	4.9	5.7	4.4	5.3	3.4	11.7	9.7
悪性リンパ腫	6.3	7.6	4.4	8.2	8.0	6.5	6.9	5.9	10.4	13.5
多発性骨髄腫	2.0	1.6	1.5	2.4	2.2	2.3	2.2	1.1	4.0	3.8
白血病	10.8	8.2	8.6	11.8	11.0	10.9	8.4	8.6	11.8	12.6

*上皮内がんを含む

推移表 3-1 年齢調整罹患率（人口 10 万人対、日本人人口）； 部位別、男性

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位*	261.1	278.8	249.7	295.7	278.6	264.5	253.3	244.7	359.5	371.9
口腔・咽頭	10.6	14.4	12.5	15.4	15.0	9.6	11.6	8.0	18.3	17.6
食道	13.5	15.3	10.3	10.8	13.0	13.0	9.7	9.0	13.9	15.4
胃	34.7	30.5	29.2	29.7	32.4	32.8	28.7	30.6	34.7	35.8
大腸(結腸・直腸)	32.1	35.7	38.6	48.3	40.5	38.3	44.4	44.1	64.1	65.8
(結腸)	22.5	20.3	25.3	28.6	25.2	23.2	29.4	28.2	41.0	41.1
(直腸)	9.8	15.8	13.3	20.3	15.2	15.3	15.3	16.2	23.1	24.7
肝及び肝内胆管	15.5	16.6	11.6	17.3	15.6	12.0	13.3	15.5	20.6	20.5
胆のう・胆管	7.1	9.4	6.8	9.9	7.9	7.7	7.5	9.2	10.2	11.6
膵臓	8.0	8.6	6.2	8.3	9.8	7.1	7.4	8.3	10.7	12.6
喉頭	2.9	4.3	2.8	3.4	3.5	2.2	2.2	1.1	3.2	4.5
肺	62.1	67.3	62.1	62.4	59.7	58.2	57.2	56.6	78.3	60.5
皮膚	4.6	4.9	4.0	4.5	2.6	3.8	3.3	1.2	4.7	6.7
乳房*	0.4	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.6
子宮*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(子宮頸部)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(子宮体部)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	18.1	17.1	18.3	22.6	24.4	21.6	21.1	14.2	26.6	30.9
膀胱	7.1	7.3	5.7	8.7	4.3	7.4	5.2	5.8	7.1	10.2
腎・尿路	5.0	8.0	7.0	7.1	7.1	6.5	4.3	4.9	11.3	13.3
脳・中枢神経系	3.1	2.6	3.8	2.5	4.0	3.8	3.8	3.2	3.2	3.8
甲状腺	0.8	1.3	0.6	0.9	1.0	1.3	2.0	1.3	3.0	3.2
悪性リンパ腫	6.9	9.7	7.1	8.4	8.9	7.8	6.5	5.8	9.7	9.5
多発性骨髄腫	0.9	1.9	1.8	1.5	1.4	1.6	1.6	1.3	3.2	2.8
白血病	13.6	10.3	9.6	11.7	11.8	11.8	9.3	8.4	15.3	13.2

*上皮内がんを含む

推移表 3-2 年齢調整罹患率（人口 10 万人対、日本人人口）； 部位別、女性

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全部位*	147.6	181.2	177.1	199.5	204.5	185.7	202.8	150.6	282.7	287.7
口腔・咽頭	2.5	2.2	4.0	4.5	2.8	3.2	2.8	0.9	3.3	2.7
食道	1.3	1.0	1.1	0.8	1.7	1.7	1.0	0.8	2.0	1.3
胃	10.8	12.7	9.2	11.9	11.2	11.3	8.9	12.3	10.0	15.1
大腸(結腸・直腸)	17.8	19.8	19.8	23.1	21.2	21.4	25.9	22.9	29.0	33.3
(結腸)	13.1	13.3	14.3	17.3	16.2	17.2	20.6	18.1	22.5	23.7
(直腸)	4.9	6.5	6.1	5.8	5.2	4.3	5.3	5.3	6.5	9.6
肝及び肝内胆管	5.3	5.2	5.6	4.6	6.2	4.8	4.3	4.2	4.7	7.6
胆のう・胆管	5.7	6.8	5.9	5.9	5.8	4.7	4.8	5.5	8.2	5.5
膵臓	5.7	5.2	5.0	6.0	7.4	5.3	4.4	4.9	8.0	7.1
喉頭	0.3	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.4
肺	19.9	17.6	16.5	18.2	18.4	17.7	17.6	18.1	22.9	17.5
皮膚	3.5	4.0	3.5	3.9	4.4	4.2	3.0	1.6	3.3	5.3
乳房*	18.0	40.5	39.9	42.2	51.3	53.9	64.4	38.2	86.9	73.2
子宮*	18.0	27.4	30.0	32.9	28.6	19.2	27.6	7.4	45.0	56.8
子宮	13.3	21.1	21.2	23.1	21.2	15.1	24.2	7.2	31.9	32.5
(子宮頸部)	8.1	12.5	14.4	13.4	14.1	9.3	15.2	3.6	17.1	18.3
(子宮体部)	3.9	7.7	6.5	8.9	6.4	5.0	8.3	2.9	11.8	13.8
卵巣	3.8	5.1	6.2	7.1	6.0	3.6	3.4	3.2	8.0	8.7
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膀胱	1.2	3.2	2.2	1.8	1.3	1.7	2.1	2.1	1.9	2.4
腎・尿路	2.6	1.8	3.0	2.2	3.4	3.1	2.2	2.5	5.1	4.8
脳・中枢神経系	2.0	2.5	2.9	3.2	3.3	2.3	3.7	2.8	1.7	2.4
甲状腺	5.1	3.9	1.8	3.9	4.8	3.3	4.9	3.1	10.4	7.9
悪性リンパ腫	4.6	5.8	3.5	6.2	5.8	3.9	5.0	3.9	6.3	9.1
多発性骨髄腫	1.6	1.1	1.1	1.8	1.4	1.4	1.2	0.6	2.7	2.3
白血病	8.5	6.8	6.5	8.9	8.1	7.8	6.5	5.7	8.6	9.0

*上皮内がんを含む

がん罹患（年齢調整罹患率）の年次推移

年齢調整罹患率において、沖縄県の年次推移をみたところ、大腸、肝臓、前立腺、乳房について、増加傾向がみられた。

全国との推計値と比較したところ、沖縄県の年齢調整罹患率は、全国と比べて胃、大腸、肝臓、前立腺では概ね低く推移しているが、肺については全国と同様の値を示した。乳房、子宮については、一部の年で全国より高い値を示した。

なお、2006年について特に子宮の値が大きく減少しているのは、地域がん登録標準データベースシステム導入準備のため、当該年において出張採録を中止したのが原因である（図13）。

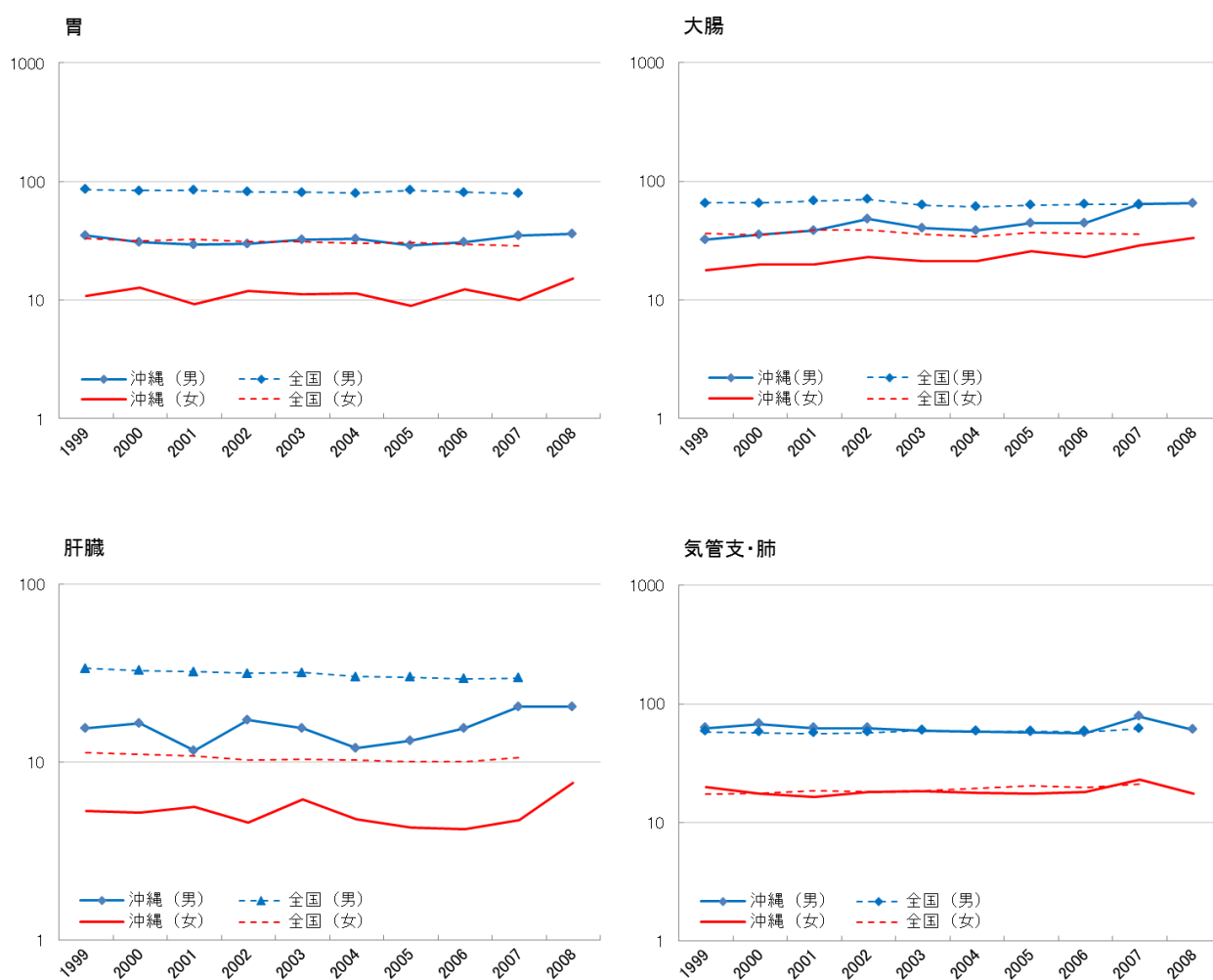


図 13-1 部位別年齢調整罹患率年次推移：基準人口：日本人人口（表 1-A、表 1-B、推移表 3-1、推移表 3-2 から作成）

年齢調整罹患率は、1985年日本人人口を基準とした。

国の値は、国立がん研究センターがん対策情報センターより、地域がん登録全国推計値を引用。

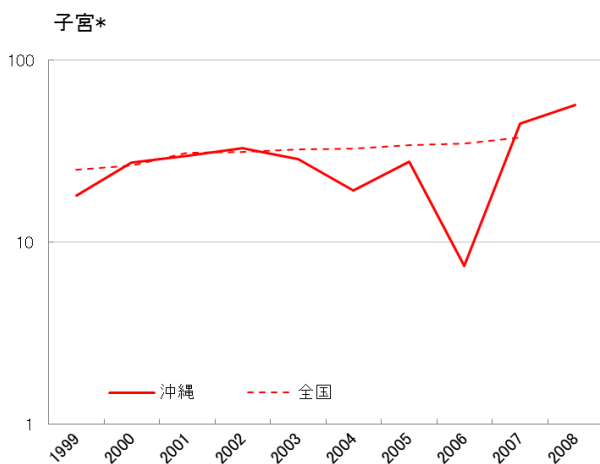
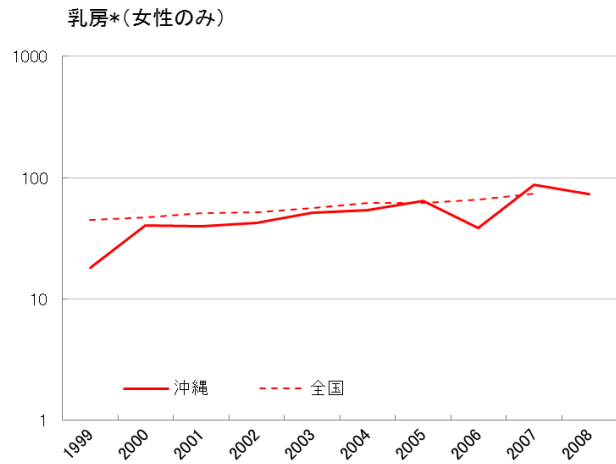
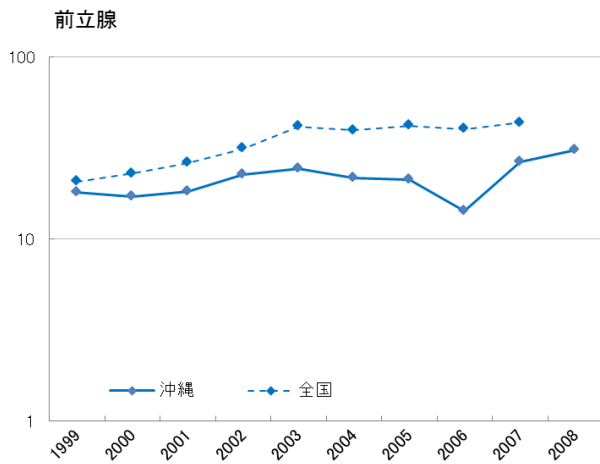


図 13-2 部位別年齢調整罹患率年次推移：基準人口：日本人人口（表 1-A、表 1-B、推移表 3-1、推移表 3-2 から作成）

*上皮内がんを含む

年齢調整罹患率は、1985 年日本人人口を基準とした。

国の値は、国立がん研究センターがん対策情報センターより、地域がん登録全国推計値を引用。

登録精度の年次推移

推移表 4 登録精度

罹患年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
DCO割合(%)	46.3	40.9	39.3	35.9	33.5	37.6	39.7	48.9	37.2	35.2
IM比	1.45	1.58	1.47	1.66	1.74	1.54	1.60	1.45	2.16	2.12

3 事業報告

登録票の収集状況

平成 23 年中における登録票の収集状況について、登録票は 7782 件、協力医療機関数は 32 施設であった。

なお、平成 21 年において登録票数が大きく減少しているのは、地域がん登録標準データベースシステム導入準備のため、当該年において出張採録を中止したのが原因である(表 C)。

表 C 登録票の収集状況

(平成24年3月31日現在)

収集年		登録票数 (件)	登録票数内訳			協力医療機関数
西暦	和暦		医療機関届出	出張採録	その他	
1988	昭和63	313	313	0	0	21
1989	平成1	873	448	425	0	38
1990	平成2	956	497	459	0	27
1991	平成3	4007	193	1680	2134(*1)	94
1992	平成4	1602	1112	490	0	21
1993	平成5	1292	930	362	0	31
1994	平成6	2757	2011	746	0	17
1995	平成7	1907	631	1276	0	25
1996	平成8	2956	950	2006	0	18
1997	平成9	3337	1206	2131	0	34
1998	平成10	2280	740	1540	0	23
1999	平成11	2230	772	1458	0	24
2000	平成12	1240	730	510	0	20
2001	平成13	2811	614	2197	0	12
2002	平成14	1331	655	676	0	18
2003	平成15	3027	811	2216	0	25
2004	平成16	3002	1004	1998	0	22
2005	平成17	3365	1750	1615	0	24
2006	平成18	3312	2025	1287	0	28
2007	平成19	2389	2050	339	0	20
2008	平成20	3300	2269	1031	0	20
2009	平成21	1058	1058	0	0	7
2010	平成22	6220	6220	0	0	15
2011	平成23	7782	7778	0	4(*2)	32

*1 第3次がん実態調査からの採録

*2 県外からの送付

沖縄県の二次保健医療圏と拠点病院

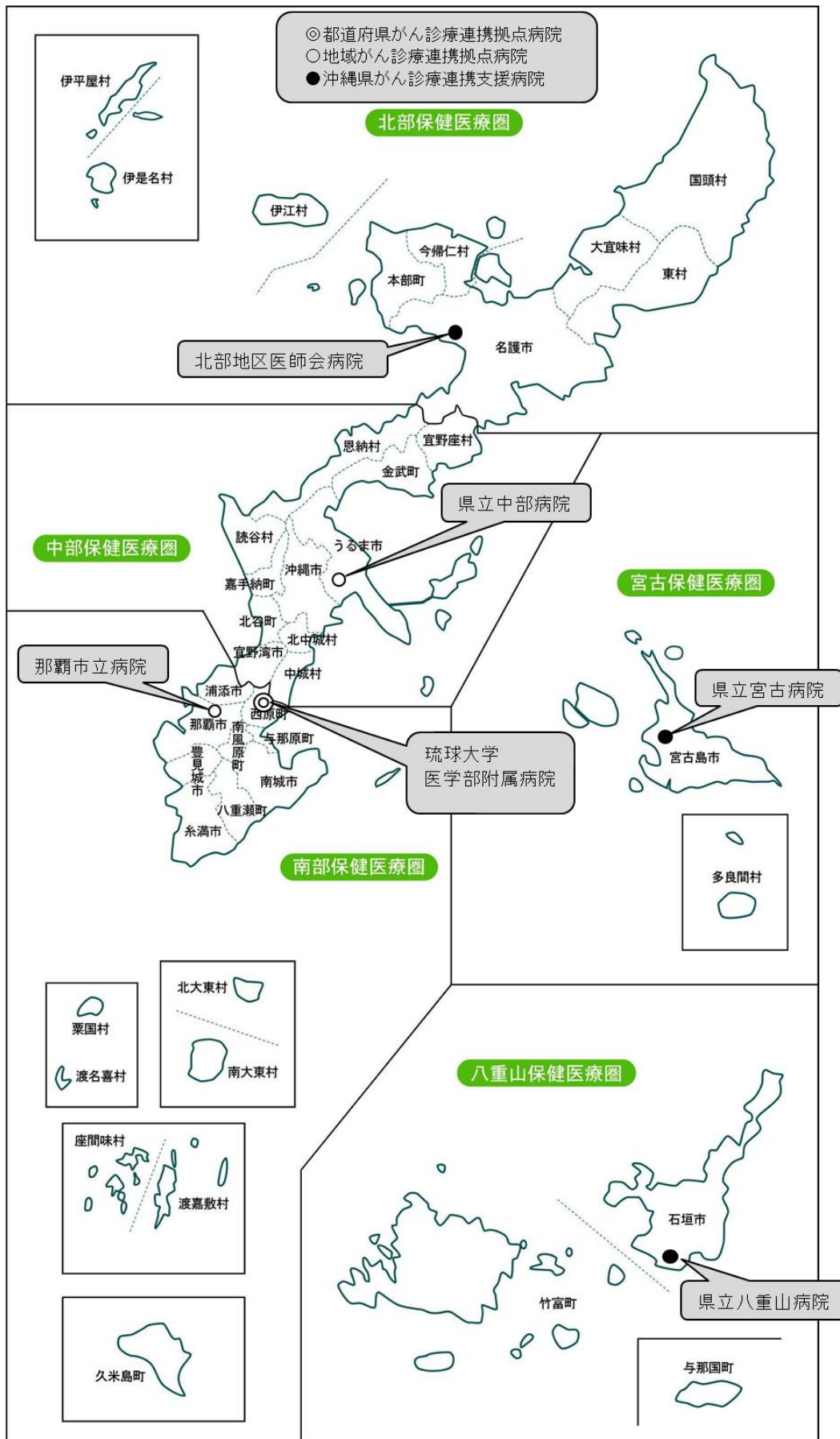


図 H 沖縄県の二次保健医療圏と拠点病院

表 D 二次保健医療圏の設定

圏域名	市町村名	人口(人)	
		平成24年4月1日現在	平成23年10月1日現在
北部保健医療圏 1市1町7村	名護市 国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 伊江村 伊平屋村 伊是名村	100,713	704.59
中部保健医療圏 3市3町5村	宜野湾市 沖縄市 うるま市 恩納村 宜野座村 金武町 読谷村 嘉手納町 北谷町 北中城村 中城村	483,296	365.92
南部保健医療圏 5市5町6村	那覇市 浦添市 糸満市 豊見城市 南城市 西原町 与那原町 南風原町 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 南大東村 北大東村 久米島町 八重瀬町	713,320	387.5
宮古保健医療圏 1市1村	宮古島市 多良間村	52,661	226.5
八重山保健医療圏 1市2町	石垣市 竹富町 与那国町	51,740	591.98
県全域	11市11町19村	1,401,730	2276.49

資料：国勢調査、全国都道府県市町村別面積調

平成24年3月末現在、がん診療連携拠点病院は琉球大学医学部附属病院、県立中部病院、那覇市立病院の3カ所が指定されている。またその他に、本県独自の制度によりがん診療連携支援病院として北部医師会病院、県立宮古病院、県立八重山病院の3カ所を定めている（図H）。

沖縄県悪性新生物登録資料の利用状況

平成 23 年度における「沖縄県悪性新生物登録資料の利用に関する規程」に基づく資料の利用について、次の 4 件の申請・承認があった。1) 申請者（敬称略）、2) 申請者所属、3) 研究内容、4) 提供資料

申請 1

- 1) 津金昌一郎
- 2) (独) 国立がん研究センター
- 3) 多目的コホートによるがん・循環器疾患の疫学研究
- 4) コホート対象者の調査開始以降に診断された罹患者の腫瘍データ

申請 2

- 1) 祖父江友孝
- 2) (独) 国立がん研究センター
- 3) がん罹患・死亡動向の実態把握の研究
- 4) 2007 年の罹患データ

申請 3

- 1) 増田 昌人
- 2) 琉球大学医学部附属病院がんセンター
- 3) ・沖縄県におけるがん診療連携拠点病院の院内がん登録データの比較分析
・沖縄県地域がん登録届出数上昇に対する沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会の 4 つの施策の影響について
- 4) ・収集状況及び登録精度
・悪性新生物登録票医療機関別収集状況一覧
・協力医療機関

申請 4

- 1) 宮城 良充
- 2) 沖縄県中部病院
- 3) 院内がん登録予後調査
- 4) 中部病院の登録票全件に関する情報

4 集計表

表1-A. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)および累積罹患率(人口1000対)：部位別、性別 上皮内がんを除く

部位	罹患数		罹患割合(%)				粗罹患率				年齢調整罹患率				世界人口				累積罹患率(0-74歳)		
	男	女	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	
	3,172	2,575	100.0	100.0	100.0	467.6	365.4	415.6	355.9	247.9	292.5	250.3	185.0	212.2	28.2	19.7	23.8	19.7	19.7	23.8	
全部位	3,172	2,575	100.0	100.0	100.0	467.6	365.4	415.6	355.9	247.9	292.5	250.3	185.0	212.2	28.2	19.7	23.8	19.7	19.7	23.8	
ICD-10																					
C00-C06	150	35	4.7	1.4	3.2	22.1	5.0	13.4	17.6	2.7	9.9	12.7	1.9	7.2	1.6	0.2	0.9	1.6	0.2	0.9	
C07-C14	133	12	4.2	0.5	2.5	19.6	1.7	10.5	15.4	1.3	7.8	11.2	1.0	5.7	1.4	0.1	0.7	1.4	0.1	0.7	
C15	326	179	10.3	7.0	8.8	48.1	25.4	36.5	35.8	15.1	24.2	24.6	10.9	17.0	2.7	1.2	1.9	2.7	1.2	1.9	
C16	573	387	18.1	15.0	16.7	84.5	54.9	69.4	65.8	33.3	48.8	47.9	24.1	35.5	5.8	2.7	4.3	5.8	2.7	4.3	
C17-C18	359	284	11.3	11.0	11.2	52.9	40.3	46.5	41.1	23.7	31.9	29.8	17.2	23.3	3.5	1.9	2.7	3.5	1.9	2.7	
C19-C20	214	103	6.7	4.0	5.5	31.5	14.6	22.9	24.7	9.6	16.8	18.1	6.9	12.3	2.3	0.8	1.5	2.3	0.8	1.5	
C21	182	94	5.7	3.7	4.8	26.8	13.3	20.0	20.5	7.6	13.5	14.8	5.2	9.6	1.8	0.6	1.2	1.8	0.6	1.2	
C22	110	83	3.5	3.2	3.4	16.2	11.8	14.0	11.6	5.5	8.2	7.7	3.7	5.5	0.8	0.4	0.6	0.8	0.4	0.6	
C23-C24	112	87	3.5	3.4	3.5	16.5	12.3	14.4	12.6	7.1	9.7	9.1	4.9	6.9	1.0	0.5	0.8	1.0	0.5	0.8	
C25	40	4	1.3	0.2	0.8	5.9	0.6	3.2	4.5	0.4	2.4	3.2	0.3	1.7	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	
C26	564	251	17.8	9.7	14.2	83.1	35.6	58.9	60.5	17.5	36.0	39.4	11.7	23.9	4.2	1.3	2.7	4.2	1.3	2.7	
C27-C28	61	89	1.9	3.5	2.6	9.0	12.6	10.8	6.7	5.3	6.0	4.7	3.8	4.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	
C29	5	519	0.2	20.2	9.1	0.7	73.7	37.9	0.5	64.5	32.9	0.3	50.1	25.5	0.1	5.5	2.8	0.1	5.5	2.8	
C30-C31	-	266	-	10.3	4.6	-	37.8	-	-	32.5	-	-	25.2	-	-	2.6	-	-	-	2.6	-
C32	-	142	-	5.5	2.5	-	20.2	-	-	18.3	-	-	14.3	-	-	1.3	-	-	-	1.3	-
C33-C34	-	118	-	4.6	2.1	-	16.7	-	-	13.8	-	-	10.6	-	-	1.2	-	-	-	1.2	-
C35	-	70	-	2.7	1.2	-	9.9	-	-	8.7	-	-	7.0	-	-	0.8	-	-	-	0.8	-
C36	292	-	9.2	-	5.1	43.0	-	-	30.9	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	-	2.5	-
C37	95	37	3.0	1.4	2.3	14.0	5.3	9.5	10.2	2.4	5.8	6.6	1.5	3.8	0.6	0.1	0.4	0.6	0.1	0.4	
C38-C39	112	52	3.5	2.0	2.9	16.5	7.4	11.9	13.3	4.8	8.8	9.9	3.4	6.5	1.1	0.4	0.8	1.1	0.4	0.8	
C40-C41	31	23	1.0	0.9	0.9	4.6	3.3	3.9	3.8	2.4	3.1	2.9	1.9	2.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	
C42	26	68	0.8	2.6	1.6	3.8	9.7	6.8	3.2	7.9	5.7	2.5	6.0	4.3	0.3	0.7	0.5	0.3	0.7	0.5	
C43-C44	84	95	2.6	3.7	3.1	12.4	13.5	12.9	9.5	9.1	9.1	6.4	6.9	6.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
C45	25	27	0.8	1.0	0.9	3.7	3.8	3.8	2.8	2.3	2.5	1.8	1.6	1.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
C46	111	89	3.5	3.5	3.5	16.4	12.6	14.5	13.2	9.0	10.8	10.1	7.3	8.6	1.0	0.7	0.9	1.0	0.7	0.9	

表1-B. 罹患数、罹患割合(%), 粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)および累積罹患率(人口1000対): 部位別、性別 上皮内がんを含む 平成20年(2008年)

部位	ICD-10	罹患数				罹患割合(%)				粗罹患率				年齢調整罹患率				世界人口				累積罹患率(0-74歳)			
		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
		3,307	2,872	6,179	100.0	100.0	100.0	100.0	446.8	371.9	287.7	320.3	262.1	217.3	234.3	29.7	22.9	26.1							
全部位	C00-C96 D00-D09	144	12	156	4.4	0.4	2.5	11.3	16.8	1.3	8.4	12.3	1.0	6.3	1.5	0.1	0.8								
食道	C15 D001	673	444	1,117	20.4	15.5	18.1	80.8	77.9	39.4	57.7	57.0	28.6	42.3	7.0	3.3	5.1								
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	436	323	759	13.2	11.2	12.3	54.9	50.3	27.7	38.5	36.8	20.1	28.2	4.4	2.3	3.4								
結腸 *1	C18 D010	237	121	358	7.2	4.2	5.8	25.9	27.5	11.7	19.3	20.2	8.5	14.1	2.6	1.0	1.8								
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	564	251	815	17.1	8.7	13.2	58.9	60.5	17.5	36.0	39.4	11.7	23.9	4.2	1.3	2.7								
肺	C33-C34 D021-D022	65	96	161	2.0	3.3	2.6	11.6	7.1	5.6	6.4	4.9	4.0	4.5	0.4	0.4	0.4								
皮膚	C43-C44 D030-D049	6	589	595	0.2	20.5	9.6	0.9	0.6	73.2	37.4	0.4	56.8	28.9	0.1	6.2	3.2								
乳房	C50 D05	-	425	425	-	14.8	6.9	-	-	56.8	-	-	45.8	-	-	4.3	-								
子宮	C53-C55 D06	-	301	301	-	10.5	4.9	-	-	42.6	-	-	34.9	-	-	3.1	-								
子宮頸部	C53 D06	111	39	150	3.4	1.4	2.4	10.8	11.9	2.6	6.6	7.7	1.7	4.4	0.7	0.1	0.4								
膀胱	C67 D090	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								

*1 粘膜がんを含む

表2-B. 年齢階級別罹患数、罹患割合(%)、部位別、性別 上皮内がんを含む

平成20年(2008年)

性別	部位	0-4歳		5-9歳		10-14歳		15-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40-44歳		45-49歳		50-54歳		55-59歳		60-64歳		65-69歳		70-74歳		75-79歳		80-84歳		85歳以上					
		罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)	罹患数	割合(%)		
男	全部位	4	100.0	2	100.0	5	100.0	4	100.0	8	100.0	13	100.0	41	100.0	44	100.0	91	100.0	189	100.0	347	100.0	320	100.0	426	100.0	569	100.0	545	100.0	355	100.0	331	100.0	1000					
	食道	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	大腸(結腸・直腸)*1	1	25.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	3	23.1	10	24.4	12	27.3	18	19.8	56	29.6	102	29.4	86	26.9	91	21.4	119	20.9	85	15.6	42	11.8	44	13.3	100					
	結腸*1	1	25.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	3	23.1	10	24.4	12	27.3	18	19.8	56	29.6	102	29.4	86	26.9	91	21.4	119	20.9	85	15.6	42	11.8	44	13.3	100					
	直腸*1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	肺	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	皮膚	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	乳房	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	子宮頸部	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	子宮	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	膀胱	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	男女計 全部位	全部位	4	100.0	3	100.0	5	100.0	4	100.0	12	100.0	20	100.0	63	100.0	94	100.0	148	100.0	284	100.0	397	100.0	594	100.0	528	100.0	684	100.0	875	100.0	860	100.0	613	100.0	834	100.0	1000		
食道		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
大腸(結腸・直腸)*1		1	25.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	3	23.1	10	24.4	12	27.3	18	19.8	56	29.6	102	29.4	86	26.9	91	21.4	119	20.9	85	15.6	42	11.8	44	13.3	100					
結腸*1		1	25.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	3	23.1	10	24.4	12	27.3	18	19.8	56	29.6	102	29.4	86	26.9	91	21.4	119	20.9	85	15.6	42	11.8	44	13.3	100					
直腸*1		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
肺		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
皮膚		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
乳房		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
子宮頸部		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
子宮		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
膀胱		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		

*1 結腸がんを含む

表3-B. 年齢階級別罹患率(人口10万対): 部位別、性別 上皮内がんを含む

性別	部位	平成20年(2008年)																	
		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男	全部位	9.7	4.6	11.4	9.5	18.6	29.6	25.7	81.7	100.4	199.1	391.4	673.3	1,002.6	1,373.3	2,000.5	2,648.6	3,401.4	3,807.7
	食道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	13.1	14.5	31.0	78.3	83.8	77.3	63.2	143.7	138.0
	大腸(結腸・直腸)*1	2.4	0.0	2.3	0.0	2.3	6.8	4.0	19.9	27.4	39.4	116.0	197.9	289.4	293.4	418.4	413.1	402.4	506.2
	結腸*1	2.4	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	4.0	6.0	16.0	24.1	66.3	118.4	194.2	212.8	239.1	267.3	316.2	379.6
	直腸*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	13.9	11.4	15.3	49.7	79.5	75.2	80.6	179.3	145.8	86.2	126.5
	肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	9.1	19.7	33.1	50.4	112.8	206.3	390.3	597.8	919.8	839.8
	皮膚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	0.0	4.4	14.5	11.6	12.5	19.3	3.2	10.5	0.0	11.5
	乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	3.2	10.5	0.0	0.0
	膀胱	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.3	2.2	6.2	19.4	21.9	35.5	56.3	131.2	161.0
	全部位	0.0	7.3	2.4	24.8	27.9	110.5	158.4	210.6	296.5	384.4	446.6	511.3	657.6	789.0	945.0	1,190.3	1,313.8	1,980.9
	食道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	12.4	3.2	3.1	3.1	0.0	0.0	3.9
	大腸(結腸・直腸)*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	2.0	15.7	20.2	26.7	62.3	78.7	107.5	152.9	191.5	219.2	229.1	374.1
	結腸*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	0.0	9.8	18.0	17.8	36.5	43.5	79.0	110.1	142.1	158.7	168.0	311.1
	直腸*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	5.9	2.2	8.9	25.8	35.2	28.5	42.8	49.4	60.5	61.1	63.0
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.7	6.7	8.6	24.8	31.6	48.9	123.5	139.8	229.1	315.1	
皮膚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.0	0.0	6.7	0.0	6.2	6.3	24.5	21.6	26.5	56.0	204.8	
乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	19.6	47.2	125.8	168.9	146.0	167.7	215.0	214.1	129.7	147.4	132.4	94.5	
子宮	0.0	0.0	0.0	2.5	9.3	70.7	97.8	92.5	105.6	86.6	90.2	86.9	79.0	82.6	55.6	94.5	35.6	74.8	
子宮頸部	0.0	0.0	0.0	2.5	9.3	68.5	95.8	80.7	92.1	62.2	62.3	37.3	37.9	42.8	24.7	45.3	25.5	31.5	
膀胱	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	4.1	0.0	0.0	18.5	41.6	25.5	51.2	
男女計	全部位	5.0	5.9	7.0	17.0	23.3	70.7	92.4	146.5	199.2	291.0	418.5	594.9	830.8	1,073.4	1,438.6	1,828.2	2,038.2	2,446.8
食道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	6.6	9.5	22.0	40.9	42.4	37.8	27.6	49.9	38.1	
大腸(結腸・直腸)*1	1.3	0.0	1.2	0.0	1.2	6.7	2.9	17.8	23.8	33.1	89.6	140.2	188.8	221.3	297.6	304.0	289.3	407.8	
結腸*1	1.3	0.0	1.2	0.0	1.2	3.4	2.0	7.9	17.0	20.9	51.7	82.1	136.9	160.1	187.4	206.2	219.5	328.6	
直腸*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	1.0	9.9	6.8	12.1	38.0	58.1	51.9	61.2	110.2	97.8	69.8	79.2	
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	5.9	7.9	13.2	21.1	38.1	72.4	125.5	248.3	340.1	468.8	448.9	
皮膚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.0	3.0	0.0	5.5	7.4	9.0	9.4	22.0	21.4	38.3	59.9	190.7	
乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	9.8	23.8	63.4	83.8	71.7	82.1	107.0	111.4	74.0	82.9	86.5	73.3	
膀胱	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	2.0	1.1	2.2	3.2	12.0	11.0	17.3	36.2	80.8	79.8	79.2	

*1 粘膜がんを含む

表4-A. 発見経緯(%); 部位別 上皮内がんを除く

部位	ICD-10		集計対象数	がん検診	健診人間ドック	他疾患の経過観察中		剖検発見	平成20年(2008年)	
	C00-C96	C97-C99				23.0	8.4		0.0	その他・不明(症状受診を含む)
全部位			3,723	4.5	8.4	23.0	0.0	64.1		
口腔・咽頭	C00-C14		141	0.0	1.4	9.9	0.0	88.7		
食道	C15		91	2.2	9.9	18.7	0.0	69.2		
胃	C16		298	4.7	15.8	24.8	0.0	54.7		
大腸(結腸・直腸)	C18-C20		648	4.8	9.3	24.2	0.0	61.7		
結腸	C18		426	4.5	10.6	30.0	0.0	54.9		
直腸	C19-C20		222	5.4	6.8	13.1	0.0	74.8		
肝および肝内胆管	C22		143	0.0	5.6	46.2	0.0	48.3		
胆のう・胆管	C23-C24		79	2.5	2.5	39.2	0.0	55.7		
膵臓	C25		87	0.0	3.4	26.4	0.0	70.1		
喉頭	C32		41	0.0	4.9	9.8	0.0	85.4		
肺	C33-C34		392	2.0	9.2	27.0	0.0	61.7		
皮膚	C43-C44		142	7.0	0.0	16.2	0.0	76.8		
乳房	C50		438	11.6	11.2	11.2	0.0	66.0		
乳房(女性のみ)	C50		434	11.8	11.3	11.3	0.0	65.7		
子宮	C53-C55		222	11.7	4.1	8.6	0.0	75.7		
子宮頸部	C53		119	17.6	4.2	5.0	0.0	73.1		
子宮体部	C54		102	4.9	3.9	12.7	0.0	78.4		
卵巣	C56		45	2.2	0.0	15.6	0.0	82.2		
前立腺	C61		209	3.8	17.7	34.9	0.0	43.5		
膀胱	C67		98	1.0	4.1	26.5	0.0	68.4		
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68		119	0.8	12.6	33.6	0.0	52.9		
脳・中枢神経系	C70-C72		38	0.0	5.3	15.8	0.0	78.9		
甲状腺	C73		82	11.0	20.7	18.3	0.0	50.0		
悪性リンパ腫	C81-C85 C96		126	1.6	4.0	28.6	0.0	65.9		
多発性骨髄腫	C88-C90		25	0.0	0.0	44.0	0.0	56.0		
白血病	C91-C95		117	0.9	4.3	25.6	0.0	69.2		

表4-B. 発見経緯(%); 部位別 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診人間ドック	他疾患の経過観察中	剖検発見	平成20年(2008年)	
							その他・不明(症状受診を含む)	61.5
全部位	C00-C96 D00-D09	4,154	6.5	9.5	22.5	0.0	0.0	61.5
食道	C15 D001	102	2.0	13.7	21.6	0.0	0.0	62.7
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	805	5.3	13.2	25.2	0.0	0.0	56.3
結腸 *1	C18 D010	542	5.2	14.4	30.3	0.0	0.0	50.2
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	263	5.7	10.6	14.8	0.0	0.0	68.8
肺	C33-C34 D021-D022	392	2.0	9.2	27.0	0.0	0.0	61.7
皮膚	C43-C44 D030-D049	153	7.2	0.0	15.7	0.0	0.0	77.1
乳房	C50 D05	508	13.8	11.4	10.6	0.0	0.0	64.2
乳房(女性のみ)	C50 D05	503	13.9	11.5	10.7	0.0	0.0	63.8
子宮	C53-C55 D06	381	25.2	7.3	8.9	0.0	0.0	58.5
子宮頸部	C53 D06	278	32.7	8.6	7.6	0.0	0.0	51.1
膀胱	C67 D090	116	1.7	3.4	27.6	0.0	0.0	67.2

*1 粘膜がんを含む

表5-A. 臨床進行度分布(%)：部位別 上皮内がんを除く

部位	IOD-10	集計対象数	限局	平成20年(2008年)		
				所屬リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移
全部位	C00-C96	3,723	42.5	10.5	9.9	18.5
口腔・咽頭	C00-C14	141	33.3	32.6	16.3	10.6
食道	C15	91	28.6	18.7	16.5	11.0
胃	C16	298	51.7	11.1	3.4	24.5
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	648	45.8	17.6	6.0	22.2
結腸	C18	426	45.8	17.8	6.8	22.1
直腸	C19-C20	222	45.9	17.1	4.5	22.5
肝および肝内胆管	C22	143	51.7	1.4	11.9	21.0
胆のう・胆管	C23-C24	79	17.7	5.1	32.9	30.4
膵臓	C25	87	10.3	1.1	29.9	51.7
嚙頭	C32	41	58.5	12.2	14.6	7.3
肺	C33-C34	392	16.1	10.2	15.1	21.4
皮膚	C43-C44	142	84.5	1.4	3.5	2.1
乳房	C50	438	50.7	13.9	3.2	6.8
乳房(女性のみ)	C50	434	50.5	13.8	3.2	6.9
子宮	C53-C55	222	63.1	12.2	14.9	5.4
子宮頸部	C53	119	55.5	14.3	19.3	5.0
子宮体部	C54	102	72.5	9.8	9.8	2.9
卵巣	C56	45	40.0	2.2	44.4	8.9
前立腺	C61	209	66.0	0.0	8.1	15.3
膀胱	C67	98	57.1	1.0	14.3	8.2
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	119	55.5	2.5	10.1	19.4
脳・中枢神経系	C70-C72	38	18.4	0.0	5.3	21.8
甲状腺	C73	82	39.0	32.9	12.2	9.8
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	126	20.6	0.8	6.3	18.3
多発性骨髄腫	C88-C90	25	0.0	0.0	0.0	12.0
白血病	C91-C95	117	2.6	0.0	0.9	95.7

表5-B. 臨床進行度分布(%)：部位別 上皮内がんを含む

全部位	部位	ICD-10	集計対象数	上皮内がん	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	平成20年(2008年)	
									不明	不明
		C00-C96 D00-D09	4,154	10.0	38.1	9.4	8.9	16.6	17.0	
食道		C15 D001	102	10.8	25.5	16.7	14.7	22.5	9.8	
大腸(結腸・直腸)*1		C18-C20 D010-D012	805	19.4	36.9	14.2	4.8	17.9	6.8	
結腸 *1		C18 D010	542	21.2	36.0	14.0	5.4	17.3	6.1	
直腸 *1		C19-C20 D011-D012	263	15.6	38.8	14.4	3.8	19.0	8.4	
肺		C33-C34 D021-D022	392	0.0	16.1	10.2	15.1	37.2	21.4	
皮膚		C43-C44 D030-D049	153	7.2	78.4	1.3	3.3	2.0	7.8	
乳房		C50 D05	508	10.8	43.7	12.0	2.8	5.9	24.8	
乳房(女性のみ)		C50 D05	503	10.7	43.5	11.9	2.8	6.0	25.0	
子宮		C53-C55 D06	381	41.7	36.7	7.1	8.7	3.1	2.6	
子宮頸部		C53 D06	278	57.2	23.7	6.1	8.3	2.5	2.2	
膀胱		C67 D090	116	14.7	48.3	0.9	12.1	6.9	17.2	

*1 粘膜がんを含む

表6-A. 受療割合(%)；部位別*1 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	集計対象数	平成20年(2008年)			
			外科・内視鏡的治療	放射線治療	化学・免疫・内分泌療法	特異療法なしまたは治療方法不明
全部位	C00-C96	3,723	56.0	9.1	36.2	20.4
口腔・咽頭	C00-C14	141	59.6	45.4	50.4	13.5
食道	C15	91	44.0	25.3	44.0	15.4
胃	C16	298	68.5	0.3	27.2	14.8
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	648	84.4	0.8	30.2	9.7
結腸	C18	426	86.4	0.7	30.0	8.7
直腸	C19-C20	222	80.6	0.9	30.6	11.7
肝および肝内胆管	C22	143	32.2	2.1	18.2	29.4
胆のう・胆管	C23-C24	79	59.5	1.3	26.6	20.3
膵臓	C25	87	39.1	8.0	44.8	16.1
喉頭	C32	41	29.3	68.3	31.7	14.6
肺	C33-C34	392	20.9	5.4	38.3	39.5
皮膚	C43-C44	142	88.7	2.1	5.6	11.3
乳房	C50	438	66.2	12.6	54.6	25.8
乳房(女性のみ)	C50	434	65.9	12.4	54.4	26.0
子宮	C53-C55	222	70.7	17.6	25.7	10.8
子宮頸部	C53	119	56.3	32.8	30.3	10.9
子宮体部	C54	102	88.2	0.0	20.6	9.8
卵巢	C56	45	82.2	0.0	60.0	11.1
前立腺	C61	209	30.6	9.6	50.7	23.9
膀胱	C67	98	67.3	5.1	31.6	21.4
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	119	63.0	0.8	9.2	25.2
脳・中枢神経系	C70-C72	38	52.6	39.5	23.7	23.7
甲状腺	C73	82	87.8	2.4	13.4	8.5
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	126	8.7	15.1	62.7	24.6
多発性骨髄腫	C88-C90	25	4.0	12.0	64.0	20.0
白血病	C91-C95	117	0.9	3.4	68.4	26.5

*1重複を含むため合計は100%にはならない

表6-B. 受療割合(%)；部位別*1 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	平成20年(2008年)			
			外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線治療	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法なしまたは 治療方法不明
全部位	C00-C96 D00-D09	4,154	59.6	8.3	33.3	19.1
食道	C15 D001	102	48.0	22.5	39.2	15.7
大腸(結腸・直腸)*2	C18-C20 D010-D012	805	87.1	0.6	24.5	8.2
結腸*2	C18 D010	542	88.7	0.6	23.8	7.4
直腸*2	C19-C20 D011-D012	263	83.7	0.8	25.9	9.9
肺	C33-C34 D021-D022	392	20.9	5.4	38.3	39.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	153	88.2	2.0	5.9	10.5
乳房(女性のみ)	C50 D05	508	66.9	11.8	52.4	26.0
子宮	C53-C55 D06	381	80.6	10.2	15.0	8.4
子宮頸部	C53 D06	278	78.1	14.0	12.9	7.6
膀胱	C67 D090	116	70.7	4.3	30.2	19.8

*1 重複を含むため合計は100%にはならない

*2 粘膜がんを含む

表7-A. 切除内容(%)；部位別 上皮内がんを除く

平成20年(2008年)

部位	ICD-10	外科・体腔鏡 内視鏡的治療数		完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移巣切除	不明
		2,084	81.1					
全部位	C00-C96	2,084	81.1	8.9	3.5	3.2	3.3	3.3
口腔・咽頭	C00-C14	84	88.1	7.1	1.2	3.6	0.0	0.0
食道	C15	40	70.0	2.5	5.0	15.0	7.5	7.5
胃	C16	204	88.2	3.9	2.5	2.0	3.4	3.4
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	547	80.3	9.9	2.7	3.7	3.5	3.5
結腸	C18	368	79.6	9.5	2.7	4.3	3.8	3.8
直腸	C19-C20	179	81.6	10.6	2.8	2.2	2.8	2.8
肝および肝内胆管	C22	46	67.4	10.9	10.9	4.3	6.5	6.5
胆のう・胆管	C23-C24	47	61.7	12.8	8.5	14.9	2.1	2.1
膵臓	C25	34	44.1	11.8	14.7	26.5	2.9	2.9
喉頭	C32	12	91.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
肺	C33-C34	82	74.4	12.2	8.5	3.7	1.2	1.2
皮膚	C43-C44	126	96.8	0.0	1.6	0.8	0.8	0.8
乳房	C50	290	88.3	6.9	1.4	0.0	3.4	3.4
乳房(女性のみ)	C50	286	88.1	7.0	1.4	0.0	3.5	3.5
子宮	C53-C55	157	87.9	7.6	0.6	1.3	2.5	2.5
子宮頸部	C53	67	86.6	9.0	0.0	3.0	1.5	1.5
子宮体部	C54	90	88.9	6.7	1.1	0.0	3.3	3.3
卵巣	C56	37	67.6	24.3	5.4	0.0	2.7	2.7
前立腺	C61	64	82.8	9.4	0.0	3.1	4.7	4.7
膀胱	C67	66	69.7	16.7	7.6	1.5	4.5	4.5
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	75	88.0	2.7	5.3	0.0	4.0	4.0
脳・中枢神経系	C70-C72	20	45.0	50.0	5.0	0.0	0.0	0.0
甲状腺	C73	72	88.9	6.9	0.0	0.0	4.2	4.2
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	11	27.3	18.2	27.3	18.2	9.1	9.1
多発性骨髄腫	C88-C90	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
白血病	C91-C95	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表7-B. 切除内容(%): 部位別 上皮内がんを含む

全部位	ICD-10	外科・体腔鏡	平成20年(2008年)				
			完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症	
	C00-C96 D00-D09	2,477	83.5	7.8	3.1	2.7	
食道	C15 D001	49	75.5	2.0	4.1	12.2	
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	701	84.0	7.8	2.4	2.9	
結腸 *1	C18 D010	481	83.8	7.5	2.5	3.3	
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	220	84.5	8.6	2.3	1.8	
肺	C33-C34 D021-D022	82	74.4	12.2	8.5	3.7	
皮膚	C43-C44 D030-D049	135	97.0	0.0	1.5	0.7	
乳房	C50 D05	340	88.8	7.1	1.2	0.0	
乳房(女性のみ)	C50 D05	335	88.7	7.2	1.2	0.0	
子宮	C53-C55 D06	307	92.2	4.9	0.7	0.7	
子宮頸部	C53 D06	217	93.5	4.1	0.5	0.9	
膀胱	C67 D090	82	74.4	14.6	6.1	1.2	
*1 粘膜がんを含む							2.9

表8-A. 精度情報： 部位別、性別 上皮内がんを除外

全部位	平成20年(2008年)														
	罹患/死亡比 (ID比)						死亡情報のみの症例 DCO(%)								
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計			
ICD-10	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
C00-C96	1.94	2.37	2.12	37.6	32.3	35.2	31.6	28.2	30.1	62.4	67.2	64.5	53.1	60.2	56.3
口腔・咽頭	2.31	3.18	2.43	24.7	20.0	23.8	22.7	17.1	21.6	74.7	80.0	75.7	74.0	77.1	74.6
C15	1.60	0.71	1.45	36.1	50.0	37.2	35.3	50.0	36.6	63.9	50.0	62.8	62.4	50.0	61.4
食道	2.13	1.92	2.05	40.5	41.9	41.0	36.8	39.1	37.6	60.7	59.2	60.2	59.8	59.2	59.6
C16	2.77	2.40	2.61	31.2	34.4	32.5	29.3	32.8	30.7	68.9	65.1	67.4	68.8	64.6	67.1
大腸(結腸・直腸)	2.68	2.35	2.52	32.9	34.9	33.7	31.5	33.5	32.3	66.9	64.1	65.6	66.6	63.4	65.2
C18-C20	2.93	2.58	2.81	28.5	33.0	30.0	25.7	31.1	27.4	72.4	68.0	71.0	72.4	68.0	71.0
直腸	1.58	1.57	1.58	46.7	51.1	48.2	46.2	51.1	47.8	21.4	23.4	22.1	17.0	21.3	18.5
C22	1.36	1.30	1.33	60.9	56.6	59.1	60.0	55.4	58.0	30.9	27.7	29.5	26.4	24.1	25.4
肝および肝内胆管	1.13	1.14	1.14	58.0	54.0	56.3	57.1	52.9	55.3	27.7	28.7	28.1	22.3	16.1	19.6
C23-C24	6.67	4.00	6.29	5.0	25.0	6.8	5.0	25.0	6.8	95.0	75.0	93.2	92.5	75.0	90.9
C25	1.31	1.55	1.38	52.1	51.4	51.9	37.1	39.8	37.9	55.3	50.2	53.7	25.9	23.5	25.2
膵臓	30.50	17.80	21.43	1.6	7.9	5.3	1.6	4.5	3.3	98.4	95.5	96.7	96.7	94.4	95.3
C33-C34	5.00	5.52	5.52	20.0	16.4	16.4	0.0	15.6	15.5	100.0	83.0	83.2	80.0	80.3	80.3
C43-C44	4.03	4.03	4.03	16.5	16.5	16.5	15.8	15.8	15.8	84.2	84.2	84.2	81.2	81.2	81.2
C50	3.46	3.46	3.46	16.2	16.2	16.2	15.5	15.5	15.5	84.5	84.5	84.5	81.0	81.0	81.0
乳房	10.73	10.73	10.73	13.6	13.6	13.6	12.7	12.7	12.7	87.3	87.3	87.3	84.7	84.7	84.7
C53-C55	2.41	2.41	2.41	35.7	35.7	35.7	31.4	31.4	31.4	67.1	67.1	67.1	62.9	62.9	62.9
子宮	3.70	3.70	3.70	28.4	28.4	28.4	27.7	27.7	27.7	69.2	69.2	69.2	67.5	67.5	67.5
C61	3.65	2.47	3.22	21.1	37.8	25.8	21.1	37.8	25.8	76.8	59.5	72.0	68.4	51.4	63.6
膀胱	3.29	2.26	2.88	25.0	32.7	27.4	20.5	30.8	23.8	69.6	61.5	67.1	58.0	46.2	54.3
C67	2.38	2.30	2.35	29.0	30.4	29.6	16.1	30.4	22.2	67.7	47.8	59.3	67.7	43.5	57.4
腎・尿路(膀胱除く)	8.67	6.80	7.23	11.5	13.2	12.8	11.5	11.8	11.7	88.5	88.2	88.3	73.1	79.4	77.7
腎・尿管(膀胱除く)	1.65	2.57	2.03	28.6	30.5	29.6	23.8	25.3	24.6	76.2	73.7	74.9	73.8	72.6	73.2
脳・中枢神経系	1.25	1.29	1.27	56.0	48.1	51.9	56.0	48.1	51.9	40.0	44.4	42.3	40.0	44.4	42.3
脳・脊髄	1.26	1.35	1.30	38.7	44.9	41.5	2.7	2.2	2.5	97.3	97.8	97.5	42.3	47.2	44.5
甲状腺															
甲状腺															
悪性リンパ腫															
多発性骨髄腫															
C81-C85 C86															
C88-C90															
多発性骨髄腫															
C91-C95															
白血病															

表8-B. 精度情報： 部位別、性別 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	罹患/死亡比 (ID比)				死亡情報で初めて把握された症例 DGN(%)				死亡情報のみの症例 DCO(%)				国際 DCO(%)				病理学的裏付けのある症例 MV(%)				組織学的裏付けのある症例 HV(%)			
		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
全部位		2.03	2.64	2.27	36.0	29.0	32.8	32.8	36.0	29.0	32.8	32.8	36.0	29.0	32.8	25.3	28.0	63.9	70.6	67.0	55.0	64.1	59.2		
食道	C00-C96 D00-D09	1.73	0.71	1.56	33.3	50.0	34.6	33.3	33.3	50.0	34.6	33.3	33.3	50.0	34.6	50.0	34.0	66.7	50.0	65.4	65.3	50.0	64.1		
大腸(結腸・直腸)*1	C15 D001	3.25	2.76	3.04	26.6	30.0	27.9	26.6	26.6	30.0	27.9	26.6	26.6	30.0	27.9	28.6	26.4	73.6	69.6	72.0	73.3	69.1	71.6		
結腸*1	C18 D010	3.25	2.67	2.98	27.1	30.7	28.6	27.1	27.1	30.7	28.6	27.1	27.1	30.7	28.6	29.4	27.4	72.7	68.4	70.9	72.2	67.8	70.4		
直腸*1	C19-C20 D011-D012	3.25	3.03	3.17	25.7	28.1	26.5	25.7	25.7	28.1	26.5	25.7	25.7	28.1	26.5	26.4	24.3	75.1	72.7	74.3	75.1	72.7	74.3		
肺	C33-C34 D021-D022	1.31	1.55	1.38	52.1	51.4	51.9	52.1	52.1	51.4	51.9	52.1	52.1	51.4	51.9	37.1	39.8	55.3	50.2	53.7	25.9	23.5	25.2		
皮膚	C43-C44 D030-D049	32.50	19.20	23.00	1.5	7.3	5.0	1.5	1.5	7.3	5.0	1.5	1.5	7.3	5.0	4.2	3.1	98.5	95.8	96.9	96.9	94.8	95.7		
乳房	C50 D05	6.00	6.27	6.26	16.7	14.6	14.6	16.7	16.7	14.6	14.6	16.7	16.7	14.6	14.6	13.8	13.6	100.0	85.1	85.2	83.3	82.2	82.2		
子宮	C53-C55 D06	6.44	6.44	6.44	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	9.9	9.9	90.1	90.1	90.1	90.1	87.8	87.8		
子宮頸部	C53 D06	7.34	7.34	7.34	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.3	7.3	92.7	92.7	92.7	92.7	90.4	90.4		
膀胱	C67 D090	4.27	2.60	3.66	18.0	35.9	22.7	18.0	18.0	35.9	22.7	18.0	18.0	35.9	22.7	18.0	35.9	80.2	61.5	75.3	73.0	53.8	68.0		

*1 粘膜がんを含む

表9. 死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対)および累積罹患率(人口1000対)； 部位別、性別

部位	ICD-10	死亡数				死亡割合(%)				粗死亡率				年齢調整死亡率				累積死亡率(0-74歳)			
		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
		1,631	1,086	2,717	1,000	100.0	100.0	240.5	154.1	196.5	176.7	83.2	123.5	120.1	58.8	85.7	12.6	5.8	0.0	0.0	
全部位	C00-C97	65	11	76	4.0	1.0	2.8	9.6	1.6	5.5	7.5	0.5	3.8	5.1	0.4	2.6	0.5	0.0	0.0		
口腔・咽頭	C00-C14	83	17	100	5.1	1.6	3.7	12.2	2.4	7.2	9.4	1.8	5.2	6.9	1.3	3.9	0.9	0.1	0.5		
食道	C15	153	93	246	9.4	8.6	9.1	22.6	13.2	17.8	16.3	6.9	10.9	11.0	4.9	7.6	1.2	0.5	0.8		
胃	C16	207	161	368	12.7	14.8	13.5	30.5	22.8	26.6	23.0	10.7	16.5	16.3	7.5	11.7	1.9	0.7	1.3		
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	134	121	255	8.2	11.1	9.4	19.8	17.2	18.4	14.6	7.9	11.1	10.2	5.5	7.8	1.1	0.5	0.8		
結腸	C18	73	40	113	4.5	3.7	4.2	10.8	5.7	8.2	8.3	2.8	5.4	6.1	2.0	4.0	0.8	0.2	0.5		
直腸	C19-C20	115	60	175	7.1	5.5	6.4	17.0	8.5	12.7	13.0	4.6	8.5	9.3	3.0	6.0	1.1	0.3	0.7		
肝および肝内胆管	C22	81	64	145	5.0	5.9	5.3	11.9	9.1	10.5	8.4	4.0	5.9	5.6	2.6	3.9	0.6	0.3	0.4		
胆のう・胆管	C23-C24	99	76	175	6.1	7.0	6.4	14.6	10.8	12.7	11.0	5.5	8.1	7.8	3.8	5.7	0.8	0.4	0.6		
膵臓	C25	6	1	7	0.4	0.1	0.3	0.9	0.1	0.5	0.7	0.1	0.4	0.5	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0		
喉頭	C32	430	162	592	26.4	14.9	21.8	63.4	23.0	42.8	45.4	10.3	25.1	28.9	6.8	16.3	2.8	0.6	1.7		
肺	C33-C34	2	5	7	0.1	0.5	0.3	0.3	0.7	0.5	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0		
皮膚	C43-C44	1	94	95	0.1	8.7	3.5	0.1	13.3	6.9	0.1	10.6	5.5	0.1	8.2	4.2	0.0	0.9	0.5		
乳房	C50	66	66	132	6.1	6.1	2.4	9.4	9.4	9.4	6.5	6.5	6.5	4.8	4.8	0.5	0.5	0.5	0.5		
子宮	C53-C55	41	41	82	3.8	3.8	1.5	5.8	5.8	5.8	4.3	4.3	4.3	3.3	3.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
子宮頸部	C53	11	11	22	1.0	1.0	0.4	1.6	1.6	1.6	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1		
子宮体部	C54	29	29	58	2.7	2.7	1.1	4.1	4.1	4.1	3.2	3.2	3.2	2.5	2.5	0.3	0.3	0.3	0.3		
卵巣	C56	79	79	158	4.8	4.8	2.9	11.6	11.6	11.6	7.8	7.8	7.8	5.1	5.1	0.4	0.4	0.4	0.4		
前立腺	C61	26	15	41	1.6	1.4	1.5	3.8	2.1	3.0	2.6	0.7	1.5	1.6	0.4	0.9	0.1	0.0	0.1		
膀胱	C67	34	23	57	2.1	2.1	2.1	5.0	3.3	4.1	3.7	1.7	2.7	2.7	1.0	1.8	0.3	0.1	0.2		
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	13	10	23	0.8	0.9	0.8	1.9	1.4	1.7	1.5	0.9	1.2	1.3	0.8	1.0	0.1	0.1	0.1		
脳・中枢神経系	C70-C72	3	10	13	0.2	0.9	0.5	0.4	1.4	0.9	0.3	0.7	0.6	0.2	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0		
甲状腺	C73	51	37	88	3.1	3.4	3.2	7.5	5.3	6.4	5.6	2.6	3.9	3.7	1.8	2.6	0.3	0.1	0.2		
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	20	21	41	1.2	1.9	1.5	2.9	3.0	3.0	2.1	1.7	1.9	1.4	1.2	1.2	0.1	0.1	0.1		
多発性骨髄腫	C88-C90	88	66	154	5.4	6.1	5.7	13.0	9.4	11.1	9.6	5.3	7.2	6.6	3.6	4.9	0.6	0.4	0.5		
白血病	C91-C95																				

付表1. がん罹患数および罹患率：詳細部位別、性別

平成20年(2008年)

部位	国際疾病 分類 ICD-10	罹患数			割合(%)			粗罹患率			年齢調整罹患率			世界人口			累積罹患率(0-74歳)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	日本人人口			世界人口			累積罹患率(0-74歳)		
											男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
上皮内がん																			
全部位	D00-D09	135	297	432	4.3	11.5	7.5	19.9	42.2	31.2	16.0	39.8	27.8	11.9	32.3	22.1	1.5	3.1	2.3
口腔、食道および胃	D00	11	0	11	0.3	0.0	0.2	1.6	0.0	0.8	1.3	0.0	0.6	1.1	0.0	0.5	0.1	0.0	0.1
食道	D001	11	0	11	0.3	0.0	0.2	1.6	0.0	0.8	1.3	0.0	0.6	1.1	0.0	0.5	0.1	0.0	0.1
その他および部位不明の消化器	D01	100	58	158	3.2	2.3	2.7	14.7	8.2	11.4	12.1	6.1	9.0	9.1	4.6	6.8	1.2	0.6	0.9
結腸	D010	77	39	116	2.4	1.5	2.0	11.4	5.5	8.4	9.3	4.0	6.6	7.0	2.9	4.9	0.9	0.4	0.7
直腸S状結腸移行部	D011	8	7	15	0.3	0.3	0.3	1.2	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.1	0.1	0.1
直腸	D012	15	11	26	0.5	0.4	0.5	2.2	1.6	1.9	1.8	1.2	1.5	1.4	0.9	1.1	0.2	0.1	0.1
中耳および呼吸器系	D02	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管	D021	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管支および肺	D022	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上皮内黒色腫	D03	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚のその他	D04	4	6	10	0.1	0.2	0.2	0.6	0.9	0.7	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
乳房	D05	1	70	71	0.0	2.7	1.2	0.1	9.9	5.1	0.1	8.7	4.5	0.1	6.7	3.4	0.0	0.7	0.4
子宮頸部	D06		159	159		6.2	2.8		22.6	11.5		24.3	12.2		20.6	10.4		1.7	0.9
その他および部位不明の性器	D07	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明	D09	17	3	20	0.5	0.1	0.3	2.5	0.4	1.4	1.9	0.3	1.0	1.2	0.2	0.7	0.1	0.0	0.1
膀胱	D090	16	2	18	0.5	0.1	0.3	2.4	0.3	1.3	1.7	0.2	0.9	1.1	0.1	0.6	0.1	0.0	0.1
良性腫瘍																			
髄膜	D32	8	18	26	0.3	0.7	0.5	1.2	2.6	1.9	1.1	2.0	1.6	0.9	1.5	1.2	0.1	0.2	0.1
脳および中枢神経系	D33	7	1	8	0.2	0.0	0.1	1.0	0.1	0.6	1.1	0.2	0.6	0.9	0.1	0.5	0.1	0.0	0.0
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D352-D354	5	9	14	0.2	0.3	0.2	0.7	1.3	1.0	0.8	1.1	0.9	0.7	1.0	0.8	0.1	0.1	0.1
性状不詳または不明の腫瘍																			
髄膜	D42	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D43	11	11	22	0.3	0.4	0.4	1.6	1.6	1.6	1.3	0.7	1.0	0.8	0.5	0.7	0.0	0.1	0.1
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D443-D445	3	2	5	0.1	0.1	0.1	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0
真正赤血球増多症	D45	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	32	19	51	1.0	0.7	0.9	4.7	2.7	3.7	3.5	1.4	2.2	2.3	1.0	1.5	0.2	0.1	0.1
慢性骨増殖性疾患他 *1	D47	4	0	4	0.1	0.0	0.1	0.6	0.0	0.3	0.4	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0

*1 ICD-O-3により性状3に分類される形態

付表2. がん死亡数および死亡率：詳細部位別、性別

平成20年(2008年)

部位	国際疾病 分類 ICD-10	死亡数			割合(%)			粗死亡数			年齢調整死亡率								
											日本人口			世界人口			累積死亡率(0-74歳)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
良性腫瘍																			
膵臓	D32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳および中枢神経系	D33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他および部位不明の内分泌腺	D35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性状不詳または不明の腫瘍																			
膵臓	D42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳および中枢神経系	D43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌腺	D44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
真正赤血球増多症	D45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨髄異形成症候群	D46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンパ組織、造血組織および関連組織	D47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

付表3-A. 受療割合詳細(%) ; 部位別 上皮内がんを除く

平成20年(2008年)

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法										併用療法*1				その他*3	不明
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	切除+薬物	薬物+放射線	薬物*2	切除+放射線+薬物	3.0			
全部位	C00-C96	3,723	27.4	2.2	3.2	1.8	10.7	0.1	2.4	1.0	15.5	3.0	0.1	3.0	3.0	9.2	20.4	
口腔・咽頭	C00-C14	141	19.1	0.0	0.0	4.3	2.8	0.0	0.0	6.4	12.8	14.9	0.0	19.1	7.1	13.5		
食道	C15	91	7.7	0.0	12.1	7.7	14.3	0.0	0.0	1.1	13.2	11.0	0.0	4.4	13.2	15.4		
胃	C16	298	27.9	6.0	11.4	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	14.4	0.3	0.0	0.0	14.1	14.8		
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	648	38.7	5.6	6.2	0.0	3.1	0.2	0.0	0.3	25.3	0.2	0.0	0.0	10.8	9.7		
結腸	C18	426	40.1	5.6	6.1	0.0	2.8	0.2	0.0	0.5	25.8	0.2	0.0	0.0	9.9	8.7		
直腸	C19-C20	222	36.0	5.4	6.3	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	24.3	0.0	0.0	0.0	12.6	11.7		
肝および肝内胆管	C22	143	20.3	0.7	0.0	1.4	9.8	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	35.0	29.4		
胆のう・胆管	C23-C24	79	36.7	1.3	2.5	0.0	12.7	0.0	0.0	0.0	12.7	0.0	0.0	1.3	12.7	20.3		
膵臓	C25	87	20.7	0.0	0.0	1.1	23.0	0.0	0.0	0.0	9.2	2.3	1.1	4.6	21.8	16.1		
喉頭	C32	41	14.6	0.0	0.0	26.8	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	24.4	0.0	7.3	4.9	14.6		
肺	C33-C34	392	6.9	4.8	0.0	1.0	25.5	0.0	0.0	0.3	7.1	3.6	0.0	0.3	11.0	39.5		
皮膚	C43-C44	142	81.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	4.9	0.0	0.0	0.7	0.7	11.3		
乳房	C50	438	15.8	0.0	1.6	0.7	2.5	0.0	3.2	0.9	37.0	0.2	0.7	10.7	0.9	25.8		
乳房(女性のみ)	C50	434	15.7	0.0	1.6	0.7	2.5	0.0	3.2	0.9	36.9	0.2	0.7	10.6	0.9	26.0		
子宮	C53-C55	222	54.5	0.5	0.0	4.1	1.8	0.0	0.0	0.9	11.3	9.5	0.0	2.3	4.5	10.8		
子宮頸部	C53	119	42.9	0.8	0.0	7.6	2.5	0.0	0.0	1.7	4.2	17.6	0.0	4.2	7.6	10.9		
子宮体部	C54	102	68.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	19.6	0.0	0.0	0.0	1.0	9.8		
卵巣	C56	45	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	53.3	0.0	0.0	0.0	2.2	11.1		
前立腺	C61	209	19.1	0.0	1.9	3.3	1.0	0.0	34.4	0.5	5.7	3.3	0.5	2.4	3.8	23.9		
膀胱	C67	98	10.2	0.0	20.4	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	24.5	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4		
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	119	50.4	4.2	0.0	0.8	2.5	1.7	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	10.9	25.2		
脳・中枢神経系	C70-C72	38	21.1	0.0	0.0	13.2	2.6	0.0	0.0	10.5	5.3	2.6	0.0	13.2	7.9	23.7		
甲状腺	C73	82	74.4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	11.0	0.0	0.0	1.2	2.4	8.5		
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	126	3.2	0.0	0.0	3.2	45.2	0.0	0.8	0.8	4.0	9.5	0.0	0.0	8.7	24.6		
多発性骨髄腫	C88-C90	25	4.0	0.0	0.0	4.0	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0	20.0		
白血病	C91-C95	117	0.9	0.0	0.0	0.0	63.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	6.0	26.5		

*1 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫療法・内分泌療法を指す。

*2 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

*3 単独療法および併用療法のいずれかの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療(TAE, PEITなどの)実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表3-B. 受療割合詳細(%) ; 部位別 上皮内がんを含む

平成20年(2008年)

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法										併用療法*2				不明	
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	切除+薬物	薬物+放射線	薬物*3	切除+放射線+薬物	その他*4			
全部位	C00-C96 D00-D09	4,154	29.1	2.2	6.1	1.6	9.7	0.1	2.1	0.9	14.5	2.7	0.1	2.7	0.1	2.7	9.0	19.1
食道	C15 D001	102	6.9	0.0	18.6	6.9	12.7	0.0	0.0	1.0	11.8	3.9	0.0	9.8	0.0	3.9	12.7	15.7
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	805	33.2	5.8	19.8	0.0	2.5	0.1	0.0	0.2	20.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	9.6	8.2
結腸*1	C18 D010	542	33.9	5.9	20.5	0.0	2.2	0.2	0.0	0.4	20.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	8.9	7.4
直腸*1	C19-C20 D011-D012	263	31.6	5.7	18.3	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	9.9
肺	C33-C34 D021-D022	392	6.9	4.8	0.0	1.0	25.5	0.0	0.0	0.3	7.1	0.3	0.0	3.6	0.0	0.3	11.0	39.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	153	80.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.3	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.0	10.5
乳房	C50 D05	508	17.7	0.0	1.8	0.6	2.2	0.0	2.8	1.0	36.0	0.4	0.6	0.4	0.6	9.8	1.2	26.0
乳房(女性のみ)	C50 D05	503	17.7	0.0	1.8	0.6	2.2	0.0	2.8	1.0	36.0	0.4	0.6	0.4	0.6	9.5	1.2	26.2
子宮	C53-C55 D06	381	66.9	0.3	0.0	2.4	1.0	0.0	0.0	0.5	6.6	5.5	0.0	5.5	0.0	1.3	7.1	8.4
子宮頸部	C53 D06	278	66.5	0.4	0.0	3.2	1.1	0.0	0.0	0.7	1.8	7.6	0.0	7.6	0.0	1.8	9.4	7.6
膀胱	C67 D090	116	12.1	0.0	23.3	1.7	1.7	1.7	0.9	1.7	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	19.8

*1 粘膜炎を含む

*2 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫療法・内分泌療法を指す。

*3 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

*4 単独療法および併用療法のいずれかの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療(TAE、PEITなど)の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表4-A. 医療圏別、保健所別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを除く

医療圏/保健所	全部位 C00-C96		胃 C16		大腸(直腸・結腸) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝臓 C22		肺 C33-C34		乳房 C50		子宮 C53-C55		子宮頸部 C53		子宮体部 C54		前立腺 C61							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	3,170	2,572	5,742	326	179	505	359	284	643	214	102	316	573	386	959	182	94	276	564	251	815	5	518	523	266	142	118	118	10	10
沖縄県	282	203	485	27	14	41	24	17	41	19	7	26	43	24	67	15	8	23	58	31	89	1	38	39	19	9	9	10	10	22
北部	1,132	1,018	2,150	92	63	155	136	118	254	86	38	124	222	156	378	68	35	103	225	96	321	2	238	240	85	45	39	39	102	102
中部	1,494	1,179	2,673	166	90	256	175	128	303	97	51	148	272	179	451	80	43	123	240	95	335	1	221	222	140	79	56	56	151	151
南部	141	119	260	24	7	31	15	15	30	8	6	14	23	21	44	8	6	14	21	22	43	0	15	15	6	6	9	9	7	7
宮古	121	53	174	17	5	22	9	6	15	4	0	4	13	6	19	11	2	13	20	7	27	1	6	7	7	3	4	4	10	10
八重山	282	203	485	27	14	41	24	17	41	19	7	26	43	24	67	15	8	23	58	31	89	1	38	39	19	9	9	10	10	22
北部保健所	1,132	1,018	2,150	92	63	155	136	118	254	86	38	124	222	156	378	68	35	103	225	96	321	2	238	240	85	45	39	39	102	102
中部保健所	582	380	962	67	29	96	63	39	102	36	15	51	99	54	153	28	13	41	103	31	134	0	67	67	44	29	15	15	53	53
南部保健所	912	799	1,711	99	61	160	112	89	201	61	36	97	173	125	298	52	30	82	137	64	201	1	154	155	96	50	41	41	96	96
中央保健所	141	119	260	24	7	31	15	15	30	8	6	14	23	21	44	8	6	14	21	22	43	0	15	15	6	6	9	9	7	7
宮古保健所	121	53	174	17	5	22	9	6	15	4	0	4	13	6	19	11	2	13	20	7	27	1	6	7	7	3	4	4	10	10
八重山保健所																														

付表4-B. 医療圏別、保健所別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを含む

医療圏/保健所	全部位		大腸(結腸・直腸)				結腸				直腸				肺				乳房		子宮		子宮頸部	
	C00-C96 D01-D09		C18-C20 D010-D012 *1		C18 D010 *1		C19-C20 D011-D012 *1		C33-C34 D021-D022		C50 D05		C53-C55 D06		C53 D06		C53 D06		C53 D06		C53 D06			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
沖縄県	3,305	2,869	6,174	673	443	1,116	436	323	759	237	120	357	564	251	815	6	588	594	425	301				
北部	295	224	519	53	28	81	31	20	51	22	8	30	58	31	89	1	44	45	28	18				
中部	1,225	1,182	2,407	290	200	490	188	148	336	102	52	154	225	96	321	2	279	281	161	121				
南部	1,521	1,288	2,809	292	188	480	191	134	325	101	54	155	240	95	335	2	244	246	211	150				
宮古	141	120	261	23	21	44	15	15	30	8	6	14	21	22	43	0	15	15	16	7				
八重山	123	55	178	15	6	21	11	6	17	4	0	4	20	7	27	1	6	7	9	5				
北部保健所	295	224	519	53	28	81	31	20	51	22	8	30	58	31	89	1	44	45	28	18				
中部保健所	1,225	1,182	2,407	290	200	490	188	148	336	102	52	154	225	96	321	2	279	281	161	121				
南部保健所	593	427	1,020	108	60	168	70	43	113	38	17	55	103	31	134	1	72	73	77	62				
中央保健所	928	861	1,789	184	128	312	121	91	212	63	37	100	137	64	201	1	172	173	134	88				
宮古保健所	141	120	261	23	21	44	15	15	30	8	6	14	21	22	43	0	15	15	16	7				
八重山保健所	123	55	178	15	6	21	11	6	17	4	0	4	20	7	27	1	6	7	9	5				

*1 粘膜がんを含む

付表5-A. 市区町村別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを除く 平成20年(2008年)

市区町村	全部位 C00-C96		胃 C16		大腸(直腸・結腸) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝臓 C22		肺 C33-C34		乳房 C50		子宮 C53-C55		子宮頸部 C53		子宮体部 C54		前立腺 C61							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
沖繩県	3,170	2,572	5,742	326	179	505	573	386	959	214	102	316	182	94	276	564	251	48	149	5	518	523	110	109	118	26	118	292		
那覇市	638	567	1,205	64	47	111	123	85	208	78	58	136	45	27	72	36	20	56	101	48	1	109	110	63	33	142	33	75		
石野濱市	163	160	323	13	14	27	32	26	58	21	21	42	11	5	16	13	4	17	31	15	46	39	11	11	8	2	12	12		
石垣市	103	47	150	14	4	18	10	6	16	6	12	4	0	0	4	9	2	11	17	4	1	6	7	6	2	4	10	10		
浦添市	231	192	423	27	10	37	45	32	77	30	25	55	15	7	22	13	7	20	30	10	40	42	42	31	15	15	21	21		
名護市	130	104	234	12	6	18	26	13	39	14	8	22	12	5	17	3	5	8	28	12	40	0	19	13	7	6	10	10		
糸満市	154	89	243	19	6	25	28	16	44	19	13	32	9	3	12	10	1	11	32	11	43	0	9	15	9	6	10	10		
沖繩市	291	299	590	26	18	44	51	44	95	35	36	71	16	8	24	13	11	24	57	32	89	1	73	74	31	14	17	31		
豊見城市	104	64	168	10	5	15	15	3	18	10	1	11	5	2	7	5	4	9	20	7	27	0	7	8	7	1	11	11		
うるふ市	351	254	605	26	15	41	77	41	118	38	27	65	39	14	53	22	11	33	79	23	102	1	50	51	20	11	9	27	27	
宮古島市	138	116	254	23	7	30	22	21	43	15	15	30	7	6	13	8	6	14	21	21	42	0	14	14	15	6	7	7		
南城市	91	65	156	8	4	12	17	7	24	10	4	14	7	3	10	6	4	10	14	4	18	0	18	18	7	3	4	7	7	
国頭村	20	15	35	1	2	3	3	2	5	2	4	1	1	0	0	0	0	0	2	6	8	0	2	2	2	0	0	1	1	
大宜味村	7	8	15	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0	2	2	0	0	0	0	0	
東村	12	4	16	0	1	1	2	1	3	0	0	2	1	1	3	1	0	1	2	2	4	0	2	2	0	0	0	2	2	
今帰仁村	36	22	58	4	2	6	3	1	4	2	1	3	1	0	1	3	1	4	7	2	9	1	3	4	1	1	4	4	4	
本部町	53	31	84	9	1	10	6	1	7	5	1	6	1	0	1	3	2	5	15	7	22	0	6	6	2	0	0	2	3	3
恩納村	31	30	61	5	5	10	5	5	10	3	5	8	2	0	2	0	0	0	6	5	11	0	2	2	1	1	1	4	4	
宜野座村	12	13	25	0	1	1	0	2	2	0	1	1	0	1	0	3	3	2	0	2	0	2	0	4	1	1	1	0	3	3
金武町	26	31	57	1	1	2	8	3	11	5	1	6	3	2	5	0	1	8	2	10	0	14	14	1	1	1	1	2	2	
伊江村	17	12	29	0	0	3	3	3	6	1	2	3	4	0	4	0	4	2	2	2	4	0	2	2	1	1	1	0	1	1
読谷村	82	75	157	7	4	11	8	11	19	7	8	15	1	3	4	11	0	11	15	2	17	0	23	23	6	3	3	7	7	
嘉手納町	32	30	62	3	0	3	7	6	13	5	10	2	1	3	3	0	0	5	5	5	10	0	6	6	1	0	1	2	2	
北谷町	70	56	126	7	2	9	11	11	22	6	8	14	5	3	8	4	1	5	10	5	15	0	11	11	4	4	1	10	10	
北中城村	39	34	73	2	1	3	14	4	18	12	4	16	2	0	2	3	4	7	4	2	6	0	7	7	7	2	5	3	3	
中城村	35	36	71	2	2	4	9	3	12	4	2	6	2	0	2	0	2	8	5	13	0	9	9	1	1	0	1	1	1	1
西原町	78	43	121	15	3	18	11	4	15	6	3	9	5	1	6	3	0	3	12	0	12	0	10	10	6	4	2	6	6	
与那原町	41	20	61	4	2	6	5	3	8	3	2	5	2	1	3	0	2	7	2	9	0	3	3	3	1	1	0	4	4	
南風原町	58	51	109	4	3	7	9	10	19	6	7	13	3	3	6	1	1	2	11	3	14	0	11	11	5	3	2	8	8	
渡嘉敷村	1	2	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
座間味村	5	3	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
粟国村	2	2	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	
渡名喜村	4	3	7	0	1	1	1	1	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南大東村	4	2	6	1	0	1	2	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊平屋村	4	4	8	1	0	1	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊是名村	3	3	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
久米島町	27	28	55	5	2	7	2	5	7	2	5	7	0	0	0	3	3	6	2	4	6	0	1	1	1	1	1	0	1	1
八重瀬町	56	48	104	7	6	13	14	11	25	9	9	18	5	2	7	3	1	4	7	4	11	0	9	9	2	2	0	7	7	
多良間村	3	3	6	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
竹富町	14	4	18	2	1	3	3	0	3	3	0	3	0	0	2	0	2	2	2	2	4	0	0	0	1	1	1	0	0	
与那国町	4	2	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

付表5-B. 市区町村別罹患数； 部位別、性別

上皮内がんを含む

市区町村	全部位										平成20年(2008年)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	C00-C96					D01-D09					C18-C20					D010-D012					C19-C20					D011-D012					C33-C34					D021-D022					乳房					子宮					子宮頸部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計	男	女	男	女	男女計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
市	3,305	2,869	6,174	6,73	443	1,116	436	323	759	237	120	357	564	251	815	6	588	594	425	301	648	607	1,255	129	86	215	83	59	142	46	27	73	101	48	149	1	118	119	91	61	166	177	343	34	27	61	22	22	44	12	5	17	31	15	46	0	48	48	18	15	105	49	154	12	6	18	8	6	14	4	0	4	17	4	21	1	6	7	8	4	236	213	449	49	34	83	33	26	59	16	8	24	30	10	40	0	50	50	41	25	138	122	260	32	16	48	17	10	27	15	6	21	28	12	40	0	24	24	22	16	154	104	258	28	17	45	19	13	32	9	4	13	32	11	43	0	10	10	26	20	321	351	672	71	55	126	54	45	99	17	10	27	57	32	89	1	81	82	63	46	107	76	183	17	6	23	12	3	15	5	3	8	20	7	27	0	10	10	14	13	380	303	683	99	55	154	52	37	89	47	18	65	79	23	102	1	62	63	41	32	138	117	255	22	21	43	15	15	30	7	6	13	21	21	42	0	14	14	16	7	93	75	168	19	8	27	12	5	17	7	3	10	14	4	18	0	19	19	15	11	22	15	37	4	2	6	3	2	5	1	0	1	2	6	8	0	2	2	2	0	7	8	15	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	2	4	0	2	2	0	0	12	4	16	2	1	3	0	0	0	2	1	3	2	0	2	0	2	2	0	0	37	22	59	4	1	5	3	1	4	1	0	1	7	2	9	1	3	4	1	1	54	34	88	7	2	9	6	2	8	1	0	1	15	7	22	0	7	7	2	0	32	34	66	5	7	12	3	5	8	2	2	4	6	5	11	0	3	3	3	2	12	17	29	0	3	3	0	1	1	0	2	2	2	0	2	0	6	6	2	2	28	37	65	10	7	17	7	3	10	3	4	7	8	2	10	0	14	14	3	3	17	12	29	3	3	6	1	2	3	2	1	3	2	2	4	0	2	2	1	1	92	85	177	18	16	34	14	13	27	4	3	7	15	2	17	0	27	27	7	4	35	35	70	10	8	18	7	6	13	3	2	5	5	5	10	0	7	7	3	2	82	64	146	18	12	30	11	8	19	7	4	11	10	5	15	0	14	14	8	8	42	38	80	16	6	22	14	5	19	2	1	3	4	2	6	0	7	7	9	4	35	41	76	9	4	13	4	3	7	5	1	6	8	5	13	0	10	10	4	3	80	43	123	13	4	17	6	3	9	7	1	8	12	0	12	0	10	10	6	4	42	25	67	5	4	9	3	3	6	2	1	3	7	2	9	1	3	4	5	5	59	53	112	10	10	20	7	7	14	3	3	6	11	3	14	0	11	11	7	5	2	3	5	1	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	2	2	4	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4	3	7	1	1	2	1	0	1	0	1	1	2	1	3	0	1	1	0	0	4	2	6	2	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	8	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	3	7	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	27	28	55	2	5	7	2	5	7	0	0	0	2	4	6	0	1	1	1	0	58	51	109	16	11	27	11	9	20	5	2	7	7	4	11	0	9	9	4	4	3	3	6	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	14	4	18	3	0	3	3	0	3	0	0	2	2	2	4	0	0	0	0	0	4	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0

*1 粘膜炎を含む

5 参考資料

(1) 目的

近年悪性新生物による死亡は増加の一途をたどり、死因順位の高位を占める現状にかんがみ、本県におけるその実態を明らかにする意義はきわめて大きい。本事業は沖縄県下における悪性新生物の罹患の実態を把握し、悪性新生物対策の資料に資することを目的とする。

(2) 概要

本事業は沖縄県がその実施主体となり、沖縄県に居住する者を対象とし、医療機関で悪性新生物と診断された者及び保健所に報告された死亡者を対象とする。

県内の医療機関における医師は対象疾病患者を診断したとき、あるいは悪性新生物により患者が死亡したとき、予め各医療機関へ配布しておいた届出票にその都度必要事項を記入し、中央登録室へ送付する。

中央登録室は収集した届出票を電子計算機にて処理し患者ごとに登録し保管する。本登録事業に係わる資料の集計解析の結果を年報等により公表し、さらに、必要に応じ各々医療機関に係わる情報を解析し、還元、提供することができる。

また、沖縄県は、これらの資料をもとに悪性新生物の予防対策や医療計画の策定等の基礎的資料に資する。

(3) 組織

登録事業は、医療機関の全面的な協力を得て、老人保健法に基づく沖縄県生活習慣病検診管理協議会から聴取した意見等をもとに、沖縄県が実施するものである。

本事業を推進するための事務局を沖縄県福祉保健部健康増進課に置く。

実施機関として中央登録室を置き、届出票の回収、解析、保管及び情報の提供並びに諸疫学調査を行う。

また、登録票記載事項等の照会、検討、その他登録業務の運営に関し協議するため悪性新生物登録審査会を置く。その委員は臨床、病理、疫学の各部門の専門家で構成する。

さらに各地域の保健所は各々所轄の医療機関への届出票の配布作業やその疑義事項の問い合わせ、必要に応じて各種疫学調査を協同で行う。

なお、本事業の組織図は、別添資料(1-3)に記載する。

(4) 情報の管理

本事業を推進するにあたり、収集された個人情報等は、他に漏洩のないよう厳重に管理、保管するものとする。

附 則

この要綱は、昭和 62 年 4 月 27 日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和 63 年 9 月 1 日から実施する。

附 則

この要綱は、平成 18 年 5 月 10 日から実施する。

沖縄県悪性新生物登録事業実施要領

(1) 登録の対象

沖縄県悪性新生物登録の対象は、沖縄県居住者で下記の疾患と診断された者、または、死亡した者である。

- 1) 悪性新生物 (ICD-10 の C00-C96)
- 2) 上皮内癌 (ICD-10 の D00-D09)
- 3) 性状不詳の新生物 (ICD-10 の D37-D48)

この中には、良性と明記されていない脳腫瘍、内分泌腫瘍を含む。

(2) 届出による登録

各医療機関の医師は上記悪性新生物と診断された患者について、別紙様式による悪性新生物登録票(以下届出票と略す)に所要事項を記入し、中央登録室へ送付する。

届出の時期は初発、再発とも①入院患者は退院時、②外来患者は治療方針が確定診断したまたは治療終了時、③患者死亡時各時期の診断内容をその都度届出る。

既に他の医師からの届出の有無にかかわらず、患者であると診断したときも届出る。

届出済みの患者があらたに別の悪性新生物に罹患したと診断したときも届出る。悪性申請物患者の場合は、原発部位ごとに別の届出票に記入し届出る。

既に届出済みの患者がその後非悪性新生物と判明した場合、その旨を「届出取消し」として届出る。

届出の内容は別紙様式による。

(3) 死亡票による登録

総務省の認可を受け、県下各保健所の人口動態調査死亡票から次の事項について調査する。

調査項目は、氏名、性別、生年月日、住所、死亡年月日、死亡場所、死因、その他等で、既登録患者ファイルと照合を行い、また、未登録者については補充登録を行う。

(4) 届出の方法

各医療機関において当該疾病患者を担当した医師は、届出票に所要事項を記載し、患者にかかる秘密の保持に留意し、別添の専用の封筒に入れ、中央登録室宛に郵送する。

(5) 関係医療機関の協力

本登録事業は関係医療機関及びその関係医師等の全面的な協力を得て行うものとする。

(6) 中央登録室

中央登録室は沖縄県衛生環境研究所に置き、各医療機関より収集された届出票はそこで照合、集計を行う。

また、集計、解析の結果を、年度終了後年報として公表する。さらに、必要に応じ医療機関に対し、各々に係わる情報を還元するものとする。

(7) 悪性新生物登録審査会

本会は中央登録室をバックアップするため届出票の記載内容の検討、分類法の指導 あるいは、報告書の作成にあたり意見を述べる等本事業の完遂に協力する。

(8) 秘密の保持

本事業に従事した医師及び関係者は、患者についての業務上知り得た秘密については、これを厳守するものとする。

附 則

この要領は、昭和 62 年 4 月 27 日から実施する。

附 則

この要領は、昭和 63 年 9 月 1 日から実施する。

附 則

この要領は、平成 8 年 4 月 1 日から実施する。

附 則

この要領は、平成 11 年 3 月 30 日から実施する。

附 則

この要領は、平成 15 年 12 月 22 日から実施する。

附 則

この要領は、平成 16 年 3 月 15 日から実施する。

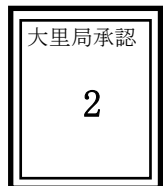
附 則

この要領は、平成 16 年 12 月 8 日から実施する。

秘 悪性新生物届出票	沖 縄 県				
届出機関名・所在地 ・名称	診 断 票 問 合 せ 票 追 跡 票				
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">カルテ番号</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>担当医師氏名</td> <td></td> </tr> </table>	カルテ番号		担当医師氏名	
カルテ番号					
担当医師氏名					
ふりがな (1)患者氏名:	(2)性別: 1. 男 2. 女				
(3)生年月日: 0. 西暦 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 年 月 日 (年は西暦記入可)					
(4)現住所:					
(5)診断名: _____ 腫瘍占拠部位 _____ 側性: 1. 右 2. 左 3. 片側(左右の別不明) 4. 両側 5. 不明 1. 原発 2. 続発(原発巣) 3. 不明 1. 確診 2. 疑診					
(6)進行度: 1. 早期(上皮内を含む) 2. 限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明					
(※TNM分類について詳細が分かれば記入して下さい。)					
臨床病期: T() N() M() 病期() 期) 病理病期: pT() pN() pM() 病期() 期)					
(7)悪性新生物の既往 1. 有(治療機関) 2. 無 3. 不明					
(8)初診年月日: 西暦・平成 年 月 日 (9)症状初発年月 西暦・平成 年 月 頃					
(10)診断疑診 年月日: 西暦・平成 年 月 日 (11)入院の有無: 1. 有 2. 無					
(12)診断方法: 該当するものには○、中心となるものには◎を付けて下さい。 1. X線 2. 内視鏡 3. 組織診(組織診断) 4. 細胞診 5. R.I 6. 超音波 7. 剖検 8. 臨床検査のみによる診断 9. CT/MRI 10. その他 ()					
(13)治療方法: ○印と◎印を(12)同様に付けて下さい。治療の具体的内容が分かれば記入して下さい。 a. 治療手段 1. 手術 (西暦・平成 年 月 日 1. 治癒切除 2. 非治癒切除 3. その他の手術) 2. 放射線療法 3. 化学療法 4. ホルモン療法 5. 免疫療法 6. 対症療法のみ 7. その他 b. 具体的内容 ()					
(14)現在の状態: 1. 生存中 (最終生存確認年月 0:西暦 1:平成 年 月 日) 2. 死亡 (死亡年月日 0:西暦 1:平成 年 月 日 死因 1. がん死 2. がん以外による死 3. 不明 死因名 ()					
(15)患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合は、 (16)患者を他機関で紹介された場合は、その診療機関名をその医療機関名を記載して下さい。 記載して下さい。					
(17)受診動機 1. 有訴受診 2. 集団検診 3. 個人健康診断(ドックを含む) 4. 他医療機関より紹 5. その他 () 6. 他疾患治療中					
この欄は記入しないで下さい。 ※ 受付年月日: _____ ※ 受付番号: _____ ※ 登録番号: _____					



料金受取人払



大里局承認

2

差出有効期間
平成19年6月
1日から
平成21年5月
31日まで

9 0 1 1 2 0 2



南城市大里字大里二〇八五番地

沖縄県衛生環境研究所 行

（企画管理班企画情報）

開封厳禁

沖縄県悪性新生物登録

診断票・問い合わせ票・追跡票 記入要領早見表

沖縄県

<p>届出機関 所在地・名称 貴病院・診療所の所在地と名称を書いて下さい。レセプトなどに使用されるスタンプでも構いません。</p>	<p>1. 記入の対象は悪性新生物（ただし上区内癌、性状不詳の新生物を含む。臓器・国際疾病分類参照）と診断または疑診された患者です。 2. 疑診または疑診の時点に限らず、確定時（病理組織診断など）他医師紹介時、手術時、退院時、死亡時などにも、経過を追って随時通知いただけます。随時通知の場合は(1)～(4)の項と追加・訂正・更新の場合は(1)～(4)の項と追加・訂正・更新のあった項のみの記入で構いません。中央登録室から送付した問い合わせ票、追跡票は、添付の項（他に追加・訂正・更新の項があればその項）を記入して下さい。 3. 数字は専用数字を用いて下さい。 4. コード・シートには記入しないで下さい。 5. コード・シートには記入しないで下さい。 6. 沖縄県衛生環境研究所企画情報部に電話ください。(TEL 098-945-0782)</p>	<p>カルテ番号および担当医師の氏名 もしお寄せなければ、後日の問い合わせに御回答いただく便宜上カルテ番号および担当医師の氏名を記入して下さい。</p>
<p>(1) 患者氏名 氏名には必ず正しいふりがなを付けて下さい。</p>	<p>悪性新生物登録票 問診票 問い合せ票 追跡票</p> <p>届出機関名・所在地・名称 カルテ番号 担当医師氏名</p>	<p>(2) 性別 該当する番号を○で囲んで下さい。</p>
<p>(3) 生年月日 明（明治）、大（大正）、昭（昭和）の該当する番号を○で囲み、年月日を記入して下さい（この項は登録照会の際1指標といたしますので、お書を間違いないようにお願いたします）。</p>	<p>沖 縄 県</p> <p>(2) 性別： 1. 男 2. 女</p> <p>(3) 生年月日： 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 年 月 日（年は西暦記入可）</p>	<p>(5) 診断名 診断名中には、分類のために腫瘍発生部位を示して下さい（ただし、リンパ腫および造血器の悪性新生物は腫瘍細胞による分類です。表面膜（例一階級腫瘍）の場合、もし悪性でない診断が判明していれば悪性の言葉を付けて下さい（悪性内腫、再発の症例には再発と書き添えて下さい）。</p> <p>腫瘍占居部位： 診断名に示された臓器内の腫瘍の占居部位を書き添えて下さい（例一診断名：胃癌、診断名：不明； 診断名に記載された腫瘍占居部位は、原発巣より除後の転移巣における再発を含む） 腫瘍・疑診： 貴医療機関における判断により、該当する番号を○で囲んで下さい。</p>
<p>(4) 現住所 診断時に居住していた住所の詳細を記入して下さい（市区町村名から番地、マンション名部屋番号まで）。</p>	<p>(4) 現住所： フリガナ 患者氏名： 1. 男 2. 女</p>	<p>(9) 症状初発年月 (5) 項に記載の腫瘍によると思われる患者の症状の初発年月を記入して下さい（無症状のまま診断または疑診された場合には、<診断>を書き添えて下さい。不明の場合には空欄として下さい。重複で発見の場合は“重複”とし、その年月を記入して下さい）。</p>
<p>(6) 進行度 早期（上区内含む）、腫瘍取高、所見リンパ節増大、所見リンパ節増大、遠隔転移、不明の該当する番号を○で囲んでください。 TNM分類等については、詳細がわかれば記入して下さい。</p>	<p>(5) 診断名： 側性 1. 右側 2. 左側 3. 側(左右の別不明) 4. 不明 5. 不明 1. 原発 2. 続発(原発巣) 3. 不明 進行度： 1. 早期(上区内含む) 2. 腫瘍取高 3. 所見リンパ節増大 4. 遠隔転移 腫瘍病期： T () N () M () 病期分類： p T () p N () p M ()</p>	<p>(11) 入院の有無 貴医療機関への入院について、該当する番号を○で囲んで下さい。</p>
<p>(8) 初診年月日 (5) 項に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を最初に受診した年月日を記入して下さい。</p>	<p>(7) 悪性新生物の既往： 1. 有(治療機関) 2. 無 3. 不明 (8) 初診年月日：昭・平 年 月 日 (9) 症状初発年月日：昭・平 年 月 日 (10) 診断年月日：昭・平 年 月 日 (11) 入院の有無： 1. 有 2. 無</p>	<p>(11) 入院の有無 貴医療機関への入院について、該当する番号を○で囲んで下さい。</p>
<p>(10) 診断・疑診年月日 貴医療機関が、患者を(5)項に記載の腫瘍と診断または疑診（記入の時点でお疑診に留まっている場合）の年月日を記入して下さい。</p>	<p>(12) 診断方法：該当するものには○、中心となるものには◎を付けて下さい。 1. X線 2. 内視鏡 3. 組織診(組織診断) 4. 細胞診 5. R.I 6. 超音波 7. 剖検 8. 臨床経過のみによる診断 9. CT 10. その他() (13) 治療方法：○印と◎印(12)と同様に付けて下さい。治療の具体的な内容が分かれば記入して下さい。 a. 治療手段 1. 手術(昭・平 年 月 日) 1. 治癒切除 2. 非治癒切除 3. その他の手術 2. 放射線療法 3. 化学療法 4. ホルモン療法 5. 免疫療法 6. 対症療法のみ 7. その他() b. 具体的内容()</p>	<p>(11) 入院の有無 貴医療機関への入院について、該当する番号を○で囲んで下さい。</p>
<p>(14) 現在の状態 貴医療機関が確認されている最新の患者の状態について、年月日を記入して下さい。なお、生存中の場合には死亡年月日および死亡原因を記入して下さい。</p>	<p>(14) 現在の状態： 1. 生存中(最終生存確認年月日：昭 年 月 日) 2. 不明 3. 死亡(死亡年月日：昭・平 年 月 日) 1. がん死 2. がん以外による死亡原因() (15) 患者が他医療機関に治療を受けている場合は、その診療機関名を記載ください。 (16) 患者を他機関に紹介された場合は、その診療機関名を記載ください。</p>	<p>(7) 悪性新生物の既往 (12) 診断方法 (13) 治療方法 (15) 新診断機関 (16) 紹介診療機関 次項を参照して下さい。</p>
<p>この欄は記入しないでください。 * 交付年月日： * 交付番号： * 登録番号：</p>	<p>(17) 受診機関： 1. 原発診 2. 転院診 3. 個人健康診 4. 他医療機関より紹介 5. その他() 6. 他医療機関</p>	<p>(7) 悪性新生物の既往 (12) 診断方法 (13) 治療方法 (15) 新診断機関 (16) 紹介診療機関 次項を参照して下さい。</p>

第1.0回修正
国際疾病分類 (ICD) 抜粋
(悪性新生物・上皮内癌・性状不詳の悪性新生物)

<p>(7) 悪性新生物の既知</p> <p>患者の悪性新生物の既往（単発例における初発ならびに重複発症例における既往）について、該当する番号を○で囲んで下さい。なお、有りの場合には既往の腫瘍を診断した観病名を記入して下さい。</p>	<p>(13) 治療方法</p> <p>単医療機関が実施された治療方法の番号を○で囲んで下さい。なお、もっとも中心となつて行っている治療方法を、1つだけ○を付けて下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 手術： 病巣を切除（全摘を含む）するか、または手術的に再発を改善する治療。なお、手術年月日（手術が2回以上にある場合には主要な手術の年月日）を記入して下さい。また、治療切除、非切除のない術後術、療法施設、単回療法など）の該当する番号を○で囲んで下さい。 放射線療法： 各種放射線の照射による治療。 化学療法： 各種制癌剤による治療。 ホルモン療法： ホルモンの作用を応用した治療。 免疫療法 免疫反応を応用した治療。なお、その治療方法の呼称を記入して下さい。 対症療法のみ：1～5、および7の治療方法を行わず、対症療法のみによる治療。 その他：1～6以外の治療方法による治療。なお、実施された治療方法の呼称を記入して下さい。
<p>(12) 診断方法</p> <p>単医療機関が実施された診断方法の番号を○で囲んで下さい。なお、もっとも診断または発症の確拠となつた診断方法に、1つだけ○を付けて下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 内視鏡： カストロカメラ、眼底カメラ、コロスコピー、その他エンドスコピー類による診断。 組織診： 手術、穿刺（骨髄穿刺を含む）などによつて得られた腫瘍切片の病理組織検査による診断。なお、組織診断を記入して下さい。 細胞診： バイオコーン法など剥離細胞の鏡検（末梢血の塗抹標本検査を含む）による診断。 RI： ラジオアイソトープを利用した検査による診断。 超音波： 超音波を利用した検査による診断。 骨髄： 尿体の病理組織検査による診断。なお、組織診断名は番号3（組織診）を○で囲み、記入して下さい。 臨床経過のみによる診断：1～7、および9, 0の診断方法を行わず、主訴、既往症、現症、打診、触診、ならびに臨床経過のみによる診断。 CT： コンピューター・トモグラフィによる診断。 その他：1～9以外の診断方法による診断。なお、実施された診断方法の呼称を記入して下さい。 	<p>口唇、口腔および咽喉の悪性新生物 (C00 - C14)</p> <p>C00 口腔の悪性新生物</p> <p>C01 舌根-梨皮>舌の悪性新生物</p> <p>C02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物</p> <p>C03 歯肉の悪性新生物</p> <p>C04 口腔底の悪性新生物</p> <p>C05 口蓋の悪性新生物</p> <p>C06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物</p> <p>C07 歯下顎の悪性新生物</p> <p>C08 その他及び部位不明の犬歯-臼歯の悪性新生物</p> <p>C09 歯肉の悪性新生物</p> <p>C10 中間の悪性新生物</p> <p>C11 鼻上>咽喉の悪性新生物</p> <p>C12 梨皮腔<洞>の悪性新生物</p> <p>C13 下咽頭の悪性新生物</p> <p>C14 その他及び部位不明の口唇、口腔及び咽喉の悪性新生物</p> <p>消化器の悪性新生物 (C15 - C26)</p> <p>C15 食道の悪性新生物</p> <p>C16 胃の悪性新生物</p> <p>C17 小腸の悪性新生物</p> <p>C18 結腸の悪性新生物</p> <p>C19 直腸と肛門移行部の悪性新生物</p> <p>C20 直腸の悪性新生物</p> <p>C21 肛門及び肛門管の悪性新生物</p> <p>C22 肝及び胆門管の悪性新生物</p> <p>C23 胆のう<囊>の悪性新生物</p> <p>C24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物</p> <p>C25 膵の悪性新生物</p> <p>C26 その他及び部位不明の消化器の悪性新生物</p> <p>呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物 (C30 - C39)</p> <p>C30 鼻副腔の悪性新生物</p> <p>C31 副鼻腔の悪性新生物</p> <p>C32 喉頭の悪性新生物</p> <p>C33 気管及び肺の悪性新生物</p> <p>C34 気管支及び肺の悪性新生物</p> <p>C35 胸腺の悪性新生物</p> <p>C36 心臓、総隔及び胸腺の悪性新生物</p> <p>C39 その他及び部位不明の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物</p>
<p>(15) 前診断</p> <p>(5) 項記載の腫瘍のために、患者が単医療機関を専診する以前に受診した診療機関があれば、その診療機関名を書いて下さい。</p>	<p>骨及び関節軟骨の悪性新生物 (C40 - C41)</p> <p>C40 (四) 骨の骨及び関節軟骨の悪性新生物</p> <p>C41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物</p> <p>皮膚の悪性新生物 (C43 - C44)</p> <p>C43 皮膚の悪性黒色腫</p> <p>C44 皮膚のその他の悪性新生物</p> <p>中皮及び軟部組織の悪性新生物 (C45 - C49)</p> <p>C45 中皮 腫</p> <p>C46 方肉< Kaposi >肉腫</p> <p>C47 未分化及び自律神経系の悪性新生物</p> <p>C48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物</p> <p>C49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物</p> <p>乳房の悪性新生物 (C50)</p> <p>C50 乳房の悪性新生物</p> <p>女性生殖器の悪性新生物 (C51 - C58)</p> <p>C51 外陰の悪性新生物</p> <p>C52 陰の悪性新生物</p> <p>C53 子宮頸部の悪性新生物</p> <p>C54 子宮体部の悪性新生物</p> <p>C55 子宮の悪性新生物</p> <p>C56 卵巣の悪性新生物</p> <p>C57 その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物</p> <p>C58 胎盤の悪性新生物</p> <p>男性生殖器の悪性新生物 (C60 - C63)</p> <p>C60 陰茎の悪性新生物</p> <p>C61 前立腺の悪性新生物</p> <p>C62 精巣-睾丸>の悪性新生物</p> <p>C63 その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物</p> <p>尿道の悪性新生物 (C64 - C68)</p> <p>C64 腎を除外く腎の悪性新生物</p> <p>C65 腎蓋の悪性新生物</p> <p>C66 尿管の悪性新生物</p> <p>C67 膀胱の悪性新生物</p> <p>C68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物</p> <p>眼、脳及び中枢神経系その他の部位の悪性新生物 (C69 - C72)</p> <p>C69 眼及び付属器の悪性新生物</p>
<p>(16) 紹介診療機関</p> <p>(5) 項に記載の腫瘍のために、患者を他の診療機関に紹介された場合には、その診療機関名を書いて下さい。</p>	<p>軟骨の悪性新生物 (C70 - C75)</p> <p>C70 軟骨の悪性新生物</p> <p>C71 腱の悪性新生物</p> <p>C72 腎囊、腱鞘及び中枢神経系その他の部位の悪性新生物</p> <p>甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物 (C73 - C75)</p> <p>C73 甲状腺の悪性新生物</p> <p>C74 副腎の悪性新生物</p> <p>C75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物</p> <p>部位不明腫瘍、発症部位及び部位不明の悪性新生物 (C76 - C80)</p> <p>C76 その他及び部位不明の悪性新生物</p> <p>C77 リンパ管の結核性及び部位不明の悪性新生物</p> <p>C78 呼吸器及び消化器の発癌性悪性新生物</p> <p>C79 その他の部位の発癌性悪性新生物</p> <p>C80 部位の明示されない悪性新生物</p> <p>リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物 (C81 - C96)</p> <p>C81 ホジキン< Hodgkin >病</p> <p>C82 多発性骨髄腫</p> <p>C83 びまん性非ホジキン< non-Hodgkin >リンパ腫</p> <p>C84 末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫</p> <p>C85 非ホジキン< non-Hodgkin >リンパ腫のその他及び詳細不明の型</p> <p>C88 悪性免疫増殖性疾患</p> <p>C90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍</p> <p>C91 リンパ性白血病</p> <p>C92 骨髄性白血病</p> <p>C93 単球性白血病</p> <p>C94 その他の細胞型不明の白血病</p> <p>C95 細胞型不明の白血病</p> <p>C96 リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物</p> <p>独立した（原発性）多部位の悪性新生物 (C97)</p> <p>C97 独立した（原発性）多部位の悪性新生物</p> <p>上皮内新生物 (D00 - D09)</p> <p>D00 口腔、食道及び胃の上皮内癌</p> <p>D01 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌</p> <p>D02 中耳及び呼吸器系の上皮内癌</p> <p>D03 上皮内黒色腫</p> <p>D04 皮膚の上皮内癌</p> <p>D05 乳房の上皮内癌</p> <p>D06 子宮頸(部)の上皮内癌</p> <p>D07 その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌</p> <p>D09 その他及び部位不明の上皮内癌</p> <p>性状不詳又は不明の新生物 (D37 - D48)</p> <p>D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D38 中耳、呼吸器及び胸膈内臓器の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D40 男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D41 泌尿器の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D42 腸腺の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D43 脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物</p> <p>D45 真正赤血球増加症<多血症></p> <p>D46 骨髄異形成症候群</p> <p>D47 リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物</p> <p>D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物</p>

沖縄県悪性新生物登録資料の利用に関する規程

1 目的

沖縄県悪性新生物登録（以下「がん登録」という。）事業に関する秘密保持を遵守するため、がん登録資料の利用にあたって必要な事項を定める。

2 登録資料の利用

（１）沖縄県がん登録事業報告書等により公表されている資料以外の資料を、保健、医療及び学術研究のために利用する場合には、その目的・資料の内容・資料の利用方法等を記載した申請書（様式１）及び、この資料により知り得た個人情報・医療施設に関する情報を他に漏らさない旨の誓約書を沖縄県衛生環境研究所長を経て沖縄県福祉保健部長（以下「福祉保健部長」という。）に提出しなければならない。

（２）福祉保健部長はがん登録資料の利用について、差し支えないと判断したときは、申請者にがん登録資料利用許可書（様式２）及び資料を交付する。

（３）申請者は、がん登録資料を受領したときは、ただちに資料受領書を沖縄県衛生環境研究所長に提出しなければならない。（様式３）

（４）申請者は、入手したがん登録資料の保管については、申請者の責任において十分な配慮をしなければならない。

（５）沖縄県衛生環境研究所長はがん登録資料の利用状況について、その年度の事業年報に掲載するものとする。

3 その他

この規程に定めるもののほか、必要な事項は、福祉保健部長が沖縄県生活習慣病検診管理協議会設置要綱第３条２項に定める生活習慣病登録・評価等分科会と検討し、意見等を聴取のうえ定める。

附 則

この規程は、平成 8 年 4 月 15 日から適用する。

附 則

この規定は、平成 10 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規定は、平成 18 年 5 月 10 日から適用する。

(様式1)

沖縄県悪性新生物登録資料の研究的利用について(申請)

沖縄県福祉保健部長 殿

申請年月日 年 月 日

申請者
施設名

所在地

所属長名

印

利用者
所属課(科)

職名

氏名

印

私儀、下記の研究をすすめるに際し、沖縄県悪性新生物の資料を利用いたしたく許可をお願いします。資料の利用については、別添「沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて」における各事項を遵守します。

- 1 研究課題
- 2 研究目的
- 3 資料名及び形態(該当するものに○)

標題:

1 統計数値

2 個人情報

4 資料の内容

5 資料の利用方法

(様式2)

福 健 第 号
平成 年 月 日

殿

沖縄県福祉保健部長

沖縄県悪性新生物登録資料の研究的利用について（許可）

平成 年 月 日付けをもって申請のあった標記について下記の条件を付して許可
します。

ただし、この資料の利用及び研究結果のとりまとめにあたっては、別添「沖縄県悪性新
生物登録資料の取り扱いについて」における各事項を遵守しなければならない。

記

利用条件

(様式3)

沖縄県悪性新生物登録情報サービス

受 領 書

さきに申請しました沖縄県悪性新生物登録事業にかかる下記資料を受領しました。情報の保管及び利用については、「沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて」の各事項を遵守いたします。

平成 年 月 日

沖縄県衛生環境研究所長 殿

施設名

所在地

受領責任者
所属課(科)

職名

氏名

印

記

資料名及び形態
標 題 :

1 統計数値

2 個人情報

(別添)

沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて

沖縄県悪性新生物登録（以下「がん登録」という。）資料は、「個々の患者並びに医療施設に関する秘密を守る」ことを前提にして、沖縄県が県内各医療施設から提出していただいた医療情報です。

したがって、「沖縄県がん登録事業報告書」等により公表された資料以外の資料を使用するにあたっては次の事項を守って下さい。

1 秘密の保護

(1) がん登録資料から得た個人情報、第三者に漏らさない。また、知り得た患者に対し直接接触してはならない。

(2) がん登録資料から知り得た医療施設に対し、直接接触してはならない。

2 利用資料の保管及び利用後の取り扱いについて

(1) がん登録に関する公表された資料以外の資料を利用するときは、沖縄県衛生環境研究所長（以下「研究所長」という。）を経て沖縄県福祉保健部長（以下「福祉保健部長」という。）に利用申請書を提出し、許可を得なければならない。

(2) 入手した資料は、利用申請目的以外には使用してはならない。

(3) 申請者は、入手した資料の保管については、申請者の責任において十分な配慮をしなければならない。

3 研究結果の報告

(1) 研究結果の公表にあたっては、その内容の写しを研究所長を経て、福祉保健部長に提出しなければならない。

(2) 論文中に「沖縄県悪性新生物登録資料を利用した」ことを記載しなければならない。

(3) 印刷論文の別冊を研究所長を経て福祉保健部長に提出するものとする。

4 申請内容の変更

申請の内容に変更が生じたときは、改めて申請する。

このことについての問い合わせ先は

沖縄県衛生環境研究所 企画管理班

〒901-1202 沖縄県南城市大里字大里 2085 番地

誓 約 書

沖縄県悪性新生物登録資料の利用により知り得た個人情報および医療施設に関する情報は他に漏らさないことを誓います。

平成 年 月 日

沖縄県衛生環境研究所長 殿

申請者
施設名

所在地

所属長名

印

利用者
所属課(科)

職名
氏名

印

全国標準の地域がん登録標準データベースシステムの導入について

全国標準の地域がん登録標準データベースシステムの導入のながれ

- 平成21年 7月 補正予算による予算措置承認
- 平成21年 8月 地域がん登録標準データベースシステム用にごん届出票を改定
- 平成21年 9月 地域がん登録データベースシステムのソフト及び機器（サーバー）のリース契約を締結
- 平成21年12月 国立がんセンターによる初期導入研修
- 平成21年12月 実際の届出票を地域がん登録データベースシステムに入力（稼働開始）

新しいがん届出票の様式及び記入要領について

全国標準の地域がん登録標準データベースシステムの導入に伴い、協力医療機関に対し、平成21年9月より順次新しいがん届出票の様式へ移行するよう依頼を行っている。

沖縄県悪性新生物患者届出票 秘

		事務局 使用欄	受付番号 受付年月日		使事 務局	
医療機関	名称	照会先所属		届出者		
真院患者ID			性別	生年月日		
ふりがな			1 男 2 女	0 西暦 1 明治 2 大正 年 月 日 3 昭和 4 平成		
姓・名 (漢字)						
診断時住所						
診 断 名	左右 両側臓器のみ記載	1 右 2 左 9 不明 3 両側 (卵巣, 腎芽腫, 網膜芽腫)		病理診断名		
	部位* 臓器名と詳細部位	(例 胃U, 肺S2, など)		詳細に願 います		
	部位コード	悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載		組織コード		
診 断 情 報	初発・ 治療開始後	1 初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降)・再発				
	診断方法 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 6 臨床診断			患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となった検査に○ (初回治療前診断に限定しない)	
	診 断 日	自施設 診断日	0 西暦 1 昭和 2006 年 1 月 15 日 2 平成		・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍自施設初診日	
		初回 診断日	0 西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成		他施設診断の場合、その診断日をわかる範囲で必ず記入	
発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他・不明 (自覚症状も含む)					
病 期	病巣の拡がり	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明			初発の場合、病巣の拡がりかUICC TNMのどちらかは必ず記入 (地域がん登録では病巣の拡がりを集計する。病巣の拡がりに記入がなければTNM分類やその他の情報からコード化する。)	
	UICC TNM*	T	N	M		ステージ
	その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。				
治 療 法	観 血 的 治 療	1 手術		1 有 2 無		
		2 体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)		1 有 2 無		
		3 内視鏡的		1 有 2 無		
		上記治療を総合した治療結果		1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明 4 姑息・対症療法 9 不詳		
	そ の 他 の 治 療	1 放射線		1 有 2 無		
		2 化学療法		1 有 2 無		
3 免疫療法		1 有 2 無				
4 内分泌療法		1 有 2 無				
9 その他 1 有 2 無 ()						
死亡年月日	0 西暦 1 平成 年 月 日					
自由記載欄						

沖縄県悪性新生物患者届出票 秘

事務局 使用欄	受付番号
	受付年月日

医療機関	HP名										
貴院患者ID						性別	生年月日				
姓・名						1:男 2:女 3:他			0:西暦 1:明治 2:大正 4:平成		
診断時住所 (詳細)											
診断名	左右 両側臓器 のみ記載		1 右 2 左 3 両側	1→1 2→2 3→空欄 4→3	9 → 空欄 0 → 空欄 空欄 → 空欄	部位の 側性					
	部位* 臓器名と 詳細部位 コード:						病理 診断名 コード:				
診断情報	初発・再発	診断区分		1:初発 2:再発・治療開始後 3:疑い例			診断区分 (診断結果)	症例区分			
				※ 診断区分(診断結果)が未登録で、症例区分を登録している場合は右の変換を実施				1→1 5→1 2→1 6→1 3→1 8→1 4→2			
	診断方法	診断根拠		1:原発巣の組織診 2:転移巣の組織診 3:細胞診 4:部位特異的腫瘍マーカー 5:臨床検査 6:臨床診断			診断根拠	病理組織 標本由来			
				1→1※ 5→5 2→3 6→5 3→3 7→6 4→5 9→9 ※かつ病理組織標本由来が 2→2,上記でNull→9							
診断日	自施設 診断日					診断日2	当該腫瘍 初診日	入院日			
	初回 診断日					※ 0:西暦 1:昭和 2:平成					
発見経緯	発見経緯<来院経路>		1:がん検診2:健診・人間ドック3:他疾患の経過観察中				発見経緯	来院経路			
			※発見経緯が未登録で、来院経路を登録している場合は右の変換を実施					0→9 5→3 1→9 6→4 2→1 8→9 3→2 9→9 4→2 上記以外→9			
病期	病巣の 拡がり	進展度<臨床進行度>		0上皮内1限局 2所属リンパ節転移 3隣接臓器浸潤 4遠隔転移 9不明			進展度 [治療前]	進展度 [術後病理学的]			
				術後病理学的が 未登録 → [治療前] 8 → [治療前] 0-4,9 → [術後病理学的] 上記でNull → 9							
	UICC TNM*	cTNM	ステージ	pTNM			ステージ				
その他	治療前のステージ (主要5部位)			治療前のステージ (取扱い規約)							
治療法	観血的 治療	1 手術					1:有 2:無				
		2 体腔鏡的(胸腔鏡・腹腔鏡)									
	3 内視鏡的										
	◆ 上記治療を 総合した治療結果					1:治癒切除 2:非治癒切除 3:治癒度不明 4:姑息・対症療法 9:不詳 ※8→9					
※初回の一連の治 療についてすべ て記入	その他の 治療	1 放射線					1:有 2:無				
		2 化学療法									
		3 免疫療法									
4 内分泌療法											
9 その他の治 療					TAE	PEIT	温熱療法	焼灼	その他		
死亡年月日	※ 0:西暦 1:平成										
オプション											

記入要領

医療機関	自施設名称。正式名称記入が望ましい(ゴム印でも可)。照会先所属、届出者は問い合わせに使用。
貴院患者 ID	貴院で患者固有に与えられている番号・記号。患者情報照会に使用。
姓・名 (漢字)	姓と名を別々に漢字表記で記入。重複登録を防ぐ大事な項目のため、イニシャル、カタカナ等の略記は避け、本名を記入。なお、漢字表記できない外国名の場合はカタカナ表記とする。
ふりがな	姓、名について、ふりがなを記入。
性別	性別を記入。
生年月日	生年月日を記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。
診断時住所	診断時に居住していた住所。市町村のみならず、マンション・部屋番号までのできるだけ詳細な住所を記入。
診断名	
左右	原発部位が両側臓器(肺・乳房等側性のある臓器)のみ記入。「両側」は卵巣・腎芽腫・網膜芽腫に用いる。その他の側性を有する臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入。一方が他方の転移で、原発側が判断されない場合は「不明」とする。
部位	腫瘍の原発部位を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位を記入(例:「肺左上葉」、「結腸脾弯曲部」等)。転移性がんの場合は、原発臓器を記入(例:食道がんの肺転移の場合は、転移部位の「肺」ではなく、「食道」を記入)。原発が不明な場合は「原発不明」とする。 白血病の場合、診断部位は「骨髄」とし、病理診断名に「急性骨髄性白血病 M2」等と記入。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変の部位とし(例:胃の悪性リンパ腫の場合は、「胃」を記入)、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性 B 細胞型リンパ腫」のように記入。がん登録では、国際疾病分類一腫瘍学(ICD-O)を用いるのが世界基準であり(2009 年現在第 3 版)、登録室では原発部位情報を ICD-O-T に基づいてコーディングしている。
部位コード	国際疾病分類一腫瘍学(ICD-O (2009 年現在第 3 版))によるコーディング。
病理診断名	腫瘍の病理組織を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入。病理報告に記入されている組織型を完全に記入することが望ましい。腫瘍の形状、腫瘍の性状(良性、良悪不詳、上皮内、悪性、等)、及び分化度(高・中・低・未分化)/リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原(T-cell、B-cell、Null-cell)等を全て含む事が望ましい。登録室では病理診断名を ICD-O-M を用いて6桁の数字でコーディングしている。
組織コード	ICD-O-M を用いて6桁の数字でコーディング。
診断情報	
初発・治療開始後	初発、治療開始後・再発を区別するための項目。 ・初発: 自施設において、当該腫瘍の診断、診断と初回治療、あるいは初回治療を実施した場合。 ・治療開始後・再発: 他施設にて当該腫瘍の初回治療を開始した後、自施設にて患者を診療した場合。自施設・他施設を問わずに初回治療が完了した後、自施設にて患者を診療した場合(再発を含む)。

診断根拠	<p>当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、患者の全経過を通じて最も寄与した情報(初回治療前の診断に限定しない。他施設における診断情報も含む)。複数回答も可。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原発巣の組織診: 原発巣からの病理組織診断によるがんの診断、白血病の骨髄穿刺を含む。 ・転移巣の組織診: 転移巣からの病理組織診断によるがんの診断。 ・細胞診: 喀痰、尿沈渣、膣分泌物等による剥離細胞診、ファイバースコープ等による擦過、吸引細胞診、あるいは洗浄細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項を含む。 ・部位特異的な腫瘍マーカー: PSA、AFP、HCG、VMA、血清・尿中免疫グロブリン高値。 ・臨床検査: 画像診断(特殊撮影、造影全て。MRI、RI 検査、PET、超音波検査を含む。)、手術・体腔鏡下の肉眼的診断を含む。 ・臨床診断
自施設診断日	<p>自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入(組織診検体採取日、細胞診検体採取日、腫瘍マーカー検体採取日、画像診断検査日の順で優先)。前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、自施設の当該腫瘍初診日を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とする。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。年月日まで記入。</p>
初回診断日	<p>前医・他施設において、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において当該腫瘍の初回治療前に”がん”と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入。(例: 4 月上旬、4 月頃、春頃、2009 年頃等)</p>
発見経緯	<p>当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診: がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合 ・健診・人間ドック: 健診は健康一般に関する審査(健康尺度の測定)を目的とし、一連の検査を行う場合で、人間ドックは個人を対象に行う、より詳細な健康一般に関する診査 ・他疾患の経過観察中: 入院時ルーチン検査を含む ・剖検: 剖検によってはじめて腫瘍の存在が発見された場合 <p>*自覚症状を持ちながらがん検診を受けがんと診断された場合は「がん検診」とする。</p>
病期	
病巣の拡がり	<p>病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法である。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、無ければ治療前の進行度を用いる。ただし、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法等を施行の後、手術(体腔鏡的・内視鏡的手術を含む)を施行した場合は、治療前の進展度を優先する。再発では記載不要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮内: がんが原発臓器に局限しており、かつ上皮内にとどまるもの ・局限: がんが原発臓器に局限しているもの ・所属リンパ節転移: 所属リンパ節への転移を伴うが、隣接組織、臓器への浸潤がないもの ・隣接臓器浸潤: 隣接組織、臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの ・遠隔転移: 遠隔転移があるもの
UICC TNM	<p>地域がん登録では、病巣の拡がりを集計している。病巣の拡がりに記入がなければ TNM 分類やその他欄の情報から地域がん登録室の方でコード化する(よって初発の場合は、病巣の拡がりか UICCTNM のどちらかは必ず記入する)。</p> <p>UICC(国際対がん連合)TNM: がん登録では病期分類として「UICC TNM 悪性腫瘍の分類」を用いている。</p>
その他	<p>深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば記入。</p>

初回治療	当該腫瘍における一連の初回治療のうち自施設で実施したものを記入。再発では記載不要。
観血的治療	
手術	自施設での初回治療における、外科的治療の有無を記入。(例:【包含】子宮頸がんの円錐切除術【除外】前立腺がんの去勢術→内分泌療法)
体腔鏡的	自施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記入。
内視鏡的	自施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記入。
観血的治療を総合した治療結果	当該のがんに対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入。初回治療として行った総合的な結果を記入。内視鏡的な治療を最初に行ったが、その後外科的な追加切除を必要とした場合は、外科的切除の根治度を記入する。根治度の記入は、組織学的に判断された根治度を用いるのが好ましい。組織的根治度が得られない場合、肉眼的根治度を用いる。 ※治癒切除、非治癒切除の定義:領域(所属リンパ節、隣接臓器)までの切除は以下のように定義する。 治癒切除 : 腫瘍を完全に摘除した場合(相対、絶対切除を含む) 非治癒切除 : 腫瘍の切除が不完全であった場合(切除しきれなかった場合)
その他の治療	
放射線	自施設での初回治療における、放射線治療の有無を記入。
化学療法	自施設での初回治療における、化学療法の有無を記入。化学療法については、定義が曖昧な部分があるが、免疫療法・BRM や内分泌療法を包含しないことに留意する。(例:【包含】ハーセプチンによる乳がん治療、肝臓のTAI)
免疫療法	自施設での初回治療における、免疫療法・BRM 療法の有無を記入。BRM(biological response modifier: 生体応答調整物質)については、「腫瘍細胞に対する宿主の生物学的応答を修飾することによって、治療効果をもたらす物質または方法」いわゆる非特異的な免疫賦活療法を指すものとする。
内分泌療法	自施設での初回治療における、内分泌療法の有無を記入。内分泌療法とは、がん組織に対し、ホルモンバランスを替えることにより何らかの効果を求めた治療である。ホルモン投与、ホルモン代謝を拮抗する薬剤、抗ホルモン剤、エストロゲン依存性腫瘍に対する卵巣摘出術等がそれにあたる。(例:【包含】前立腺がんの去勢術)
その他	自施設での初回治療における、上記(手術～内分泌療法)以外の治療を記入。TAE(肝動脈塞栓術)、PEIT(経皮的エタノール注入療法)、温熱療法、レーザー等治療(焼灼)等を含む。
死亡年月日	死亡日が判明している場合、記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。

平成 23 年度

沖縄県がん登録事業報告（平成 20 年の罹患集計）

発行年月日 平成 24 年 8 月

発行・編集 沖縄県福祉保健部健康増進課

住所 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

電話 (098) 866-2209

FAX (098) 866-2289

編 集 沖縄県環境生活部衛生環境研究所

企画管理班（企画情報グループ）

住所 〒901-1202 沖縄県南城市大里字大里 2085 番地

電話 (098) 945-0782

FAX (098) 945-9366